

仁淀川町

(金抜)

高知県 吾川郡仁淀川町 大野

令和 8 年度 社会資本整備総合交付金事業 町道椿山線道路改良工事 実施設計書

作業区分 請負

完成期限 令和 9年 3月26日

令和 8年10月 1日 積算単価適用

金抜設計書

設計変更により請負金額を変更する必要がある場合は、
「請負更正金額等の算出方法について（通知）」により、変更
の協議を行うものとする。

特 記 仕 様 書

第1条 土木工事共通仕様書の適用

1 本工事の施工にあたっては、「高知県建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

第2条 環境物品等の調達の推進（グリーン購入法）

1 本工事において「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「環境物品等の調達に関する基本方針及び調達方針」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法なものを使用することとする。

第3条 県内産資材の優先使用

1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

第4条 木製型枠の使用

1 木製型枠とは、杉、檜の間伐材等を板材に加工したものと桟木を組み合わせて作成した型枠（以下「木製型枠」という。）をいう。また、一般型枠とは、鋼材または、合板で作成した型枠（以下「一般型枠」という。）をいう。

2 設計図書等に「木製型枠」と明示している構造物は、木製型枠を標準的に使用すること。ただし、止め型枠・パチ部への一般型枠の使用は可能とする。

3 高知県内産材を用いて木製型枠を製造する事業所は、高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/housin-keikaku/>）林業振興・環境部木材産

業振興課のページに掲載しているので参考にすること。

なお、県外産材で製作した木製型枠を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載し監督職員の確認を受けること。

4 木製型枠は、型枠の現場搬入時から型枠組立、型枠脱型までの施工期間中に現場で木製型枠であることの確認を受けなければならない。確認の方法については、県産材で製作した型枠及び県産材材料には製造者が証明（スタンプ等）を行っているため、その箇所を工事監督職員に提示することで確認とする。

5 木製型枠を使用できない事由があり、一般型枠を使用する場合も、その使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載すること。ただし、その場合は一般型枠への設計変更を行う。

6 受注者は、発注者が行う木製型枠に関する調査に協力しなければならない。

第5条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査

1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず「木材等を使用した公共土木施設の実績調査表」を作成し提出しなければならない。

なお、調査表の作成要領、提出は以下のとおりとする。

2 調査表の作成要領、提出について

- （1）調査様式（木材・木製型枠・木製看板を利用した公共土木工事実績調査表）、を高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/>）林業振興・環境部木材産業振興課のページから、ダウンロードする。
- （2）記載要領を参考に必要事項を調査様式に記入し、電子納品物に格納し提出する。なお、紙納品の場合は、工事管理資料とは別にCD-R等に納めて工事完成後7日以内に監督職員へ提出すること。

第6条 工事現場における県内産木材の木製品使用

1 受注者は、工事請負金額（消費税含む）が250万円以上の場合、「高知県産材利用推進方針」の行動計画に基づき、仮設備や保安施設等の工事に用仮設に関する資材は以下の通り、木製品を使用しなければならない。

ただし、これらに関する経費は諸経費に含むものとする。

- （1）ア～オの資材のうち、いずれかに必ず木製品を使用すること。
 - ア 掲示板（現場組織表、緊急連絡先など公衆に知らせるため設置するもの）
 - イ 工事看板（1ヶ所以上）
 - ウ バリケード（1品以上）
 - エ 木製クッションドラム（1品以上）
 - オ 交通安全管理等の標示板

特 記 仕 様 書

ただし、供用中の道路に係る工事の施工に用いる交通安全管理用標示板の様式仕様等（形態、寸法、色彩ほか）は、「道路工事の安全施設設置要領（案）」（平成8年3月）に準拠すること。

（2）上記1の資材を必要としない工事、委託業務については、その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を得ること。

その場合は、上記1以外の仮設備、保安施設等の工事に用仮設資材で木製品をできるだけ1品以上使用すること

例：現場事務所の棚、机、靴箱、ベンチ等

注1：木製品とは、県内産木材で作成した製品または県内産木材の板材を受注者が加工したものとする。

注2：別工事で購入（加工）した木製品の使用も可とする。

注3：使用する木製品については、施工計画打ち合わせ時に監督職員に報告すること。

注4：県内産木材使用（納入）証明書は必要としないが、木製品の写真を工事写真に納めること。

第7条 個人情報の保護

1 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律を遵守すること。

第8条 ダンプトラック等による過積載の防止

- 1 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- 2 さし枠装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- 3 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- 4 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- 5 建設発生土の処理及び資材の購入等にあって、下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- 6 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分に指導すること。

第9条 軽油単価の適正な運用

1 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

第10条 不正軽油の使用禁止

1 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第144条の32の規定による県知事の承認を受けずに製造又は譲渡された次のものをいう。

- ① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの
- ② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの
- ③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

2 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

第11条 週休2日制工事の実施について

【港湾請負工事積算基準書、漁港漁場関係工事積算基準書における発注工事を除く】

本工事は、週休2日制工事実施要領における「週休2日制工事」（月単位）の対象工事である。詳細については、下記ホームページに掲載する同要領を参照すること。

高知県土木部技術管理課ホームページ

(<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170000/170601/>)

第12条 ウィークリー・スタンスについて

1 本工事は、計画的な工事の履行を確保しつつ、非効率なやり方の工事の環境等を改善し、より一層魅力のある仕事、現場の創造に努めることを目的としたウィークリー・スタンス対象工事である。なお、取組内容及び進め方は、ウィークリー・スタンス実施要領によるものとする。

（令和6年3月13日付け5高技管第406号「ウィークリー・スタンス実施要領の制定について」参照）

第13条 工事实績データ作成、登録

1 高知県建設工事共通仕様書共通編1-1-1-7に基づき、受注者は工事請負金額500万円以上（単価契約の場合は登録不要）の全ての工事について、工事实績情報サービス（コリンズ）に受注・変更（工期、請負代金額、技術者）・完成・訂正時の工事实績データを登録しなければならない。

第14条 公共事業労務費調査に対する協力

- 1 本工事が高知県の実施する公共事業労務費調査の対象工事になった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- 2 調査票等を提出した事業所を高知県が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受

特 記 仕 様 書

注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

3 公共事業労務費調査の対象工事になった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就労規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

4 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

第15条 施工形態動向調査等に対する協力

1 本工事が高知県の実施する施工形態動向調査等の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。なお、調査費用は設計変更により計上することとする。

第16条 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出並びに建設発生土の搬出に係る事前確認及び受領書について

1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式1）を建設副産物情報交換システム（以下「コブリス・プラス」という。）により作成し、提出しなければならない。

2 受注者は、建設副産物の搬入量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式2）をコブリス・プラスにより作成し、提出しなければならない。

3 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において再生資源利用促進計画を作成しようとするときは、あらかじめ工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更についての土壤汚染対策法等の手続きの確認並びに搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法及び土砂条例の許可地等であるかなどの確認を行い、その確認結果を記載した書面を作成し再生資源利用促進計画の添付資料とする。

4 受注者は、再生資源利用（促進）計画書の内容を発注者に説明しなければならない。また、再生資源利用（促進）計画書（現場掲示用様式）を公衆が見やすい場所に掲げること。

5 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに、当該搬出先の管理

者に対し、受領書の交付を求め、記載された搬出先の名称及び所在地が計画と一致することを確認する。なお、発注者から請求があった場合は速やかに受領書を提示すること。

6 受注者は、建設発生土を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、搬入元の管理者に対し受領書を交付する。

7 受注者は、再生資源利用（促進）計画書、実施書及び受領書を工事完了日から5年を経過する日まで保存すること。

（参考）コブリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ（<https://fkplus.jacic.or.jp/>）より、利用申請等を行うことができる。

第17条 産業廃棄物管理票等の提出

1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物（以下「産業廃棄物」という。）について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）を遵守し工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分、又は再生）を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。

ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の確認を受けなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の確認を受けなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は、監督職員と別途協議するものとする。

第18条 建設副産物対策（建設副産物処理の数量確認）

本工事において、現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影したデジタル写真（電子データ）等を設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

（作業内容）

（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）の単位とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、

特 記 仕 様 書

運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（各積載重量別車両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））

②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。

③受注者は、監督職員に①の電子データを提出し、②の記録を提示する。

（2）建設副産物の処理数量を体積（「m³」）の単位とする場合次の1）から3）のうち、いずれかの方法により確定する。

1）コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。

受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

2）前記「（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。

- ・コンクリート塊（鉄筋）2.5（t/m³） ・コンクリート塊（無筋）2.35（t/m³）
- ・アスファルト塊2.35（t/m³） ・掘削土（土砂）1.8（t/m³）
- ・掘削土（軟岩）2.2（t/m³） ・掘削土（硬岩）2.5（t/m³）

3）地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。

（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

④受注者は、監督職員に②③の電子データを提出する。

（3）受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。

（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

（4）建設副産物（建設発生木材（伐採木を含む））を木材市場等に搬出する場合

①受注者は、木材を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。

（木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

③受注者は、監督職員に②の電子データを提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第19条 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

1 監督職員の立会を要する工種については、施工計画書提出時に、立会時期・頻度等を定めるものとする。

第20条 デジタル工事写真の黒板情報電子化

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入及び、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の1から4の全てを実施することとする。

1 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウ

特 記 仕 様 書

ェア等（以下、「使用機器」という。）については、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理) 2 撮影基準に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<https://www.jcomsia.org/kokuban>」記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、使用機器を限定するものではない。

2 デジタル工事写真における黒板情報の電子的記入

受注者は、前項 1 の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。黒板情報の電子的記入を行う項目は、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理) 2 撮影基準による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3 黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理) 及び高知県電子納品運用に関するガイドライン第5. 2. 2版（工事編）の表 2-1電子納品に関連する要領・基準に定めるデジタル写真管理情報基準に準ずるが、前項 2 に示す黒板情報の電子的記入については、高知県電子納品運用に関するガイドライン第5. 2. 2版（工事編）の5-3. デジタル写真の編集で規定されている写真編集には該当しない。

4 黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、前項 2 に示す黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「黒板情報電子化写真」という。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。

なお納品時に、受注者はURL(<https://www.jcomsia.org/kokuban>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

第 2 1 条 施工管理

1 品質管理は「高知県工事技術管理要綱 品質管理基準」により実施し、その他の試験区分に係る試験項目についても必要に応じて試験を行うものとする。

第 2 2 条 排出ガス対策型建設機械

1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成22年3月18日付国総施第291号）」、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（国土交通省告示第348号、平成18年3月17日）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づき、技術基準に適合するものとして届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。また、請負金額（税込み）が5千万円以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、電子納品の際に施工状況写真に格納すること。

機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル（車輪式）
- ・ブルドーザ
- ・発動発電機（可搬式）
- ・空気圧縮機（可搬式）
- ・油圧ユニット（次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、

特 記 仕 様 書

オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機)

- ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ
- ・ホイールクレーン（ラフテレーンクレーンを含む）

※対象はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

第23条 交通誘導警備員の配置

- 1 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させてはならない。

ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでない。

- 2 交通誘導警備員Aが必要な交通誘導警備業務については、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を交通誘導警備業務を行う場所ごとに、1人以上配置することとする。

なお、配置する警備員の検定合格証の写しを事前に監督職員に提出し、警備員に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同資料を提出することとする。

- 3 交通誘導警備員Aが必要でない交通誘導警備業務については、警備業者の警備員であれば、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員である必要はない。

また、警備業者の警備員の配置が困難な場合は、別に定める手続きにより、警備業者の警備員によらず建設作業員等の他職種の者を交通誘導員として従事させることができることとする。なおその際、受注者は、交通誘導に関する安全教育を建設作業員等に行なったうえ、交通誘導員として専任させること。

- 4 交通誘導警備員の人手不足により、施工箇所周辺の警備業者からの配置が困難であり、やむなく現場までの通勤が長時間となる場合において、その費用の設計計上を希望する場合は、建設工事請負契約書第18条（契約変更）に基づき、「移動距離及び移動時間が確認できる資料」及び契約予定の警備業者より施工箇所に近い、全ての警備業者（営業所等含む）の「交通誘導警備員の配置に関する確認書」を付して確認請求を行うこと。

ただし、対象となる警備業者の「交通誘導警備員の配置に関する確認書」が提出できない場合は、設計変更の対象としないものとする。

- 5 交通誘導警備員の高齢化、就業者不足等により、交通誘導警備員の確保が困難な場

合において、交通誘導警備員の代替えとして映像解析AI等による交通誘導システム（以下、交通誘導システム等）の使用を可能とする。

交通誘導システムの使用を希望する場合は、建設工事請負契約書第18条（契約変更）に基づき、複数社から徴収した「交通誘導警備員の配置に関する確認書」及び交通誘導システム等の見積書を付して協議を行うこと。

第24条 設計図書の変更

- 1 設計変更等については、建設工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知県建設工事共通仕様書共通編1-1-1-15から1-1-1-17に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約における設計変更ガイドライン（令和2年4月（高知県土木部））」によることとする。

第25条 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第26条 監理技術者等

- 1 本工事において、建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者（以下、「専任特例2号による監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（12）の要件を全て満たさなければならない。
 - （1）兼務する工事が社会機能の維持に不可欠な工事（維持委託業務等を含む。）でないこと。（例：24時間体制で応急処置作業や巡回パトロール等が必要な工事等）
 - （2）低入札価格調査制度の調査対象工事でないこと。
 - （3）同一の専任特例2号による監理技術者が配置できる工事の数は、同時に2件までであること。
 - （4）専任特例2号による監理技術者が兼務できる工事は、専任特例2号による監理技術者として職務を適正に遂行できる範囲内にあること。具体的には、工事現場の相互の距離が10km程度以内の近接した場所であること。
 - （5）専任特例2号による監理技術者が兼務できる工事は、高知県発注工事以外（公共工事に限る。）でも可能とする。
 - （6）専任特例2号による監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行できること。
 - （7）専任特例2号による監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - （8）建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

特 記 仕 様 書

- (9) 監理技術者補佐は、主任技術者の要件を満たしている者のうち、1級施工管理技士補を有する者又は1級施工管理技士等により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号による監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
- (10) 監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的（3ヶ月以上）な雇用関係にあること。
- (11) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
- (12) 兼務する工事の発注者に本工事との兼務について承諾を得ること。
- 2 本工事の監理技術者が専任特例2号による監理技術者として兼務することとなる場合、「建設業法第26条第3項第2号に規定する監理技術者及び監理技術者補佐の取扱いについて」（令和5年3月14日付け4高土政第1343号土木部長通知 最終改正：令和7年1月23日付け6高土政第1196号）に規定する別記様式1、別記様式2及び1の（1）～（12）の事項について確認できる書類を「現場代理人・技術者届」に添付し、提出すること。
- 3 本工事において、専任特例2号による監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

第27条 工期

工期には、実働日数、雨天日、準備期間、後片付け期間及びその他作業不能日が含まれる。

また、工期に猛暑日を含むと想定される工事には、猛暑日日数9日が工期に含まれている。なお、実際の猛暑日日数が9日から大きく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を請求することができる。

（港湾工事及び港湾海岸工事を除く）

※猛暑日とは、8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数（休日を除く）とする。WBGT値は、環境省熱中症予防情報サイトに掲載されている観測データによる。

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響・・・・・・・・無

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限・・・・・・・・無

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項・・・・・・・・無

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

5. その他・・・・・・・・無

【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定・・・・・・・・無

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道・・・・・・・・無

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

【工事用道路関係】

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

1. 一般道路を搬入路として使用する場合

(1) 経路、期限の制限・・・・・・・・無

(2) 使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

2. 仮設路を設置する場合

(1) 安全施設等の設置の必要・・・・・・・・無

(2) 工事終了後の措置・・・・・・・・撤去

(3) 維持及び補修の必要・・・・・・・・無

3. 一般道路の占用の必要・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

【仮設備関係】

1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無
2. 仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無
3. 仮設備の設計条件・・・・・・・・無

【建設副産物関係】

1. 建設発生土の搬出・・・・・・・・無
2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・・・無
3. 産業廃棄物の処理条件（*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）
 - (1) 処理場所 高岡郡越知町横畠東
 - 処理方法（指定）
 - 処理場の受入条件 再生処理

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の
条件明示であり指定事項ではない。

【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限・・・・・・・・無
2. 第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・・・無

【工事支障物件関係】

1. 地上、地下等の支障物件・・・・・・・・無
2. 地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

【排水工（濁水処理を含む）関係】

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

【その他】

1. 工事用資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定・・・・・・・・無

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・無

4. 工事用電力等の指定・・・・・・・・無

5. 電気・通信回線等の契約手続き（仮設設備除く）・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 仁淀－8

第008-0001-01号

明示事項（説明書）

6. 交通誘導警備員の配置

（1）工事期間中の安全確保のため、交通誘導警備員の配置人数は下記を予定している。

交通誘導警備員B 30 人

なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督職員と協議すること。

7. その他

（1）搬入土採取場所

工事で使用する土砂は、仁淀川町の管理する町残土場より採取するものとする。

距離 L=10.7km

（2）その他

その他疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
道路新設・改築					
道路改良					
橋梁下部工(A2橋台)					
作業土工					
作業土工	式	1			明細表 第1号
搬入土運搬工					
搬入土運搬	式	1			明細表 第2号
躯体工(A2橋台)					
躯体工	式	1			明細表 第3号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋梁取合工(A2橋台側)					
掘削工(A2橋台側)					
掘削	式	1			明細表 第4号
路体等盛土工(A2橋台側)					
路体盛土	式	1			明細表 第5号
擁壁工(A2橋台側)					
1号重力式擁壁	式	1			明細表 第6号
2号重力式擁壁	式	1			明細表 第7号
排水構造物工					
排水工	式	1			明細表 第8号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
防護柵工 (A2橋台側)					
ガードレール	式	1			明細表 第9号
ブロック積擁壁工					
1号山留ブロック積擁壁	式	1			明細表 第10号
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	式	1			明細表 第11号
直接工事費計					
共通仮設費率分	式	1			
共通仮設費計					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
純工事費					
現場管理費	式	1			
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等	式	1			
工事価格					
消費税等相当額					
請負工事費					

明細表 第 1号
作業土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
床掘り 土砂，標準，土留無し，障害無し	m3	15			施工P 第 1 号
掘削 軟岩，オープンカット，障害無し，1,000m3未満，破砕片除去有り(50,000m3未満)，集積押土無し	m3	120			施工P 第 2 号
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	m3	5			施工P 第 3 号
路体(築堤)盛土 2.5m未満	m3	56			施工P 第 4 号
路床盛土 2.5m未満	m3	14			施工P 第 5 号
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	23			施工P 第 6 号
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	160			施工P 第 7 号
コンクリート 小型構造物，クレーン車打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，一般養生，打設高約17m以下、距離約17m以下，標準，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m3	4			施工P 第 8 号
張りコンクリート 張コンクリート t=100mm、基礎砕石 t=100mm	m ²	42			単価表 第 1 号
吹付法面取壊し 集積積込有り，機械施工	m ²	49			施工P 第 10 号

明細表 第 3号
躯体工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋台・橋脚コンクリート打設 24-12-25 (20) 高炉 W/C=55%以下	m ³	76			単価表 第 4 号
型枠 一般型枠 , 鉄筋・無筋構造物	m ²	110			施工 P 第 14 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 , バックホウ (クレーン機能付) 打設 , 18-8-25 (20) (高炉) W/C=60%以下 , 一般養生 , しない<標準>(全ての費用) , 小型車加算無し	m ³	3			施工 P 第 15 号
型枠 一般型枠 , 均しコンクリート	m ²	3			施工 P 第 16 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 , バックホウ (クレーン機能付) 打設 , C=170kg/m ³ (高炉) , 養生工無し , しない<標準>(全ての費用) , 小型車加算無し	m ³	3			施工 P 第 17 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 , バックホウ (クレーン機能付) 打設 , 24-12-25 (20) (高炉) W/C=55%以下 , 一般養生 , しない<標準>(全ての費用) , 小型車加算無し	m ³	0.5			施工 P 第 18 号
型枠 一般型枠 , 鉄筋・無筋構造物	m ²	2			施工 P 第 14 号
型枠 一般型枠 , 鉄筋・無筋構造物	m ²	0.2			施工 P 第 14 号
箱抜き しない<標準>(全ての費用)	m	5			施工 P 第 19 号
踏掛版用アンカー筋 SD345 D25 L=500mm 溶融亜鉛メッキ	本	6			

明細表 第 3号
躯体工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工 加工・組立 加工・組立，一般構造物，鉄筋径16～25mm，SD345 D16～D25	t	2.64			単価表 第 6 号
鉄筋工 加工・組立 加工・組立，一般構造物，鉄筋径13mm，SD345 D13	t	0.64			単価表 第 7 号
機械式鉄筋定着加工費 鉄筋端部加工費 D16、3000本未満、2m以下	箇所	33			
機械式鉄筋定着加工費 鉄筋端部加工費 D13、3000本未満、2m以下	箇所	113			
足場工 手摺先行型枠組足場	掛㎡	160			単価表 第 8 号
支保工 ハ イ フ ァ ー ト 支 保 ， 40空m3以下(小規模)， $f \leq 40\text{kN/m}^2$	空m3	10			単価表 第 9 号
1 式 当り					

明細表 第 4号
掘削

明細表

[illegible]

明細表 第 6号
1号重力式擁壁

明細表

[illegible]

明細表 第 9号
カーポートレール

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
カーポートレール基礎鉄筋					単価表 第 12 号
	m	3			
1 式 当り					
カーポートレール基礎鉄筋					

単価表 第 1号

張りコンクリート

単価表

(1)

金額：

内容：張コンクリート t=100mm、基礎砕石 t=100mm

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート打設工(張りコンクリート工) 防草コンクリート , パックホウ(クレーン機能付)打設 , 18-8-25(20)高炉 W/C=60%以下 , 目地材あり	m ²	1.0			単価表 第 2 号
養生工(張りコンクリート工) 防草コンクリート	m ²	1.0			単価表 第 3 号
基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下 , 再生クラッシュラン RC-40 , しない<標準>(全ての費用)	m ²	1.0			施工P 第 9 号
諸雑費	式	1			
	(	1	m ² 当り		)

単価表 第 2号

コンクリート打設工(張りコンクリート工)

単価表

(100)

金額：

内容：防草コンクリート，バックホウ(クレーン機能付)打設，18-8-25(20)高炉 W/C=60%以下，目地材あり

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.6			[1]
特殊作業員	人	1.1			[1]
普通作業員	人	1.9			[1]
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下	m3	12.1			
バックホウ運転(張りコンクリート工)	日	0.89			運転単価表
諸雑費 4 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	100	m ² 当り		)
	(	1	m ² 当り		)
*** 施工条件 *** 構造物種別 : 防草コンクリート 施工区分 : バックホウ(クレーン機能付)打設					
生コンクリート規格 : 18-8-25(20)高炉 W/C=60%以下 目地材の有無 : 目地材あり 生コンクリート設計量(※含まず) : 10.00 m3/100m2					

単価表 第 3号

養生工(張りコンクリート工)

単価表

(100)

金額 :

内容 : 防草コンクリート

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.09			[1]
普通作業員	人	0.31			[1]
諸雑費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	100	m ² 当り		)
	(	1	m ² 当り		)
*** 施工条件 *** 構造物種別 : 防草コンクリート					

単価表 第 4号

橋台・橋脚コンクリート打設

単価表

(10)

金額：

内容：24-12-25(20)高炉 W/C=55%以下

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.06			[1]
特殊作業員	人	0.18			[1]
普通作業員	人	0.24			[1]
生コンクリート 24-12-25(20) 高炉 W/C=55%以下	m3	10.2			
コンクリートポンプ車運転(橋台・橋脚工1)	日	0.06			[1] 運転単価表
養生工 鉄筋構造物	m3	10.0			単価表 第 5 号
諸雑費 3 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	10	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 生コンクリート規格 : 24-12-25(20)高炉 W/C=55%以下 養生工の種類 : 一般養生					

単価表 第 5号

養生工

単価表

(10)

金額：

内容：鉄筋構造物

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.05			[1]
普通作業員	人	0.13			[1]
諸雑費 21 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	10	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 構造物種別 : 鉄筋構造物 養生工の種類 : 一般養生					

単価表 第 6号

鉄筋工 加工・組立

単価表

(1)

金額：

内容：加工・組立，一般構造物，鉄筋径16～25mm，SD345 D16～D25

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.1			[1] 加工
土木一般世話役	人	0.4			[2] 組立
鉄筋工	人	1.7			[1] 加工
鉄筋工	人	2.9			[2] 組立
普通作業員	人	0.2			[1] 加工
普通作業員	人	0.2			[2] 組立
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊 ホベレタ付き	日	0.04			加工
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊 ホベレタ付き	日	0.11			組立
異形棒鋼 D16～25 SD345	t	1.03			
諸雑費 12 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			加工

単価表 第 7号

鉄筋工 加工・組立

単価表

(1)

金額：

内容：加工・組立，一般構造物，鉄筋径13mm，SD345 D13

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.2			[1] 加工
土木一般世話役	人	0.5			[2] 組立
鉄筋工	人	2.3			[1] 加工
鉄筋工	人	3.5			[2] 組立
普通作業員	人	0.2			[1] 加工
普通作業員	人	0.3			[2] 組立
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊 ホベレタ付き	日	0.04			加工
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊 ホベレタ付き	日	0.11			組立
異形棒鋼 D13 SD345	t	1.03			
諸雑費 12 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			加工

単価表 第 8号

足場工

単価表

(100)

金額：

内容：手摺先行型枠組足場

1 掛m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	1.6			[1]
とび工	人	7			[1]
普通作業員	人	1.3			[1]
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮シブ型 最大吊上能力25t吊 ホベレタ付き	日	1.4			[1]
諸雑費 34 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	100	掛m ² 当り		)
	(	1	掛m ² 当り		)
*** 施工条件 *** 工法 : 手摺先行型枠組足場 安全ネットの有無 : 安全ネットなし					

単価表 第 9号

支保工

単価表

(10)

金額：

内容：ハ°イ°ホ°-ト支保，40空m3以下(小規模)， $f \leq 40\text{kN/m}^2$

1 空m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	0.29			[1]
型わく工	人	0.53			[1]
とび工	人	0.25			[1]
普通作業員	人	0.57			[1]
諸雑費 13 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	10	空m3 当り		)
	(	1	空m3 当り		)
*** 施工条件 *** 工法 : ハ°イ°ホ°-ト支保 総設置数量 : 40空m3以下(小規模)					
支保耐力 : $f \leq 40\text{kN/m}^2$					

単価表 第 10号

ペーラインコンクリート(材料費)

単価表

(1)

金額：

内容：重力式・もたれ式擁壁，生コンクリート(各種)

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
生コンクリート	m3	1.04			
諸雑費	式	1			
	(	1	m3 当り		)
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 擁壁種類 : 重力式・もたれ式擁壁 コンクリート規格 : 生コンクリート(各種)					
小型車加算の有無 : 小型車加算無し 生コンクリートの規格 : C=170kg/m3 高炉					

単価表 第 11号

コルゲートフリューム設置

単価表

(5.400)

金額：

内容：B350×H350、A形、ANBT固定8本/m、材料及び削孔費含む

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人	1.0			[1]
特殊作業員	人	1.0			[1]
普通作業員	人	1.0			[1]
諸雑費 10 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(	5.4	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 12号 カートレール基礎鉄筋

単価表

(10)

金額： 内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工 加工・組立 加工・組立，一般構造物，鉄筋径13mm，SD345 D13	t	0.04			単価表 第 7 号
箱抜き しない<標準>(全ての費用)	m	2.0			施工P 第 22 号
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 13号

コンクリートブロック積

単価表

(10)

金額：

内容：練積，裏込コンクリート厚15cm，18-8-40 高炉 W/C=60%以下，ブロック(滑面) 150kg/個未満

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ブロック積工 時間的制約：無	m ²	10			
ブロック 控35cm	m ²	10			
生コンクリート 18-8-40 高炉 W/C=60%以下	m ³	2.02			胴込コンクリート
生コンクリート 18-8-40 高炉 W/C=60%以下	m ³	1.68			裏込コンクリート
諸雑費	式	1			
	(	10	m ² 当り		)
	(	1	m ² 当り		)
*** 施工条件 *** 空練区分：練積 裏込コンクリートの有無：裏込コンクリート厚15cm					
小型車加算の有無：小型車加算：無 時間的制約の有無：時間的制約：無 作業時間帯：標準					
胴込・裏込コンクリートの規格：18-8-40 高炉 W/C=60%以下 コンクリート積ブロックの規格：ブロック(滑面) 150kg/個未満 胴込コンクリートの設計数量：標準(1.8m3/10m2)					

諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 8年10月 1日
単価適用地区	中央西土木事務所 2 地区(中部地区)
工種区分	河川・道路構造物工事
I C T補正（3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理）	補正しない
技術者間接費の計上有無	計上しない
機器単体費の計上有無	計上しない
施工地域・工事場所区分の補正（共通仮設費）	一般交通影響有り（2）－2
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正（現場管理費）	一般交通影響有り（2）－2
堤頂20mの補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	3 5 %を超える（1.00）
契約保証に係る補正	金銭的保証
工事価格まるめ区分	万円まるめ
諸経費等率指定	率指定しない
現場環境改善費の計上有無	計上しない

公 表 単 価 一 覧 表

名称・規格1・規格2	単 位	単 価	摘 要
機械式鉄筋定着加工費 鉄筋端部加工費 D16、3000本未満、2m以下	箇所		明細表 第3号 建設物価P22
機械式鉄筋定着加工費 鉄筋端部加工費 D13、3000本未満、2m以下	箇所		明細表 第3号 建設物価P22
踏掛版用アンカー筋 SD345 D25 L=500mm 溶融亜鉛メッキ	本	3,350	明細表 第3号 見積単価
生コンクリート C=170kg/m3 高炉	m3		単価表 第10号 県単価
円形空洞型枠 Φ150×4m、7シボット同等品	m		施工P 第19号 建設物価P173
円形空洞型枠 Φ175mm×4m	m		施工P 第22号 県単価

令和 8 年 度

社会資本整備総合交付金事業
町道椿山線道路改良工事

数量計算書

実施設計

仁 淀 川 町

設計数量総括表

名 称	工 種	種 別	細 別	規 格	実施設計		摘 要
					単位	数 量	
道路新設・改良 道路改良							
橋梁下部工 (A 2 橋台)							
	作業土工 (A 2 橋台)						
		作業土工					
			床掘	土砂、土留無し	m3	15.1	
			掘削	軟岩、オープンカット、障害なし、 1000m3未満、破砕片除去有り	m3	115.5	ベールライン含む V=112.1+3.4(ベールライン分)=115.5
		盛土工					
			路体(築堤)盛土	2.5m≦W<4.0m	m3	5.4	
			路体(築堤)盛土	2.5m<W	m3	55.8	
			路床盛土	2.5m<W	m3	14.4	
		埋戻					
			埋戻し	W1<1.0m	m3	22.9	橋台前盛土
			埋戻し	1.0m≦W<4.0m	m3	159.6	橋台側面盛土
			埋戻コンクリート	18-8-40(高炉)W/C=60%、小型構 造物、クレーン車打設、一般養生	m3	4.2	
			張りコンクリート	張りコンクリートt=100mm 基礎砕石t=100mm	m2	41.5	
		構造物取壊し					
			吹付法面取壊し	t=50mm、機械施工、集積積込み有 り	m2	49.3	図面(7/17)より
			鼓運搬	吹付法面とりこわし(モルタル)、機械 施工、DID区間無し、27.5km以下	m3	2.47	L=24.7km 取壊し面積A=49.30×厚さ0.05m
			処分料	再生資源化施設(無筋コンクリート) 再生骨材-21	m3	2.47	
	搬入土運搬工						
		搬入土運搬			式	1	
			積込(ルーズ)		m3	107.2	
			土砂等運搬	土砂、L=11.5km以下	m3	107.2	L=10.7km
	躯体工(A 2 橋 台)						
		躯体工	延長 L=8.97m		式	1	
			橋台・橋脚コンクリート打設	24-12-25(20)、高炉、W/C=55%以 下	m3	75.9	
			型枠	一般型枠、鉄筋構造物	m2	109.6	
			均しコンクリート	18-8-25(高炉)W/C=60%、無筋・ 鉄筋構造物、ベック砂(クレーン機能付) 打設、一般養生	m3	3.4	

設計数量総括表

名 称	工 種	種 別	細 別	規 格	実施設計		摘 要
					単位	数 量	
			均し型枠		m2	2.6	
			ペーラインコンクリート	C=170kg/m3(高炉)、無筋・鉄筋構造物、バックホ(クレーン機能付)打設	m3	3.4	
			台座コンクリート	24-12-25(高炉)、無筋・鉄筋構造物、バックホ(クレーン機能付)打設、一般養生	m3	0.5	
			台座コンクリート用型枠	鉄筋構造物	m2	1.7	
			箱抜き型枠		m2	0.2	
			アンカー孔抜き型枠	Φ150	m	5.4	
			踏掛版用アンカー筋	SD345、D25、L=500、溶融亜鉛メッキ	本	6	
			鉄筋工	SD345、D16～D25	kg	2,638	D22: 711kg D16: 1,927kg =2.638t
			鉄筋工	SD345、D13	kg	639	=0.639t
			機械式鉄筋定着工法	D16、2m以下	箇所	33	
			機械式鉄筋定着工法	D13、2m以下	箇所	113	23+90=113
			足場工	枠組足場	掛m2	160.8	
			支保工	支保耐力以上	空m3	14.6	
	橋梁取合工 (A 2 橋台)						
		掘削			式	1	
			床掘	土砂、土留無し	m3	15.7	
			掘削	軟岩、オープンカット、障害なし、1000m3未満	m3	12.8	
			基面整正		m2	1.5	
		路体盛土			式	1	
			埋戻し	1.0m≦W<4.0m	m3	2.7	
			埋戻し(路体)	2.5m≦W<4.0m	m3	4.5	
			埋戻し	締固めなし	m3	0.5	
			埋戻しコンクリート	18-8-40(高炉)W/C=60%、小型構造物、クレーン車打設、一般養生	m3	0.4	
	擁壁工 (A 2 橋台側)						
		1号重力式擁壁			式	1	
			1号重力式擁壁	18-8-40(高炉)、W/C=60%以下、平均高さ2m以上5m以下、	m3	17.00	平均高H=4.47m L=3.2m
			ペーラインコンクリート	C=170kg/m3	m3	0.57	(1.58*1.20+2.00*21.90)*0.10=0.57

設計数量総括表

[illegible]

橋 台 工 数量計算

工種数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
橋台工						
	A2橋台(逆T式橋台)					
		コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m3	75.9	
		型枠	鉄筋構造物	m2	109.6	
		後打コンクリート(伸縮装置)	$\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$	m3	0.2	
		後打型枠(伸縮装置)	鉄筋構造物	m2	0.6	
		均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	3.4	
		均し型枠	無筋構造物	m2	2.6	
		台座コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m3	0.5	
		台座コンクリート用型枠	鉄筋構造物	m2	1.7	
		箱抜き型枠		m2	0.2	
		アンカー孔抜き型枠	$\phi 150$	m	5.4	
		普通鉄筋	SD345 D25	kg	12	踏掛版用アンカー筋 L500×6本 溶融亜鉛メッキHDZT77
		普通鉄筋	SD345 D16～D22	kg	2,638	2.638t
		普通鉄筋	SD345 D13	kg	639	0.639t
		普通鉄筋	SD345 総質量	kg	3,289	
		普通鉄筋機械式定着工法	D16 (1m超～2m以下)	箇所	33	
		普通鉄筋機械式定着工法	D13 (1m超～2m以下)	箇所	23	2 m以下 23+90=113
		普通鉄筋機械式定着工法	D13 (1m未満)	箇所	90	

工種数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		足場	枠組足場	掛m2	160.8	
		支保工		空m3	14.6	
	作業土工					
		床掘	土砂	m3	15.1	
		床掘	軟岩	m3	115.5	ペーライン分含む
		路体(築堤)盛土 [橋台背面盛土]	2.5m≦W<4.0m	m3	5.4	橋台背面盛土の材料仕様、締め固め管理値は土工図を参照
		路床(築堤)盛土 [橋台背面盛土]	W<2.5m	m3	55.8	橋台背面盛土の材料仕様、締め固め管理値は土工図を参照
		路床盛土 [橋台背面盛土]	W<2.5m	m3	14.4	橋台背面盛土の材料仕様、締め固め管理値は土工図を参照
		橋台前面盛土	2.5m≦W<4.0m	m3	0.0	
		橋台前面盛土	W1<1.0m	m3	22.9	
		橋台側面盛土	1.0m≦W<4.0m	m3	159.6	
		コンクリート取壊し	無筋構造物	m3	0	
		埋戻しコンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	4.2	
		張りコンクリート	t=10+10	m2	41.5	
		仮設法面補強工		m2	104.7	

種別数量集計表

種 別：A2橋台(逆T式橋台)
規 格：

細 別	規 格	単位	A2橋台						合 計	摘 要
コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m3	75.9						75.9	
型枠	鉄筋構造物	m2	109.6						109.6	
後打コンクリート (伸縮装置)	$\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$	m3	0.2						0.2	
後打型枠(伸縮装置)	鉄筋構造物	m2	0.6						0.6	
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	3.4						3.4	有
均し型枠	無筋構造物	m2	2.6						2.6	
台座コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m3	0.5						0.5	有
台座コンクリート 用型枠	鉄筋構造物	m2	1.7						1.7	有
箱抜き型枠		m2	0.2						0.2	
アンカー孔抜き型 枠	$\phi 150$	m	5.4						5.4	

種別数量集計表

種 別：A2橋台(逆T式橋台)
規 格：

細 別	規 格	単位	A2橋台						合 計	摘 要
普通鉄筋	SD345 D25	kg	12						12	踏掛版用アンカー筋 12kg
	SD345 D22	kg	711						711	SD345 D16～D22 2,638kg
	SD345 D16	kg	1,927						1,927	
	SD345 D13	kg	639						639	SD345 D13 639kg
	SD345 総質量	kg	3,289						3,289	
普通鉄筋機械式定着工法	D16 (1m超～2m以下)	箇所	33						33	
	D13 (1m超～2m以下)	箇所	23						23	
	D13 (1m未満)	箇所	90						90	
足場	桝組足場	掛m2	160.8						160.8	
支保工		空m3	14.6						14.6	

細別数量計算書

種 別 : A2橋台(逆T式橋台)
 ブロック : A2橋台
 区 分 :

細別/規格	算 式 / 図	数 量
参考計算書	① 1.900×8.033 $=15.263$ ② 1.900×8.974 $=17.051$ ③ $1/2 \times (0.763+0.759) \times 0.680 + 1/2 \times (0.509+0.500) \times 2.730$ $+ 1/2 \times 0.500 \times 4.469 + 1/2 \times (0.750+0.751) \times 0.600$ $=3.462$ ④ $1/2 \times 0.500 \times (8.479+8.726)$ $=4.301$ ⑤ $1/2 \times (1.064+1.149) \times 8.726$ $=9.655$ ⑥ $1/2 \times (2.377+2.367) \times 0.680 + 1/2 \times (2.117+2.131) \times 2.787$ $+ 1/2 \times (2.131+2.173) \times 4.906 + 1/2 \times (2.423+2.416) \times 0.600$ $=19.542$ ⑦ $1/2 \times (0.300+0.800) \times 0.500$ $=0.275$	
コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	胸壁 ③ ④ $V1=3.462 \times 0.500 + 1/2 \times 4.301 \times 0.500$ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ $+ 1/2 \times (3.462+4.301+9.655+19.542) \times 0.500 + 0.275 \times 5.900$ [後打ちコンクリート] $- 0.090 \times 1/2 \times (7.199+7.372) \times 0.350$ $=13.439$ 縦壁 ① ② [橋座勾配部] $V2=1/2 \times (15.263+17.051) \times 1.900 + 1/2 \times 0.028 \times 1.400 \times 1/2 \times (8.033+8.726)$ $=31.027$ フーチング $V3=1.000 \times 8.974 \times 3.500$ $=31.409$ コンクリート計 $V=13.439+31.027+31.409$ $=75.875$	75.9 m3

細別数量計算書

種 別 : A2橋台(逆T式橋台)
 ブロック : A2橋台
 区 分 :

細別/規格	算 式 / 図	数 量
型枠 鉄筋構造物	胸壁 ③ ④ ⑤ ⑥ [受台] $A1=3.462+4.301 \times 1.414+9.655+19.542+(0.707-0.500) \times 5.900$ [側面] $+1/2 \times (2.329+2.377) \times 0.558+1/2 \times (2.400+2.416) \times 0.500$ $+1/2 \times (1.265+0.763) \times 0.558+1/2 \times (1.251+0.751) \times 0.500$ ⑦ [地覆内側] [伸縮後打ち部] $+0.275 \times 2+0.250 \times (1.116+1.000)+0.090 \times (0.391 \times 0.350)$ $=44.637$ 縦壁 ① ② [側面] $A2=15.263+17.051+1.900 \times (2.120+1.900)$ [橋座勾配部] $+1/2 \times 0.028 \times (1.562+1.400)$ $=39.993$ フーチング $A3=1.000 \times (8.974+3.500) \times 2$ $=24.948$ 型枠計 $A=44.637+39.993+24.948$ $=109.578$	109.6 m2
後打コンクリート (伸縮装置)	$V=0.090 \times 1/2 \times (7.199+7.372) \times 0.350$ $=0.229$	0.2 m3
σ ck=36N/mm2		0.6 m2
後打型枠(伸縮装置)	$A=0.090 \times 7.199$ $=0.648$	0.6 m2
鉄筋構造物		
均しコンクリート	$V=9.174 \times 3.700 \times 0.100$ $=3.394$	3.4 m3
σ ck=18N/mm2		
均し型枠	$A=(9.174+3.700) \times 0.100 \times 2$ $=2.575$	2.6 m2
無筋構造物		
台座コンクリート	$V=(0.114+0.137+0.162) \times 1.000 \times 1.100$ $=0.454$	0.5 m3
σ ck=24N/mm2		

細別数量計算書

種 別：A2橋台(逆T式橋台)
 ブロック：A2橋台
 区 分：

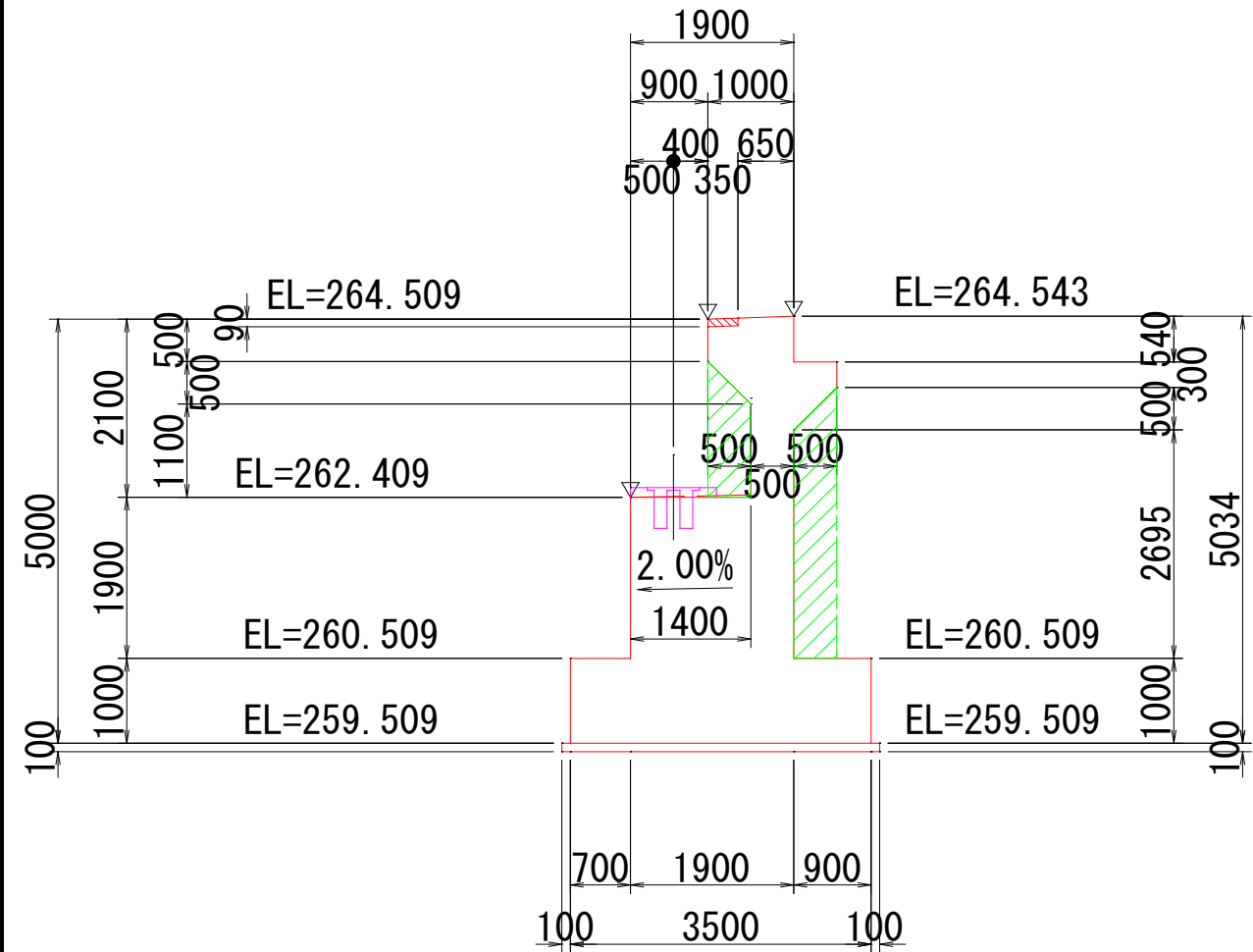
細別／規格	算 式／ 図	数 量
台座コンクリート 用型枠	$A = (0.114 + 0.137 + 0.162) \times (1.000 + 1.100) \times 2$ =1.735	1.7 m2
鉄筋構造物 箱抜き型枠	$A = (0.610 + 0.710) \times 0.030 \times 2 \times 3$ =0.238	0.2 m2
アンカー孔抜き型 枠 φ150	$L = 0.450 \times 4 \times 3$ =5.400	5.4 m
普通鉄筋 SD345 D16～D25	D25 (踏掛版用アンカー筋・溶融亜鉛メッキ) W=12 D22 W=711 D19 W=0 D16 W=1927 鉄筋質量計 $W = 12 + 711 + 0 + 1927 = 2650$	D25 12 kg D22 711 kg D19 kg D16 1,927 kg 2,650 kg
普通鉄筋 SD345 D13	D13 W=639 鉄筋質量計 W=639	639 kg
普通鉄筋 SD345 総質量	$W = 2650 + 639 = 3289$	3,289 kg
普通鉄筋機械式定 着工法 D16 (1m超～2m以 下)	N=	33 箇所
普通鉄筋機械式定 着工法 D13 (1m超～2m以 下)	N=	23 箇所
普通鉄筋機械式定 着工法 D13 (1m未満)	N=	90 箇所
足場 枠組足場	$A = (9.816 + 4.575 + 11.845 + 4.100) \times 5.3$ =160.781掛m2	160.8 掛m2

細別数量計算書

種 別：A2橋台(逆T式橋台)
ブロック：A2橋台
区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
支保工①	$A=(1.10+1.60)/2\times0.50=0.675$ $L=(8.479+8.974)/2=8.727$ $V=0.675\times8.727=5.89$	5.89 空m3
支保工② 踏掛版 L=5.90m	$A=(2.695+3.195)/2\times0.50=1.473$ $V=1.473\times5.90=8.69$	8.69 空m3
	$5.89+8.69=14.58$	14.58 空m3

断面図(1-1)



種別数量集計表

種 別：作業土工
規 格：

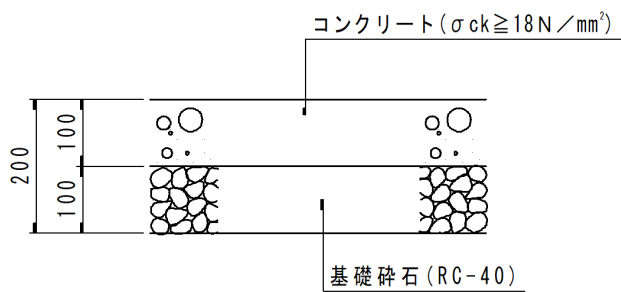
細 別	規 格	単位	A1橋台	A2橋台					合 計	摘 要
床掘	土砂	m3		15.1					15.1	
	軟岩	m3		115.5					115.5	ペーライン分含む
橋台背面盛土 (路床)	4.0m≦W	m3							0.0	
	2.5m≦W<4.0m	m3							0.0	
	W<2.5m	m3		14.4					14.4	
橋台背面盛土 (路体)	4.0m≦W	m3							0.0	
	2.5m≦W<4.0m	m3		5.4					5.4	
	W<2.5m	m3		55.8					55.8	
橋台前面盛土	1.0m≦W1<4.0m	m3							0.0	
	W1<1.0m	m3		22.9					22.9	

種別数量集計表

種 別：作業土工
規 格：[illegible]

細別数量計算書

種 別：作業土工
ブロック：A2橋台
区 分：

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
床掘 土砂	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=15.10$	15.1 m ³
床掘 軟岩	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=112.10$ $=112.10+3.39(\text{ペーライン分})$	115.5 m ³
橋台背面盛土 路体 4.0m<W	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=0.00$	0.0 m ³
橋台背面盛土 路体 2.5m≤W<4.0m	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=5.40$	5.4 m ³
橋台背面盛土 路体 W<2.5m	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=55.80$	55.8 m ³
橋台背面盛土 路床 W<2.5m	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=14.40$	14.4 m ³
橋台前面盛土 W1<1.0m	A 2 橋台土工図参照 $V=$ $=22.90$	22.9 m ³
橋台側面盛土 1.0m≤W<4.0m	A 2 橋台土工図参照 $V=27.5 \times 2.3+30.1 \times 3.2$ $=159.57$	159.6 m ³
埋戻しコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	A 2 橋台土工図参照 $V=1/2 \times (0.7+0.4) \times 5.9+1/2 \times (0.4+0.2) \times 3.1$ $=4.18$	4.2 m ³
張りコンクリート t=10+10	 コンクリート ($\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$) 基礎碎石 (RC-40) A 2 橋台土工図参照 $A=2.0 \times 0.9+1/2 \times (2.0+3.7) \times 5.9+1/2 \times (3.7+3.6) \times 3.1+3.6 \times 3.2$ $=41.45$	41.5 m ²
仮設法面補強工	A 2 橋台土工図参照 $A=$ $=104.68$	104.7 m ²
ペーライン t=100mm C=170kg/m ³	橋台均しコン延長=9.20m、橋台均しコン幅 =3.70m $V=9.17 \times 3.70 \times 0.10$ $=3.39$	=3.39 m ³

土工 数量計算書

測 点	距離	床 掘 (土砂)			床 掘 (軟岩)			橋台全面盛土 (W1<1.0m)			摘 要
		単位数量	平 均	合数量	単位数量	平 均	合数量	単位数量	平 均	合数量	
A-A-2.3	0.0	0.0			0.0			0.0			A-A
A-A-1.7	0.6	0.1	0.05	0.0	9.5	4.75	2.9	1.4	0.70	0.4	A-A
A-A	1.7	0.1	0.10	0.2	9.5	9.50	16.2	1.4	1.40	2.4	
B-B	5.9	1.1	0.60	3.5	8.7	9.10	53.7	1.8	1.60	9.4	
C-C	3.1	2.7	1.90	5.9	7.2	7.95	24.6	2.2	2.00	6.2	
C-C+1.7	1.7	2.7	2.70	4.6	7.2	7.20	12.2	2.2	2.20	3.7	C-C
C-C+2.4	0.7	0.0	1.35	0.9	0.0	3.60	2.5	0.0	1.10	0.8	C-C
合計	13.7			15.1			112.1			22.9	
測 点	距離	路床盛土 (W<2.5m)			路床盛土 (2.5≤W<4.0m)			路床盛土 (4.0m<W)			摘 要
		単位数量	平 均	合数量	単位数量	平 均	合数量	単位数量	平 均	合数量	
A-A	0.0	1.6			0.0						
B-B	5.9	1.6	1.60	9.4		0.00	0.0		0.00	0.0	
C-C	3.1	1.6	1.60	5.0		0.00	0.0		0.00	0.0	
合計	9.0			14.4			0.0			0.0	
測 点	距離	路体盛土 (W<2.5m)			路体盛土 (2.5≤W<4.0m)			路体盛土 (4.0m<W)			摘 要
		単位数量	平 均	合数量	単位数量	平 均	合数量	単位数量	平 均	合数量	
A-A	0.0	6.2			0.6						
B-B	5.9	6.2	6.20	36.6	0.6	0.60	3.5		0.00	0.0	
C-C	3.1	6.2	6.20	19.2	0.6	0.60	1.9		0.00	0.0	
合計	9.0			55.8			5.4			0.0	

橋台取合せ工 数量計算

橋台取合工設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
土工						
	掘削工					
		床掘(土砂)	バックホウ	m3	15.7	14K
		床掘(軟岩)	大型ブレーカー	m3	12.8	16K
	路体盛土工					
		埋戻し	W1<1.0m, W2<1.0m	m3	2.7	B4-D
		埋戻し	1.0m≤W1<4.0m, W2<1.0m	m3	4.5	B4-C
		埋戻し	締固めなし	m3	0.5	B4
		埋戻し	埋戻しコンクリート	m3	0.4	Bcon
	法面整形工					
		床均し	土砂	m2	1.5	T
	擁壁工					
		1号重力式擁壁	構造物単位			L=3.2m 平均高H=4.47m
		コンクリート	重力式擁壁(2m≤H≤5m) 18-8-40	m3	17.0	
		基礎砕石	t=200mm	式	0	無
		均しコンクリート		式	0	無
		ペーラインコンクリート	C=170kg/m3以上	m3	0.6	
		2号重力式擁壁	構造物単位			L=4.3m 平均高H=4.33m
		コンクリート	重力式擁壁(2m≤H≤5m) 18-8-40	m3	22.5	

橋台取合工設計数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
		基礎碎石	t=200mm	式	0	無
		均しコンクリート		式	0	無
		ペーラインコンクリート	C=170kg/m3以上	m3	0.6	
	1号山留ブロック 積擁壁					
		ブロック積	t=350mm	m2	10.4	
		胴込コンクリート	18-8-40	m3	2.3	
		裏込コンクリート	18-8-40	m3	1.6	
		裏込碎石	RC-40	m3	2.0	
		足場	単管傾斜	掛m2	9.0	
		吸出防止材	点在	式	1	有
		水抜パイプ	VP φ 50	式	1	有
		1号山留ブロック 積基礎		m	4.5	
排水構造物工						
	排水工					
		コルゲートフリューム	B350×H350	m	5.4	
防護柵工						
	防護柵工					
		1号ガードレール 基礎鉄筋	構造物用, Gr-C-2B SD345、D13	m	3.2	
		2号ガードレール	土中用, Gr-C-4E	m	0	

道路土工数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
土工						
	掘削工					
		床掘(土砂)	バックホウ	m3	15.7	14K
		床掘(軟岩)	大型ブレーカー	m3	12.8	16K
	路体盛土工					
		埋戻し	W1<1.0m	m3	2.7	B4-D
		埋戻し	1.0m≦W1<4.0m	m3	4.5	B4-C
		埋戻し	締固めなし	m3	0.5	B4
		埋戻し	埋戻しコンクリート	m3	0.4	Bcon
	法面整形工					
		床均し	土砂	m2	1.5	T

掘削工数量集計表

種 別：掘削工
規 格：

細 別	規 格	単位	橋梁取合工						合 計	摘 要
			A1橋台側	A2橋台側						
床掘(土砂)	バックホウ	m3		15.7					15.7	14K
床掘(軟岩)	大型ブレーカー	m3		12.8					12.8	16K

掘削工数量計算書

種 別：掘削工
 ブロック：橋梁取合工
 区 分：A2橋台側
 細 別：平均断面計算書
 規 格：

測 点	距 離(m)	床掘(土砂) 14K			床掘(軟岩) 16K			---			摘 要
		断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	
F - F	—	0.3	—	—	10.1	—	—				
F' - F'	1.2	0.0	0.15	0.2	0.0	5.05	6.1				
G - G	2.0										
H - H	—										
H' - H'	1.7	0.0	—	—	0.0	—	—				
I - I	1.5	4.8	2.40	3.6	7.4	3.70	5.6				
I - I(同断)	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—				
I' - I'	1.1	7.0	3.50	3.9	0.8	0.40	0.4				
I' - I'+1.2	1.2	0.0	3.50	4.2	0.0	0.40	0.5				2号重力式擁壁外側
J - J	—	1.7	—	—	0.1	—	—				
J' - J'	4.5	0.0	0.85	3.8	0.0	0.05	0.2				
小 計	12.0			15.7			12.8			0.0	
合 計	12.0			15.7			12.8			0.0	

路体盛土工数量集計表

種 別：路体盛土工
規 格：

細 別	規 格	単位	橋梁取合工						合 計	摘 要
			A1橋台側	A2橋台側						
埋戻し	W1<1.0m	m3		2.7					2.7	B4-D
	1.0m≦W1<4.0m	m3		4.5					4.5	B4-C
	締固めなし	m3		0.5					0.5	B4
	埋戻しコンクリート	m3		0.4					0.4	Bcon

路体盛土工数量計算書

種 別：路体盛土工
 ブロック：橋梁取合工
 区 分：A2橋台側
 細 別：平均断面計算書
 規 格：

測 点	距 離(m)	埋戻し(W1<1.0m) B4-D			埋戻し(1.0m≤W1<4.0m) B4-C			埋戻し(埋戻しcon) Bcon			摘 要
		断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	
F - F	—	3.7	—	—				0.3	—	—	
F' - F'	1.2	0.0	1.85	2.2				0.3	0.30	0.4	
F' - F' (同断)	0.0										
G - G	2.0										
H - H					0.0	—	—				
I' - I'	4.3				2.1	1.05	4.5				
J - J		0.2	—	—							
J' - J'	4.5	0.0	0.10	0.5							
小 計	12.0			2.7			4.5			0.4	
合 計	12.0			2.7			4.5			0.4	

路体盛土工数量計算書

種 別：路体盛土工
 ブロック：橋梁取合工
 区 分：A2橋台側
 細 別：平均断面計算書
 規 格：

測 点	距 離(m)	埋戻しB4			---			---			摘 要
		断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	
F - F	—										
G - G	3.2										
H - H											
I' - I'	4.3										
J - J		0.1	—	—							
J' - J'	4.5	0.1	0.10	0.5							
小 計	12.0			0.5			0.0			0.0	
合 計	12.0			0.5			0.0			0.0	

法面整形工数量集計表

種 別：法面整形工
規 格：

細 別	規 格	単位	橋梁取合工						合 計	摘 要
			A1橋台側	A2橋台側						
床均し	土砂	m2		1.5					1.5	T

法面整形工数量計算書

種 別：法面整形工
 ブロック：橋梁取合工
 区 分：A2橋台側
 細 別：平均断面計算書
 規 格：

測 点	距 離(m)	床均し(土砂) T			---			---			摘 要
		法長(m)	平均法長(m)	面 積(m2)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	断面積(m2)	平均面積(m2)	体 積(m3)	
F - F	—										
G - G	3.2										
H - H											
I - I	3.2	1.4	—	—							
I' - I'	1.1	1.4	1.40	1.5							
J - J											
J' - J'	4.5										
小 計	12.0			1.5			0.0			0.0	
合 計	12.0			1.5			0.0			0.0	

擁壁工数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
擁壁工						
	1号重力式擁壁		構造物単位			L=3.2m 平均高H=4.47m
		コンクリート	重力式擁壁(2m≦H≦5m) 18-8-40	m3	17.0	
		基礎碎石	t=200mm	式	0	無
		均しコンクリート		式	0	無
		ペーラインコンクリート	C=170kg/m3以上	m3	0.6	$(1.58 \times 1.20 + 2.00 \times 1.90) \times 0.10 = 0.57$
	2号重力式擁壁		構造物単位			L=4.3m 平均高H=4.33m
		コンクリート	重力式擁壁(2m≦H≦5m) 18-8-40	m3	22.5	
		基礎碎石	t=200mm	式	0	無
		均しコンクリート		式	0	無
		ペーラインコンクリート	C=170kg/m3以上	m3	0.6	$2.00 \times 3.10 \times 0.10 = 0.62$
	1号山留ブロック積擁壁					
		ブロック積	t=350mm	m2	10.4	
		胴込コンクリート	18-8-40	m3	2.3	
		裏込コンクリート	18-8-40	m3	1.6	
		裏込碎石	RC-40	m3	2.0	
		足場	単管傾斜	掛m2	9.0	

擁壁工数量総括表

[illegible]

重力式擁壁工数量集計表

種 別：1号重力式擁壁

規 格：構造物單位

[illegible]

擁壁工数量計算書

種 別：1号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台上流側
細 別：平均断面計算書
規 格：

測 点	距 離(m)	コンクリート			型枠			基礎砕石			摘 要
		断面積(m2)	平均断面積(m2)	体 積(m3)	法長(m)	平均法長(m)	面 積(m2)	幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	
F - F	—	3.7	—	—	7.4	—	—		—	—	H=3.60
F - F+1.2	1.2	3.7	3.70	4.4	7.4	7.40	8.9		0.00	0.0	H=3.60
F - F+1.2(同断)	0.0	6.3	—	—	10.2	—	—		—	—	H=5.00
G - G	2.0	6.3	6.30	12.6	10.2	10.20	20.4		0.00	0.0	H=5.00
小 計	3.2			17.0			29.3			0.0	
合 計	3.2			17.0			29.3			0.0	

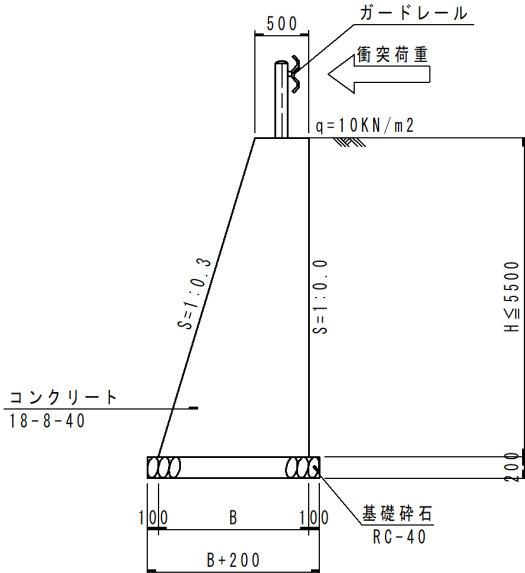
擁壁工数量計算書

種 別：1号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台上流側
細 別：平均断面計算書
規 格：

測 点	距 離(m)	擁壁正面積			足場(単管傾斜)			足場(単管)			摘 要
		高さ(m)	平均高さ(m)	正面積(m2)	法長(m)	平均法長(m)	面積(掛m2)	法長(m)	平均法長(m)	面積(掛m2)	
F - F	—	3.6	—	—	3.8	—	—	3.6	—	—	H=3.60
F - F+1.2	1.2	3.6	3.60	4.3	3.8	3.80	4.6	3.6	3.60	4.3	H=3.60
F - F+1.2(同断)	0.0	5.0	—	—	5.2	—	—	5.0	—	—	H=5.00
G - G	2.0	5.0	5.00	10.0	5.2	5.20	10.4	5.0	5.00	10.0	H=5.00
小 計	3.2			14.3			15.0			14.3	
合 計	3.2			14.3			15.0			14.3	

重力式擁壁工数量計算書

種 別：1号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台上流側

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
参照図		
擁壁平均高	$H = 14.3 / 3.2 = 4.47\text{m}$	4.47 m
コンクリート	V=	17.0 m³
重力式擁壁 (2m ≤ H ≤ 5m) 18-8-40		
基礎碎石		無
t=200mm		
均しコンクリート		無
---	次頁に参考数量計算書を示す。	

重力式擁壁工数量計算書

種 別：1号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台上流側

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
参考数量計算	・ 型枠 平均断面計算書より $A=29.3\text{m}^2$ ・ 目地材 $A=\text{擁壁体積}/3.2$ $A=17.0/3.2=5.31\text{m}^2$ ・ 水抜きパイプ $L=\text{擁壁体積}/2/3$ $L=17.0/2/3=2.83\text{m}$ ・ 透水マット $L=\text{擁壁背面積}/2\times\sqrt{3}\times\sqrt{2}/3+\text{擁壁延長}$ $L=4.47\times3.2/2\times\sqrt{(3)}\times\sqrt{(2)}/3+3.2=9.04$ $A=9.04\times0.20=1.81$ ・ 足場(単管傾斜) 平均断面計算書より $A=15.0\text{掛}\text{m}^2$ ・ 足場(単管) 平均断面計算書より $A=14.3\text{掛}\text{m}^2$	

重力式擁壁工数量集計表

種 別：2号重力式擁壁

規格：構造物単位

[illegible]

擁壁工数量計算書

種 別：2号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台下流側
細 別：平均断面計算書
規 格：

測 点	距 離 (m)	コンクリート			型枠			基礎砕石			摘 要
		断面積 (m2)	平均断面積 (m2)	体 積 (m3)	法長 (m)	平均法長 (m)	面 積 (m2)	幅 (m)	平均幅 (m)	面 積 (m2)	
H - H	—	6.3	—	—	10.2	—	—		—	—	H=5.00
I - I	3.2	6.3	6.30	20.2	10.2	10.20	32.6		0.00	0.0	H=5.00
I - I(同断)	0.0	2.1	—	—	4.9	—	—		—	—	H=2.40
I' - I'	1.1	2.1	2.10	2.3	4.9	4.90	5.4		0.00	0.0	H=2.40
小 計	4.3			22.5			38.0			0.0	
合 計	4.3			22.5			38.0			0.0	

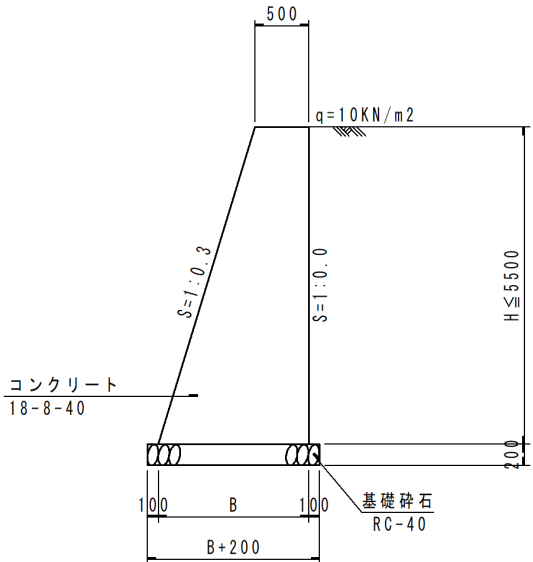
擁壁工数量計算書

種 別：2号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台下流側
細 別：平均断面計算書
規 格：

測 点	距 離 (m)	擁壁正面積			足場 (単管傾斜)			足場 (単管)			摘 要
		高さ (m)	平均高さ (m)	正面積 (m2)	法長 (m)	平均法長 (m)	面積 (掛m2)	法長 (m)	平均法長 (m)	面積 (掛m2)	
H - H	—	5.0	—	—	5.2	—	—	5.0	—	—	H=5.00
I - I	3.2	5.0	5.00	16.0	5.2	5.20	16.6	5.0	5.00	16.0	H=5.00
I - I (同断)	0.0	2.4	—	—	2.5	—	—	2.4	—	—	H=2.40
I' - I'	1.1	2.4	2.40	2.6	2.5	2.50	2.8	2.4	2.40	2.6	H=2.40
小 計	4.3			18.6			19.4			18.6	
合 計	4.3			18.6			19.4			18.6	

重力式擁壁工数量計算書

種 別：2号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台下流側

細別／規格	算 式／ 図	数 量
参照図		
擁壁平均高	$H=18.6/4.3=4.33\text{m}$	
		4.33 m
コンクリート	$V=$	
重力式擁壁 (2m ≤ H ≤ 5m) 18-8-40		22.5 m³
基礎碎石		
t=200mm		無
均しコンクリート		
		無
---	次頁に参考数量計算書を示す。	

重力式擁壁工数量計算書

種 別：2号重力式擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台下流側

細別／規格	算 式 図	数 量
参考数量計算	・ 型枠 平均断面計算書より $A=38.0\text{m}^2$ ・ 目地材 $A=\text{擁壁体積}/4.3$ $A=22.5/4.3=5.23\text{m}^2$ ・ 水抜きパイプ $L=\text{擁壁体積}/2/3$ $L=22.5/2/3=3.75\text{m}$ ・ 透水マット $L=\text{擁壁背面積}/2\times\sqrt{3}\times\sqrt{2/3}+\text{擁壁延長}$ $L=4.33\times4.3/2\times\sqrt{(3)}\times\sqrt{(2)}/3+4.3=11.90$ $A=11.90\times0.20=2.38$ ・ 足場(単管傾斜) 平均断面計算書より $A=19.4\text{掛}\text{m}^2$ ・ 足場(単管) 平均断面計算書より $A=18.6\text{掛}\text{m}^2$	

山留ブロック積擁壁工数量集計表

種 別：1号山留ブロック積擁壁

規格：

[illegible]

擁壁工数量計算書

種 別：1号山留ブロック積擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台下流側
細 別：平均断面計算書
規 格：

測 点	距 離 (m)	ブロック積			胴込コンクリート			裏込コンクリート			摘 要
		法長 (m)	平均法長 (m)	面 積 (m2)	断面積 (m2)	平均面積 (m2)	体 積 (m3)	断面積 (m2)	平均面積 (m2)	体 積 (m3)	
J - J	—	4.0	—	—	0.9	—	—	0.6	—	—	H=3.60m
J' - J'	4.5	0.6	2.30	10.4	0.1	0.50	2.3	0.1	0.35	1.6	H=0.50m
小 計	4.5			10.4			2.3			1.6	
合 計	4.5			10.4			2.3			1.6	

擁壁工数量計算書

種 別：1号山留ブロック積擁壁
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台下流側
細 別：平均断面計算書
規 格：

測 点	距 離 (m)	裏込碎石			足場 (単管傾斜)			---			摘 要
		断面積 (m2)	平均断面積 (m2)	体 積 (m3)	法長 (m)	平均法長 (m)	面 積 (掛m2)	断面積 (m2)	平均面積 (m2)	体 積 (m3)	
J - J	—	0.9	—	—	4.0	—	—				H=3.60m
J' - J'	4.5	0.0	0.45	2.0	0.0	2.00	9.0				H=0.50m
小 計	4.5			2.0			9.0			0.0	
合 計	4.5			2.0			9.0			0.0	

山留ブロック積擁壁工数量計算書

種 別：1号山留ブロック積擁壁
 ブロック：橋梁取合工
 区 分：A2橋台下流側

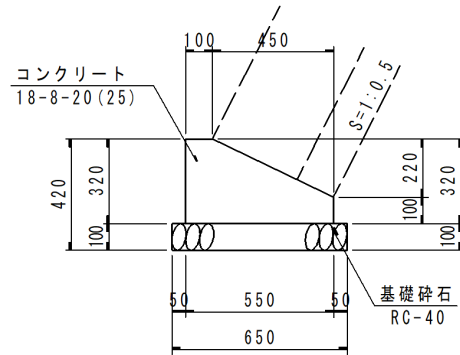
細別／規格	算 式／図	数 量
参照図	擁壁延長 L=4.5m	
ブロック積 t=350mm	A=	10.4 m ²
胴込コンクリート 18-8-40	V=	2.3 m ³
裏込コンクリート 18-8-40	V=	1.6 m ³
裏込砕石 RC-40	V=	2.0 m ³
足場 単管傾斜	A=	9.0 掛m ²
吸出防止材 点在		有
水抜パイプ VP φ 50		有
参考数量計算	水抜きパイプ $L = \text{対象コンクリート量} / 2$ $L = (10.4 \times 0.35 + 0.031 \times 4.5) / 2 = 1.89\text{m}$ 吸出防止材 $A = 10.4 / 2 = 5.20\text{箇所}$	
1号山留ブロック 積基礎	L=	4.5 m

單位數量計算書

細 別：1号山留ブロック積基礎
規 格：

10.0 m当り

略 义



材料／規格	算 式	数 量
コンクリート	V=	
小型構造物, 18-8-20 (25)		1.27 m3
型枠	A=	
小型構造物		4.20 m2
目地材	A=	
t=10mm		0.13 m2
基礎碎石	A=	
RC-40, t=100mm		6.50 m2

排水構造物工数量総括表

[illegible]

排水工数量集計表

種 別：排水工
規 格：[illegible]

排水工数量計算書

種別：排水工
ブロック：橋梁取合工
区分：A2橋台上流側

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
コルゲートフリューム B350×H350	L=	2.7 m

排水工数量計算書

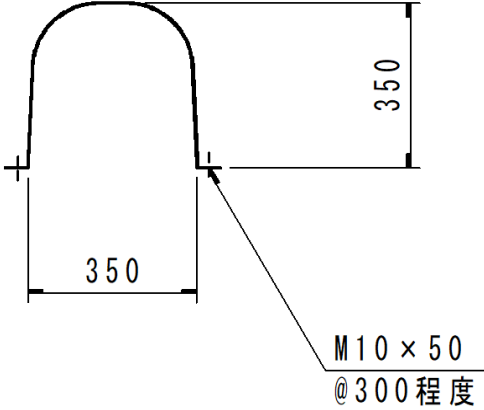
種別：排水工
ブロック：橋梁取合工
区分：A2橋台下流側

細別／規格	算 式 / 図	数 量
コルゲートフリューム B350×H350	L=	2.7 m

単位数量計算書

細 別：コルゲートフリューム
規 格：B350×H350

1.0 m当り

略 図		
コルゲートフリューム $s=1:20$ (B350×H350) 		
材料／規格	算 式	数 量
コルゲートフリューム	L=	1.00 m
ボルト M10×50	N=	8.0 本
削孔	L=	0.40 m

工種数量総括表

[illegible]

種別数量集計表

種 別：防護柵工
規 格：

[illegible]

延長調書

種 別：防護柵工
ブ ロ ッ ク：橋梁取合工
区 分：A2橋台側
細 別：延長調書
規 格：1号ガードレール

單位：m

[illegible]

細別数量計算書

種 別：防護柵工
ブ ロ ッ ク：橋梁取合工
区 分：A2橋台側

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
1号ガードレール 構造物用，Gr-C-2 B 基礎鉄筋	延長調書より L=	3.2 m

単位数量計算書

細 別：1号ガードレール
規 格：構造物用，Gr-C-2B

10.0 m当り

略 図																										
1号ガードレール S=1:20 (構造物用 Gr-C-2B) ビーム・支柱 断面図 正面図 加工筋 補強筋 断面図 平面図 <table><tr><th colspan="2">材料表</th><th>10.0m当り</th></tr><tr><th>種 別</th><th>数 量</th><th></th></tr><tr><td>ガードレール</td><td>10.00</td><td>m</td></tr><tr><td>鉄筋 (D13)</td><td>27.26</td><td>kg</td></tr><tr><td>アスファルト</td><td>0.008</td><td>m³</td></tr><tr><td>砂</td><td>0.02</td><td>m³</td></tr><tr><td>抜型枠 (Φ175)</td><td>2.00</td><td>m</td></tr><tr><td>組立鉄筋 (D13)</td><td>14.13</td><td>kg</td></tr></table>			材料表		10.0m当り	種 別	数 量		ガードレール	10.00	m	鉄筋 (D13)	27.26	kg	アスファルト	0.008	m ³	砂	0.02	m ³	抜型枠 (Φ175)	2.00	m	組立鉄筋 (D13)	14.13	kg
材料表		10.0m当り																								
種 別	数 量																									
ガードレール	10.00	m																								
鉄筋 (D13)	27.26	kg																								
アスファルト	0.008	m ³																								
砂	0.02	m ³																								
抜型枠 (Φ175)	2.00	m																								
組立鉄筋 (D13)	14.13	kg																								
材料／規格	算 式	数 量																								
ガードレール 構造物用, Gr-C-2B	L=	10.00 m																								
鉄筋 D13	W=	27.26 kg																								
アスファルト	V=	0.008 m3																								
砂	V=	0.02 m3																								
抜型枠 (Φ175) 小型構造物	L=	2.00 m																								
組立鉄筋 D13	W=	14.13 kg																								
鉄筋 計	D13 27.26+14.13=41.39	41.39 kg																								

工種数量総括表

[illegible]

種別数量集計表

種 別：防護柵工
規 格：

[illegible]

延長調書

種 別：防護柵工
ブ ロ ッ ク：橋梁取合工
区 分：A1橋台側
細 別：延長調書
規 格：1号ガードレール

單位：m

[illegible]

延長調書

種 別：防護柵工
 ブロック：橋梁取合工
 区 分：A1橋台側
 細 別：延長調書
 規 格：2号ガードレール

单位: m

[illegible]

細別数量計算書

種 別：防護柵工
ブロック：橋梁取合工
区 分：A1橋台側

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
1号ガードレール 構造物用, Gr-C-2 B	延長調書より L=	11.9 m
2号ガードレール 土中用, Gr-C-4E	断面図 正面図 延長調書より L=	2.5 m

延長調書

種 別：防護柵工
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台側
細 別：延長調書
規 格：1号ガードレール

單位：m

[illegible]

延長調書

種 別：防護柵工
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台側
細 別：延長調書
規 格：2号ガードレール

單位：m

[illegible]

細別数量計算書

種 別：防護柵工
ブロック：橋梁取合工
区 分：A2橋台側

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
1号ガードレール 構造物用, Gr-C-2 B	延長調書より L=	3.2 m
2号ガードレール 土中用, Gr-C-4E	断面図 正面図 延長調書より L=	5.0 m

単位数量計算書

細 別：1号ガードレール
規 格：構造物用, Gr-C-2B

10.0 m当り

略 図

ビーム・支柱

加工筋

補強筋

材料表		10.0m当り
種 別	数 量	
ガードレール	10.00 m	
鉄筋 (D13)	27.26 kg	
アスファルト	0.01 m ³	
砂	0.02 m ³	
抜型枠	2.00 m ²	
組立鉄筋 (D13)	14.13 kg	

材料／規格	算 式	数 量
ガードレール 構造物用, Gr-C-2B	L=	10.00 m
鉄筋 D13	W=	27.26 kg
アスファルト	V=	0.01 m3
砂	V=	0.02 m3
抜型枠 小型構造物	A=	2.00 m2
組立鉄筋 D13	W=	14.13 kg

橋梁下部【A 2 橋台】

工種	種別	名称	土質	f	設計数量	N	備考
発生土					130.6	130.6	
	作業土工	床掘り	土砂		15.1	15.1	A 2 橋台
	〃	〃	軟岩		115.5	115.5	
必要土					156.7	147.3	
	橋台前面盛土	埋戻し	土砂	0.90	13.6	15.1	A 2 橋台
	橋台前面盛土	埋戻し(取合せ分)	土砂	0.90	7.0	7.8	〃
	橋台背面盛土(路体)	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	軟岩	1.15	5.4	4.7	〃
	〃	$W < 2.5\text{m}$	軟岩	1.15	55.8	48.5	〃
	〃 (路床)	$W < 2.5\text{m}$	軟岩	1.15	14.4	12.5	〃
	橋台側面盛土	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	軟岩	1.15	57.3	49.8	〃
	〃	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$ (取合せ分)	軟岩	1.15	10.2	8.9	〃
		$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	土砂	0.90	96.5	107.2	
		埋戻し(取合せ分)	土砂	0.90	4.0	4.4	〃
不足土							
			不足土	0.9		107.2	
						0.0	不足土量

※橋台前面盛土には土砂を優先して使用する。

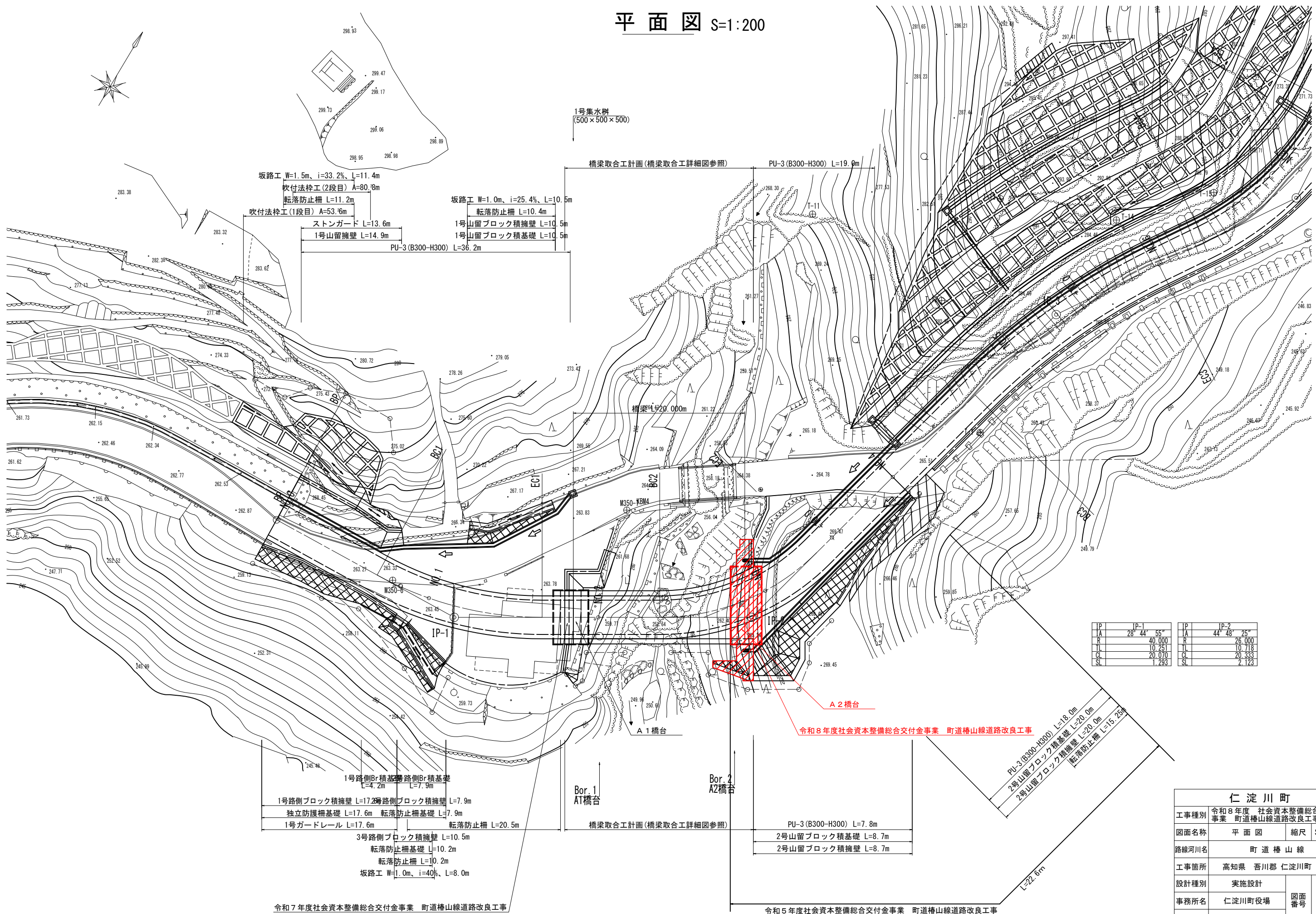
※取合工の残土分も流用する。

橋梁取合工【A 2 橋台】

工種	種別	名称	土質	f	設計数量	N	備考
発生土					28.5	28.5	
	掘削	床掘り	土砂		15.7	15.7	A 2 橋台
	〃	〃	軟岩		12.8	12.8	
必要土					7.2	6.9	
	埋戻し	$1.0\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	軟岩	1.15	4.5	3.9	A 2 橋台
	〃	$1.0\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	軟岩	1.15		0.0	〃
	〃	埋戻し	土砂	0.90	2.7	3.0	〃
	〃	埋戻し(締固めなし)	土砂	1.00	0.5	0.5	〃
残土							
			土砂			12.2	
			軟岩			8.9	A 2 橋台へ

※橋台前面盛土には土砂を優先して使用する。

平面図 S=1:200



IP	IP-1	IP-2
LA	28° 44' 55"	44° 48' 25"
R	40.000	26.000
TL	10.251	10.718
CL	20.070	20.333
SL	1.293	2.123

1号路側Br積基礎	1号路側Br積基礎
L=4.2m	L=7.9m
1号路側ブロック積擁壁	2号路側ブロック積擁壁
L=17.6m	L=7.9m
独立防護柵基礎	転落防止柵基礎
L=17.6m	L=7.9m
1号ガードレール	転落防止柵
L=17.6m	L=20.5m
3号路側ブロック積擁壁	
L=10.5m	
転落防止柵基礎	
L=10.2m	
転落防止柵	
L=10.2m	
坂路工	
W=1.0m, i=40%, L=8.0m	

PU-3 (B300-H300)	L=18.0m
2号山留ブロック積基礎	L=20.0m
2号山留ブロック積擁壁	L=20.0m
転落防止柵	L=15.25m
PU-3 (B300-H300)	L=7.8m
2号山留ブロック積基礎	L=8.7m
2号山留ブロック積擁壁	L=8.7m

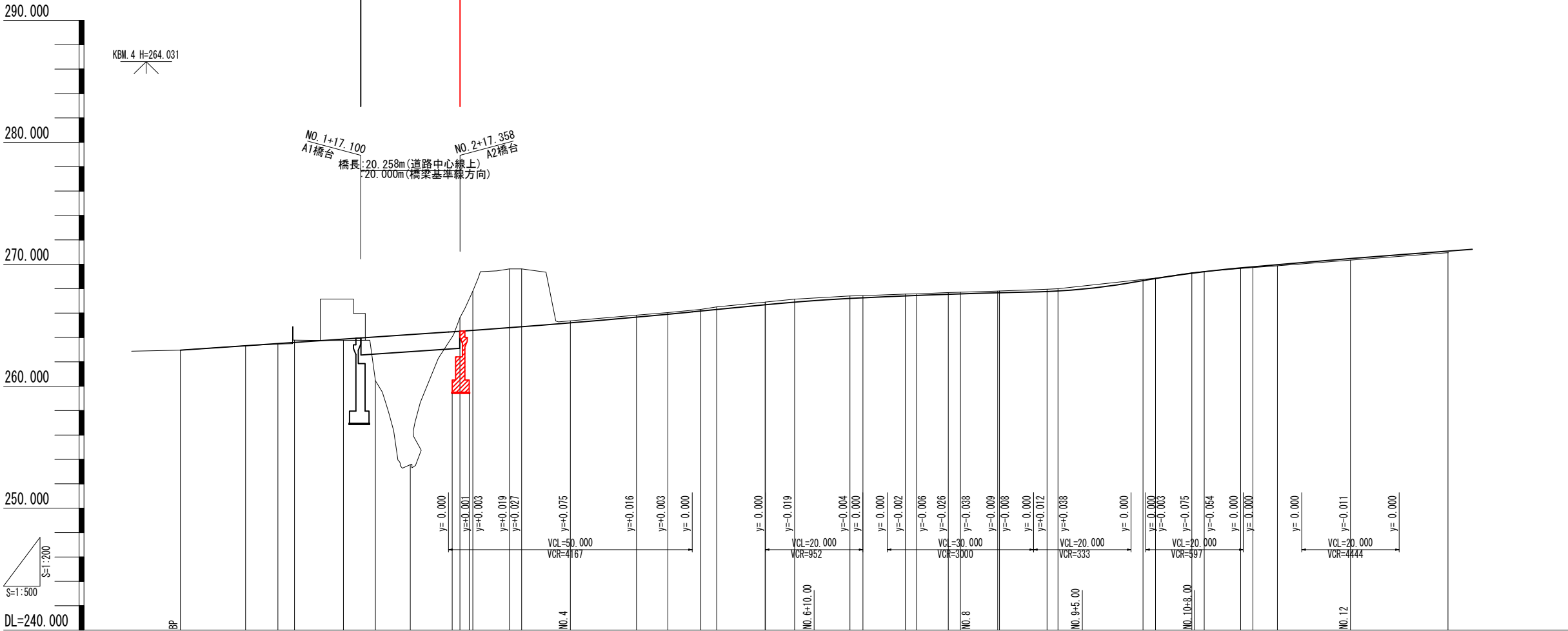
仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 町道椿山線道路改良工事		
図面名称	平 面 図	縮尺	S=1:200
路線河川名	町 道 椿 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計		
事務所名	仁淀川町役場	図面番号	1 / 17
会 社 名			

縦断図

V : S=1:200
H : S=1:500

平成7年度社会資本整備総合交付金事業 町道椿山線道路改良工事

平成8年度社会資本整備総合交付金事業 町道椿山線道路改良工事

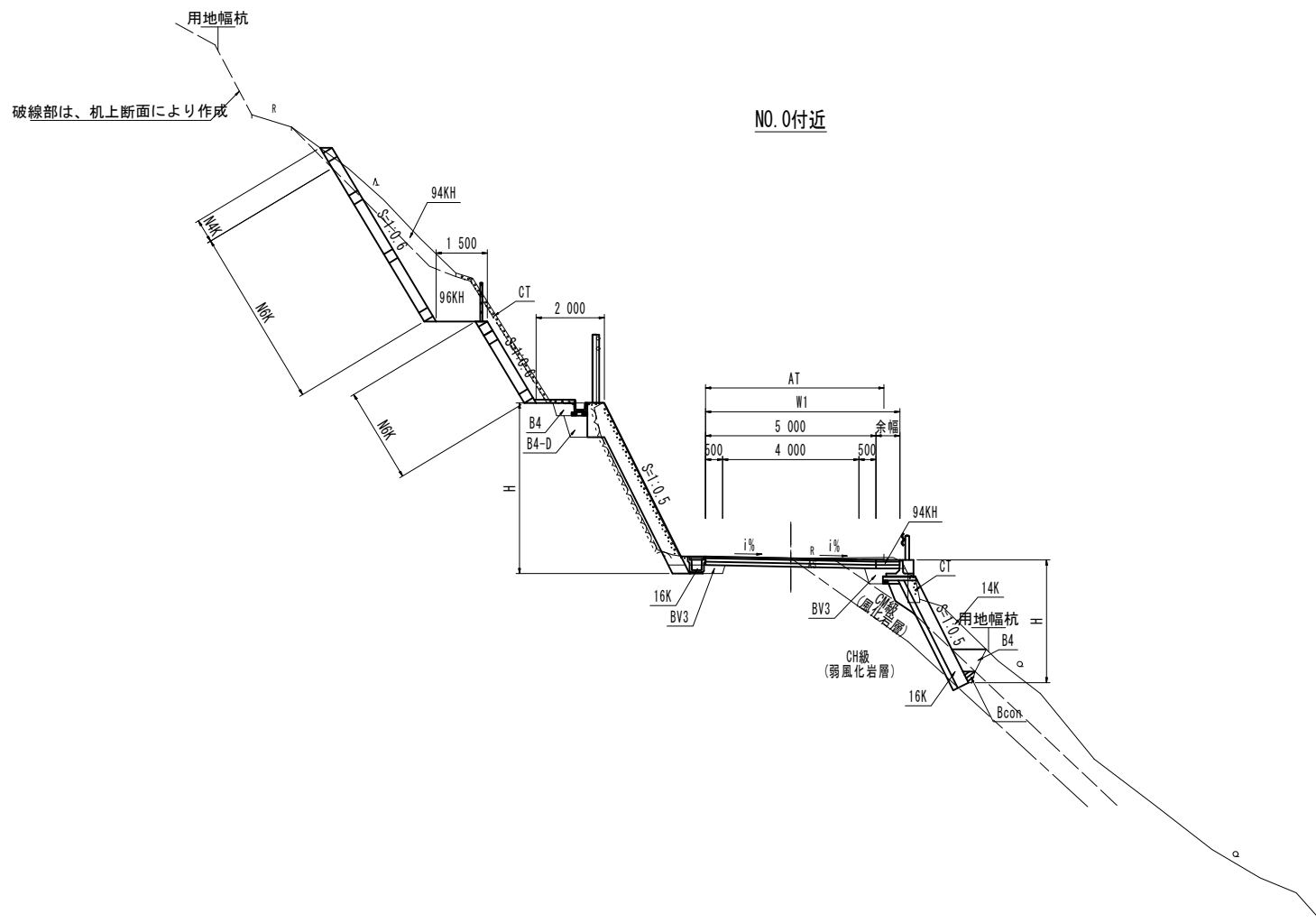
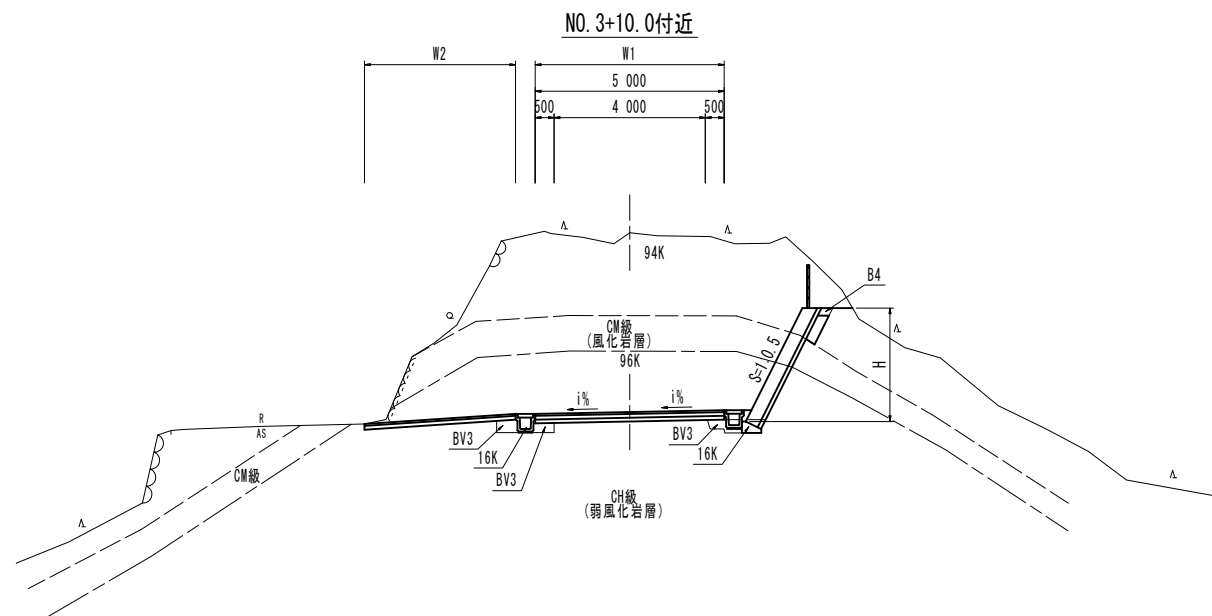


勾配														
切土	0.00 0.00 0.04 0.11 3.59 10.66 1.11 3.22 4.82 4.74 0.17 0.17 0.14 0.14 0.21 0.21 0.22 0.25 0.20 0.18 0.15 0.13 0.14 0.14 0.14 0.13 0.18 0.10 0.04 0.05 0.02 0.05 0.06 0.09 0.13 0.13													
盛土	0.00 0.00 0.04 0.11 3.59 10.66 1.11 3.22 4.82 4.74 0.17 0.17 0.14 0.14 0.21 0.21 0.22 0.25 0.20 0.18 0.15 0.13 0.14 0.14 0.14 0.13 0.18 0.10 0.04 0.05 0.02 0.05 0.06 0.09 0.13 0.13													
計画高	262.960 263.321 263.500 263.592 263.863 264.040 264.509 264.583 264.802 264.877 265.120 265.195 265.678 266.680 266.894 267.070 267.198 267.250 267.405 267.442 267.539 267.572 267.610 267.666 267.810 268.374 269.374 270.478													
地盤高	262.96 263.32 263.46 263.78 263.75 264.45 265.62 267.80 269.62 269.62 265.36 265.83 266.04 266.30 266.163 266.290 266.50 266.88 266.90 267.14 267.68 267.71 267.80 267.81 267.98 267.98 268.657 268.827 269.31 269.262 269.389 269.65 269.701 269.788 269.961 270.34 270.467 270.95 271.078													
追加距離	0.000 13.385 20.000 23.420 33.455 40.000 57.342 60.000 67.508 70.000 80.000 93.553 100.000 106.748 110.000 119.943 120.000 125.981 148.690 151.000 157.516 160.000 167.644 168.000 177.772 180.000 197.456 200.000 207.461 210.000 217.466 220.000 225.000 240.000 260.000 270.95													
単距離	0.000 13.385 6.615 3.420 10.035 6.545 7.175 10.167 2.658 7.508 2.492 10.000 13.553 6.447 3.252 9.943 0.057 5.981 8.699 2.301 6.516 2.484 7.644 0.356 9.772 2.228 17.456 2.544 7.461 2.539 7.466 2.534 5.000 15.000 20.000													
測点	BP BC. 1 NO. 1 SP. 1 EC. 1 NO. 2 BC. 2 SP. 2 NO. 3 EC. 2 +10.00 NO. 4 BC. 3 NO. 5 SP. 3 +10.00 EC. 3 NO. 6 BC. 4 SP. 4 NO. 7 EC. 4 +11.00 BC. 5 NO. 8 SP. 5 +8.00 EC. 5 NO. 9 BC. 6 NO. 10 SP. 6 +10.00 EC. 6 NO. 11 +5.00 NO. 12 NO. 13													
曲線	IP. 1 1A=28° 44' 55" R=40.000L=10.251 CL=20.070SL= 1.293 IP. 2 1A=44° 48' 25" R=26.000L=10.718 CL=20.333SL= 2.123 IP. 3 1A=18° 54' 02" R=80.000L=13.316 CL=26.390SL= 1.101 IP. 4 1A=37° 11' 24" R=35.000L=11.775 CL=22.718SL= 1.928 IP. 5 1A=22° 19' 08" R=52.000L=10.258 CL=20.256SL= 1.002 IP. 6 1A=15° 05' 07" R=76.000L=10.063 CL=20.010SL= 0.663													
片勾配														

仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道椿山線道路改良工事		
図面名称	縦 断 図	縮 尺	図 示
路線河川名	町 道 椿 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	2 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

標準断面図

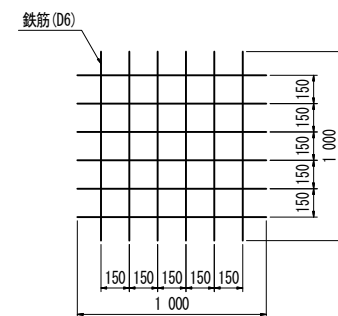
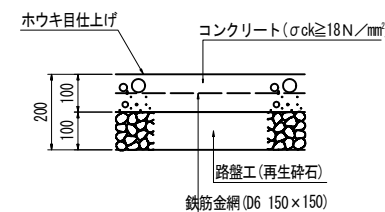
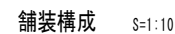
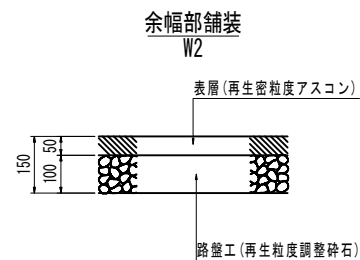
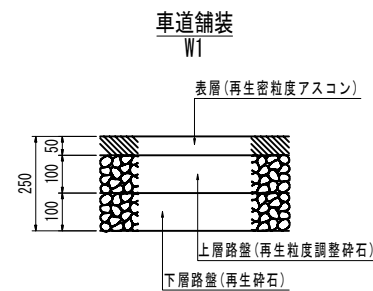
土工区分表



① 機械土工				② 法面整形			
区分	記号	土質	摘要	区分	記号	摘要	
片切掘削 W<5.0m	94KH	軟土	人力併用機械掘削	ブルドーザ 壁土法面整形	NK1	法勾配2.0~3.0割	
	96KH	砂岩	〃		NK2	法勾配3.0~10.0割	
オーブン掘削 W≧5.0m	94K	土砂	B.H又はB.D	バックホウ 機械整形	NK3	本体同時施工(砂質土、粘性土)	
	96K	軟岩	大型ブレーカー		NK4	本体同時施工(礫質土)	
	96R	軟岩	リッパドーザ	バックホウ 築立整形	N2K	土砂(砂質土)単独施工	
掘削 (床掘)	14K	土砂	バックホウ		N3K	土砂(粘性土)単独施工	
	16K	軟岩	大型ブレーカー		N4K	土砂(礫質土)単独施工	
					N23K	砂質土、粘性土	
表土切取	HK		t=20cm	機械 切土整形	N4K	礫質土	
	B4-A	土砂	W2≧4.0m		N6K	軟岩	
	B4-B	〃	W1≧4.0m, W2(1.0m	人力 築立整形	N2H	土刃(砂質土)単独施工	
	B4-C	〃	1.0m≦W<4.0m W2(1.0m		N3H	土刃(粘性土)単独施工	
	B4-D	〃	W1(1.0m, W2(1.0m		N23H	砂質土、粘性土	
	B4	〃	背面めなし		N4H	礫質土	
	Bcon	〃	埋戻しコンクリート		N6H	軟岩	
	BV1	〃	W≧4.0m		T	土砂	
	BV2	〃	2.5m≦W<4.0m	※人力併用機械の場合:N()KHと表示			
	BV3	〃	W<2.5m	③ 人力土工			
	BV5	〃	W≧4.0m	区 分	記 号	摘 要	
	BV6	〃	2.5m≦W<4.0m		04H	土砂	
	BV7	〃	W<2.5m	切 削	05H	岩塊、玉石混り土	
	BV9	〃			14H	土砂	
	NR4	土砂			15H	岩塊、玉石混り土	
切土法面保護	NR6	軟岩		掘削 (床掘)	B4H	土砂	
					B5H	岩塊	

④ 舗装工	W1	車道舗装
	W2	余幅部舗装
	W3	坂路部舗装

AS撤去	AT	t=5cm
CON取壊し	CT	無筋構造物



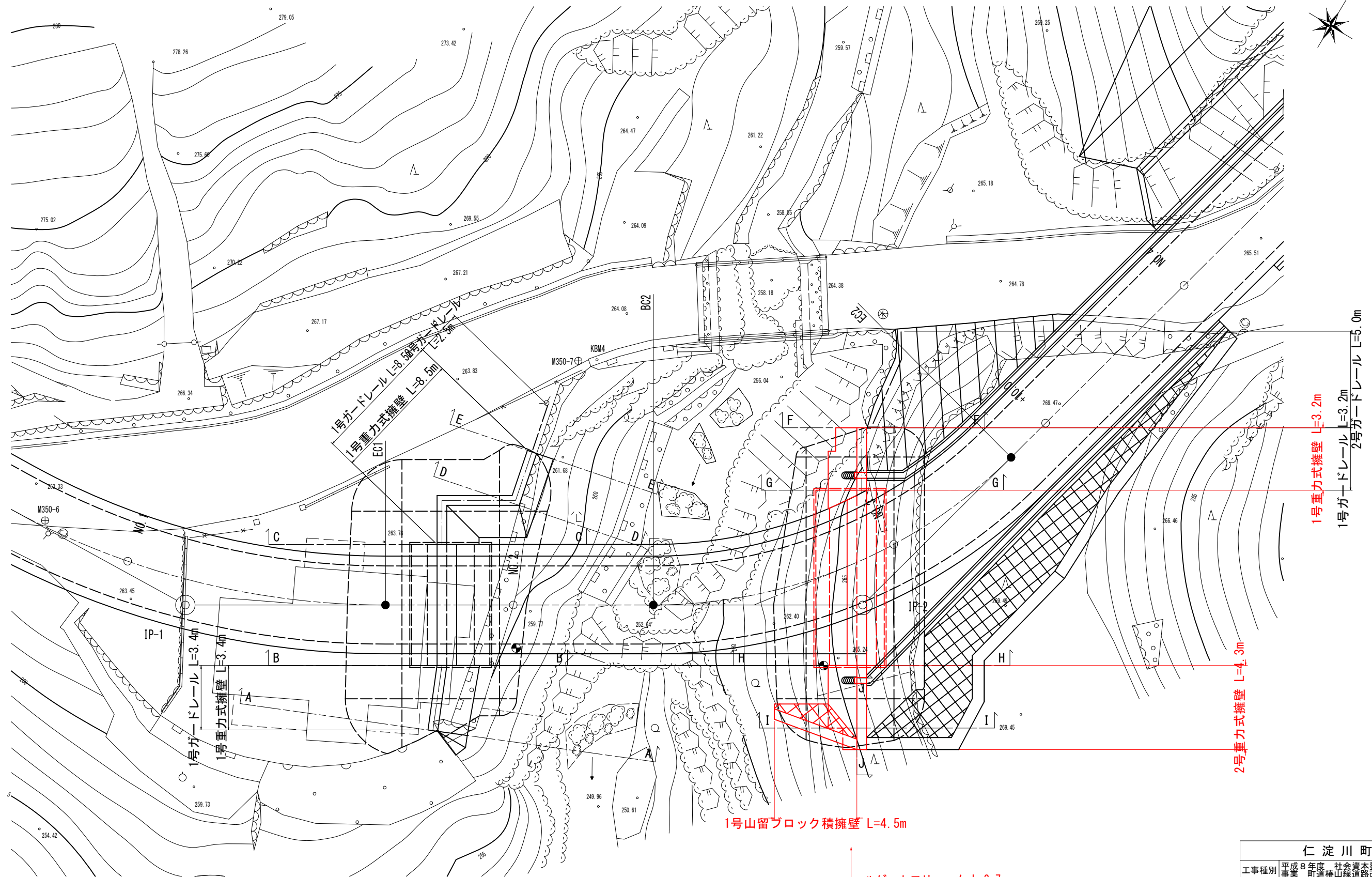
材料表	
種 別	数 量
鉄筋 (D6)	2.988 kg

注)表面は、ホウキ目仕上げとすること。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和 8 年度 交付金事業	社会資本整備総合 計画道橋山線道路改良工事	
図面名称	標準断面図	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	3 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

橋梁取合工詳細図(その1)

平面図 S=1:100



コルゲートフリューム L=2.7m

コルゲートフリューム L=2.7m

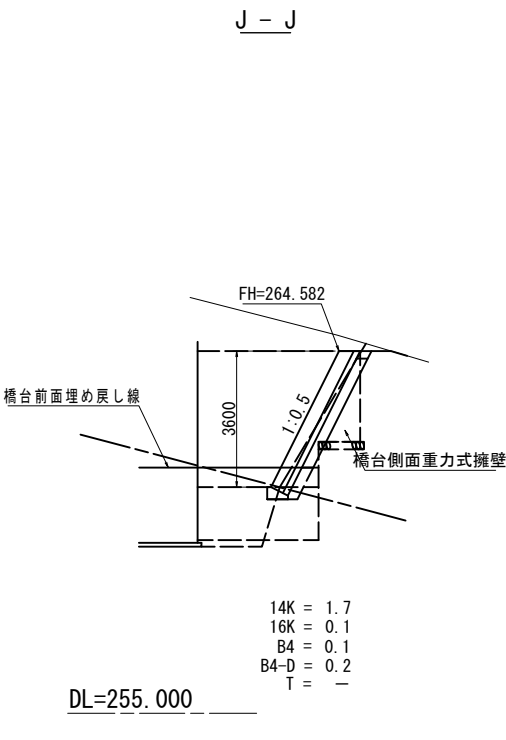
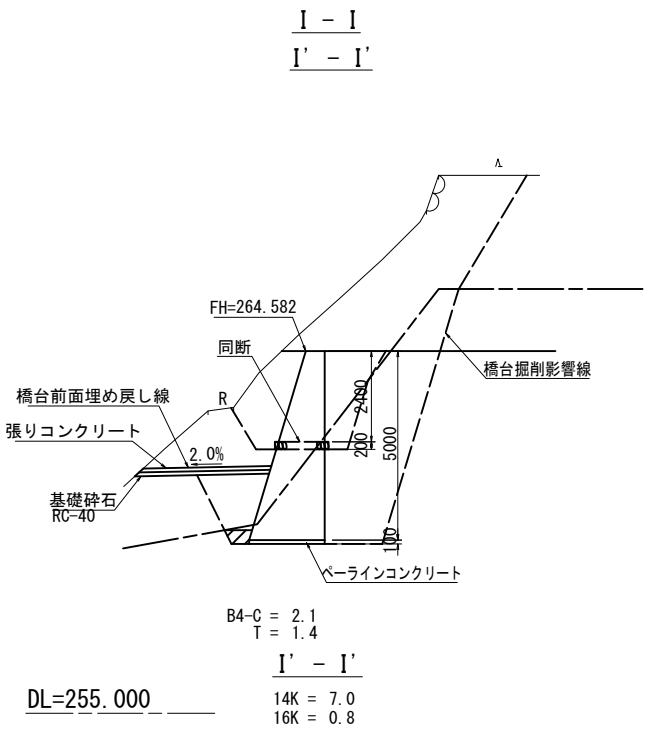
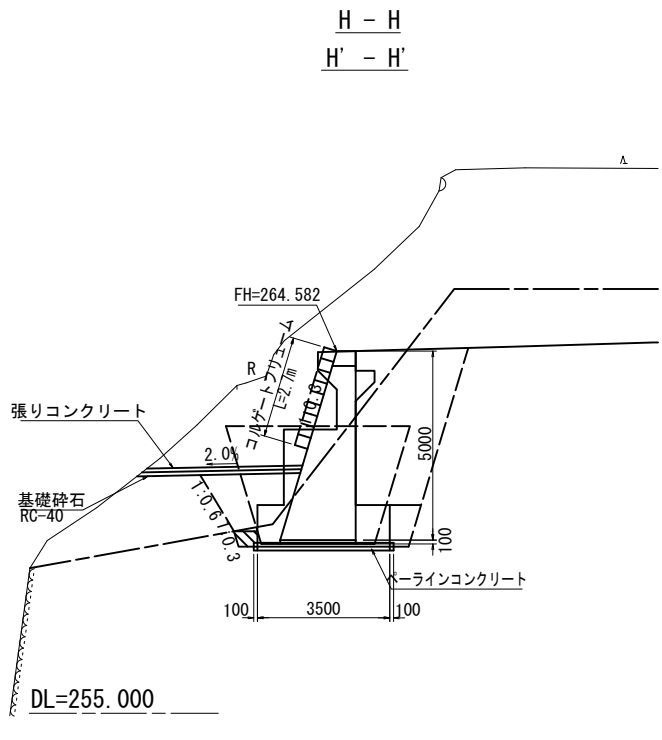
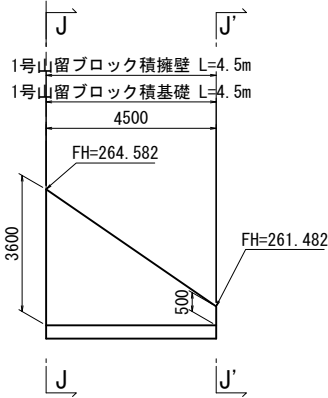
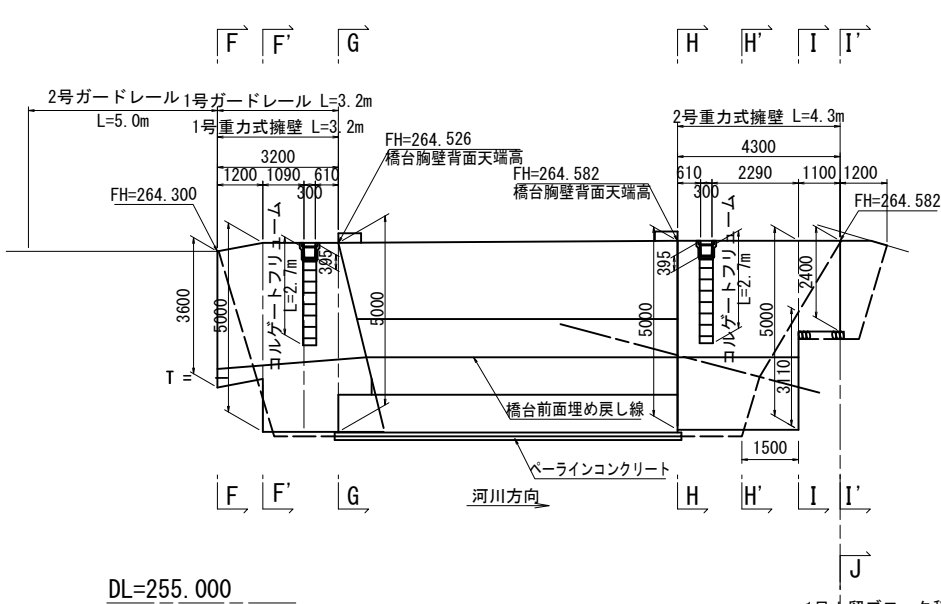
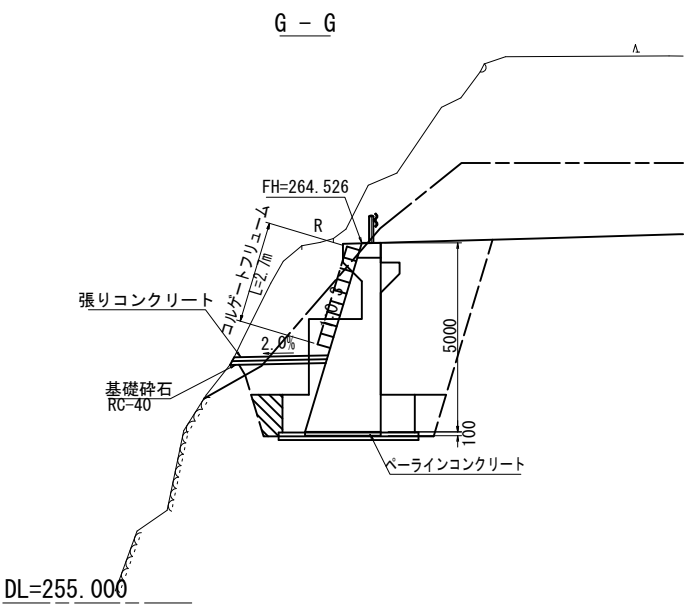
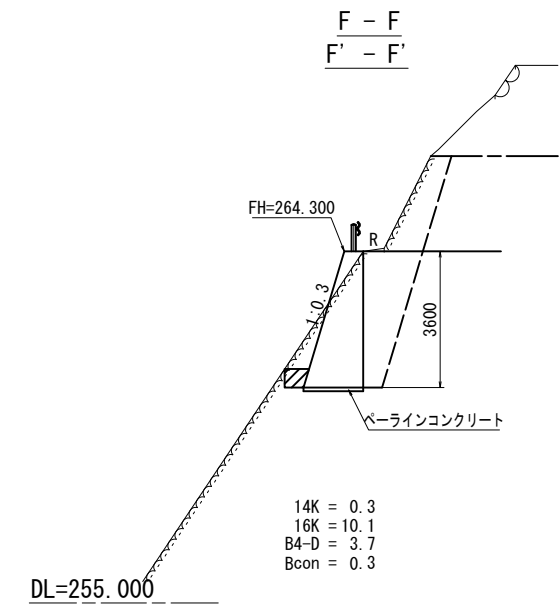
仁 淀 川 町			
工事種別	平成 8 年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道椿山線道路改良工事		
図面名称	橋梁取合工詳細図(その1)	縮尺	S=1:100
路線河川名	町 道 椿 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	4 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

橋梁取合工詳細図(その3)

A2橋台側 S=1:100

断面図

参考展開図



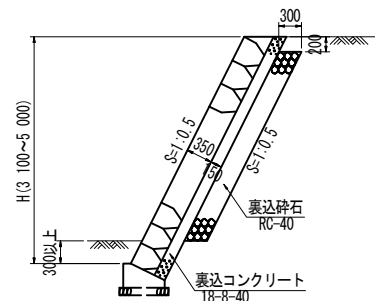
※. 橋台掘削影響線に関連する土工は橋台土工図内で算出する。
※. 張リコンクリート、基礎碎石に関する数量は、橋台土工図内で算出する。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道椿山線道路改良工事		
図面名称	橋梁取合工詳細図(その3)	縮尺	S=1:100
路線河川名	町 道 椿 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	5 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

橋梁取合工詳細図(その4)

構造図

1号山留ブロック積擁壁 S=1:50
(S=1:0.5,裏コン厚 t=15cm)

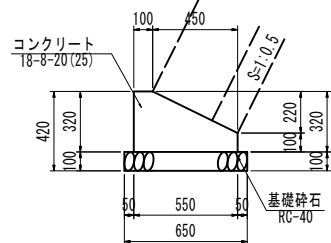


胴込コンクリートV=A×0.22(m³)

A: ブロック積面積

擁壁高(H)	裏込コンクリート厚(t)
H≤1.5m	t=50mm
1.5m<H≤3.0m	t=100mm
3.0m<H≤5.0m	t=150mm

1号山留ブロック積基礎 S=1:20
(S=1:0.5,裏コン厚 t=15cm)



材料表

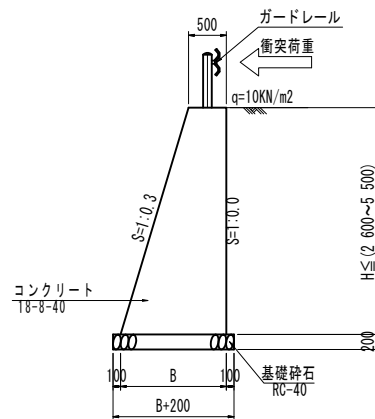
種 別	数 量
コンクリート	1.27 m ³
型 枠	4.20 m ²
目地材	0.13 m ²
基礎砕石	6.50 m ²

材料表

H (m)	ブロック積 (m ³)	表込コンクリート (m ³)	裏込コンクリート (m ³)	表込砕石 (m ³)	1.0m当り 足場 (単管傾斜) (掛m ²)
0.300	0.34	0.07	0.08		
0.400	0.45	0.10	0.10		
0.500	0.56	0.12	0.12		
0.600	0.67	0.15	0.13	0.03	
0.700	0.78	0.17	0.15	0.06	
0.800	0.89	0.20	0.17	0.09	
0.900	1.01	0.22	0.18	0.12	
1.000	1.12	0.25	0.20	0.15	
1.100	1.23	0.27	0.22	0.18	
1.200	1.34	0.30	0.23	0.21	
1.300	1.45	0.32	0.25	0.24	
1.400	1.57	0.34	0.27	0.27	
1.500	1.68	0.37	0.28	0.30	
1.600	1.79	0.39	0.30	0.33	
1.700	1.90	0.42	0.32	0.36	
1.800	2.01	0.44	0.33	0.39	
1.900	2.12	0.47	0.35	0.42	
2.000	2.24	0.49	0.37	0.45	2.24
2.100	2.35	0.52	0.38	0.48	2.35
2.200	2.46	0.54	0.40	0.51	2.46
2.300	2.57	0.57	0.42	0.54	2.57
2.400	2.68	0.59	0.43	0.57	2.68
2.500	2.80	0.61	0.45	0.60	2.80
2.600	2.91	0.64	0.47	0.63	2.91
2.700	3.02	0.66	0.48	0.66	3.02
2.800	3.13	0.69	0.50	0.69	3.13
2.900	3.24	0.71	0.52	0.72	3.24
3.000	3.35	0.74	0.53	0.75	3.35
3.100	3.47	0.76	0.55	0.78	3.47
3.200	3.58	0.79	0.57	0.81	3.58
3.300	3.69	0.81	0.59	0.84	3.69
3.400	3.80	0.84	0.60	0.87	3.80
3.500	3.91	0.86	0.62	0.90	3.91
3.600	4.02	0.89	0.63	0.93	4.02
3.700	4.14	0.91	0.65	0.96	4.14
3.800	4.25	0.93	0.67	0.99	4.25
3.900	4.36	0.96	0.69	1.02	4.36
4.000	4.47	0.98	0.70	1.05	4.47
4.100	4.58	1.01	0.72	1.08	4.58
4.200	4.70	1.03	0.74	1.11	4.70
4.300	4.81	1.06	0.75	1.14	4.81
4.400	4.92	1.08	0.77	1.17	4.92
4.500	5.03	1.11	0.79	1.20	5.03
4.600	5.14	1.13	0.80	1.23	5.14
4.700	5.25	1.16	0.82	1.26	5.25
4.800	5.37	1.18	0.84	1.29	5.37
4.900	5.48	1.21	0.85	1.32	5.48
5.000	5.59	1.23	0.87	1.35	5.59

注) 上記材料表は、H=3.1~5.0mを標準とし、H=0.3~3.0mは、端部擦り付けに対する値である。

1号重力式擁壁 S=1:50



注) 上記構造物は、下記条件によるガードレールを設置する構造物としての安全性を照査している。
・照査条件: ガードレールC種(砂詰固定)・擁壁高2.6m以上・ブロック長3.0m以上

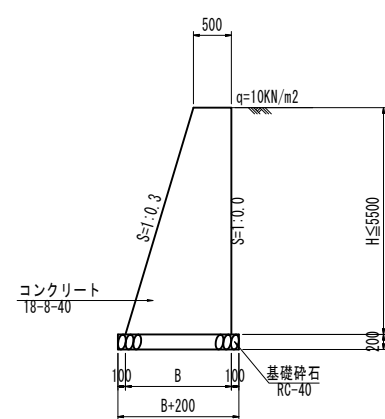
※ 掘削の結果、岩着となる場合は基礎砕石を施工しない。

材料表

H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎砕石 (m ³)	足場(単管) (掛m ²)	1.0m当り 足場 (単管傾斜) (掛m ²)
2.600	1.28	2.31	5.31	1.48	2.60	2.71
2.700	1.31	2.44	5.52	1.51	2.70	2.82
2.800	1.34	2.58	5.72	1.54	2.80	2.92
2.900	1.37	2.71	5.93	1.57	2.90	3.03
3.000	1.40	2.85	6.13	1.60	3.00	3.13
3.100	1.43	2.99	6.34	1.63	3.10	3.24
3.200	1.46	3.14	6.54	1.66	3.20	3.34
3.300	1.49	3.28	6.75	1.69	3.30	3.45
3.400	1.52	3.43	6.95	1.72	3.40	3.55
3.500	1.55	3.59	7.15	1.75	3.50	3.65
3.600	1.58	3.74	7.36	1.78	3.60	3.76
3.700	1.61	3.90	7.56	1.81	3.70	3.86
3.800	1.64	4.07	7.77	1.84	3.80	3.97
3.900	1.67	4.23	7.97	1.87	3.90	4.07
4.000	1.70	4.40	8.18	1.90	4.00	4.18
4.100	1.73	4.57	8.38	1.93	4.10	4.28
4.200	1.76	4.75	8.58	1.96	4.20	4.38
4.300	1.79	4.92	8.79	1.99	4.30	4.49
4.400	1.82	5.10	8.99	2.02	4.40	4.59
4.500	1.85	5.29	9.20	2.05	4.50	4.70
4.600	1.88	5.47	9.40	2.08	4.60	4.80
4.700	1.91	5.66	9.61	2.11	4.70	4.91
4.800	1.94	5.86	9.81	2.14	4.80	5.01
4.900	1.97	6.05	10.02	2.17	4.90	5.12
5.000	2.00	6.25	10.22	2.20	5.00	5.22
5.100	2.03	6.45	10.42	2.23	5.10	5.32
5.200	2.06	6.66	10.63	2.26	5.20	5.43
5.300	2.09	6.86	10.83	2.29	5.30	5.53
5.400	2.12	7.07	11.04	2.32	5.40	5.64
5.500	2.15	7.29	11.24	2.35	5.50	5.74

※ コンクリート擁壁には、水抜き孔 (VU65) を3m2に1箇所の割合で設置すること。

2号重力式擁壁 S=1:50



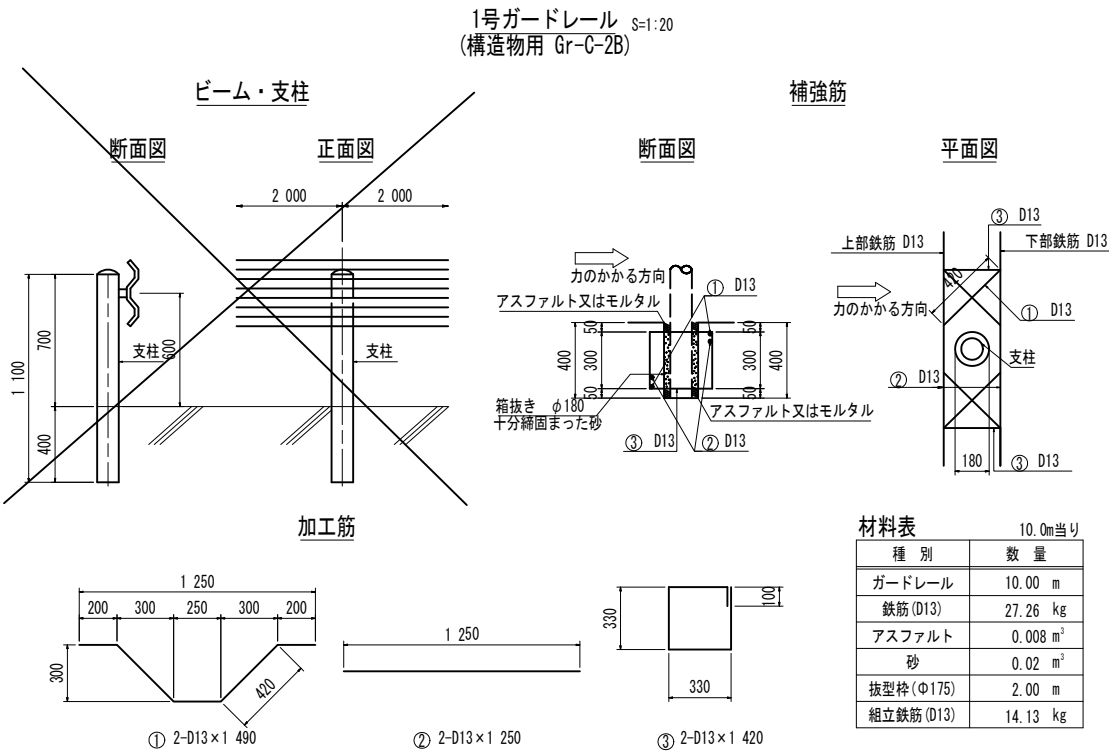
材料表

H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎砕石 (m ³)	足場(単管) (掛m ²)	1.0m当り 足場 (単管傾斜) (掛m ²)
0.500	0.65	0.29	1.02	0.85		
0.600	0.68	0.35	1.23	0.88		
0.700	0.71	0.42	1.43	0.91		
0.800	0.74	0.50	1.64	0.94		
0.900	0.77	0.57	1.84	0.97		
1.000	0.80	0.65	2.04	1.00		
1.100	0.83	0.73	2.25	1.03		
1.200	0.86	0.82	2.45	1.06		
1.300	0.89	0.90	2.66	1.09		
1.400	0.92	0.99	2.86	1.12		
1.500	0.95	1.09	3.07	1.15		
1.600	0.98	1.18	3.27	1.18		
1.700	1.01	1.28	3.47	1.21		
1.800	1.04	1.39	3.68	1.24		
1.900	1.07	1.49	3.88	1.27		
2.000	1.10	1.60	4.09	1.30		
2.100	1.13	1.71	4.29	1.33	2.10	2.19
2.200	1.16	1.83	4.50	1.36	2.20	2.30
2.300	1.19	1.94	4.70	1.39	2.30	2.40
2.400	1.22	2.06	4.91	1.42	2.40	2.51
2.500	1.25	2.19	5.11	1.45	2.50	2.61
2.600	1.28	2.31	5.31	1.48	2.60	2.71
2.700	1.31	2.44	5.52	1.51	2.70	2.82
2.800	1.34	2.58	5.72	1.54	2.80	2.92
2.900	1.37	2.71	5.93	1.57	2.90	3.03
3.000	1.40	2.85	6.13	1.60	3.00	3.13
3.100	1.43	2.99	6.34	1.63	3.10	3.24
3.200	1.46	3.14	6.54	1.66	3.20	3.34
3.300	1.49	3.28	6.75	1.69	3.30	3.45
3.400	1.52	3.43	6.95	1.72	3.40	3.55
3.500	1.55	3.59	7.15	1.75	3.50	3.65
3.600	1.58	3.74	7.36	1.78	3.60	3.76
3.700	1.61	3.90	7.56	1.81	3.70	3.86
3.800	1.64	4.07	7.77	1.84	3.80	3.97
3.900	1.67	4.23	7.97	1.87	3.90	4.07
4.000	1.70	4.40	8.18	1.90	4.00	4.18
4.100	1.73	4.57	8.38	1.93	4.10	4.28
4.200	1.76	4.75	8.58	1.96	4.20	4.38
4.300	1.79	4.92	8.79	1.99	4.30	4.49
4.400	1.82	5.10	8.99	2.02	4.40	4.59
4.500	1.85	5.29	9.20	2.05	4.50	4.70
4.600	1.88	5.47	9.40	2.08	4.60	4.80
4.700	1.91	5.66	9.61	2.11	4.70	4.91
4.800	1.94	5.86	9.81	2.14	4.80	5.01
4.900	1.97	6.05	10.02	2.17	4.90	5.12
5.000	2.00	6.25	10.22	2.20	5.00	5.22
5.100	2.03	6.45	10.42	2.23	5.10	5.32
5.200	2.06	6.66	10.63	2.26	5.20	5.43
5.300	2.09	6.86	10.83	2.29	5.30	5.53
5.400	2.12	7.07	11.04	2.32	5.40	5.64
5.500	2.15	7.29	11.24	2.35	5.50	5.74

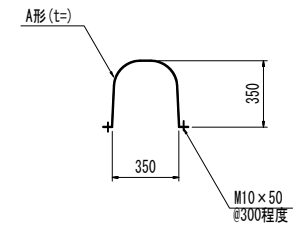
仁 淀 川 町			
工事種別	令和 8 年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	橋梁取合工詳細図(その4)	縮尺	図示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	6 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

橋梁取合工詳細図(その5)

構造図

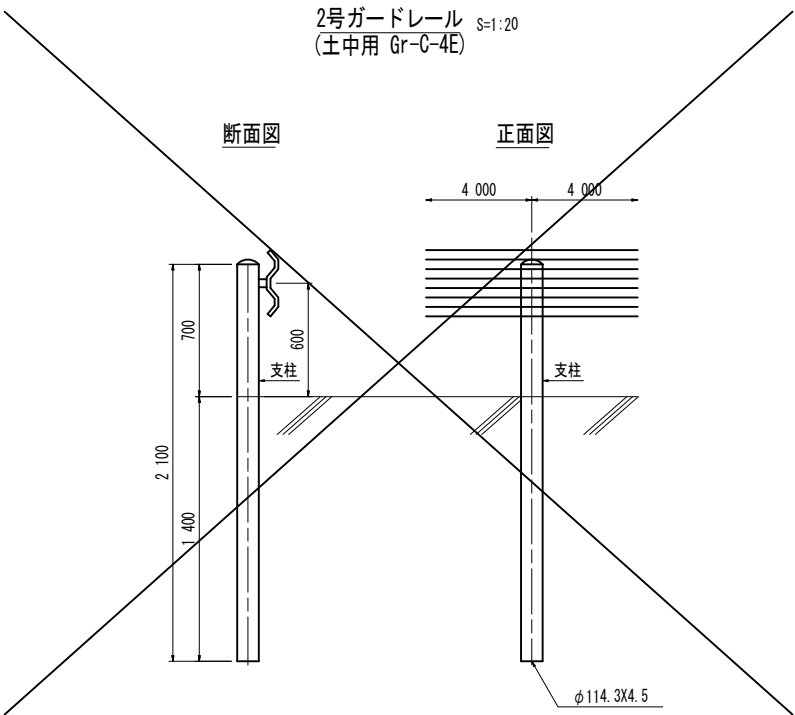
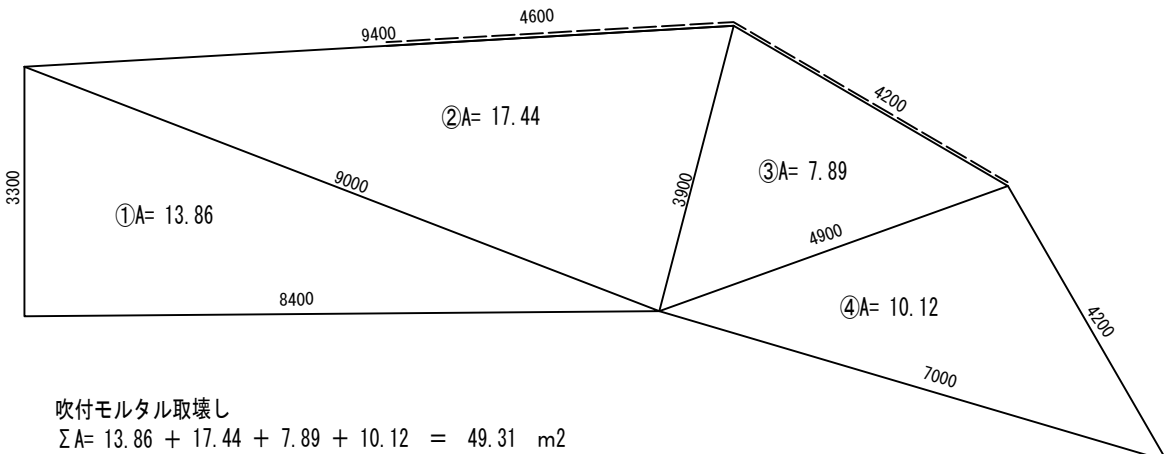


コルゲートフリューム S=1:20
(B350×H350)



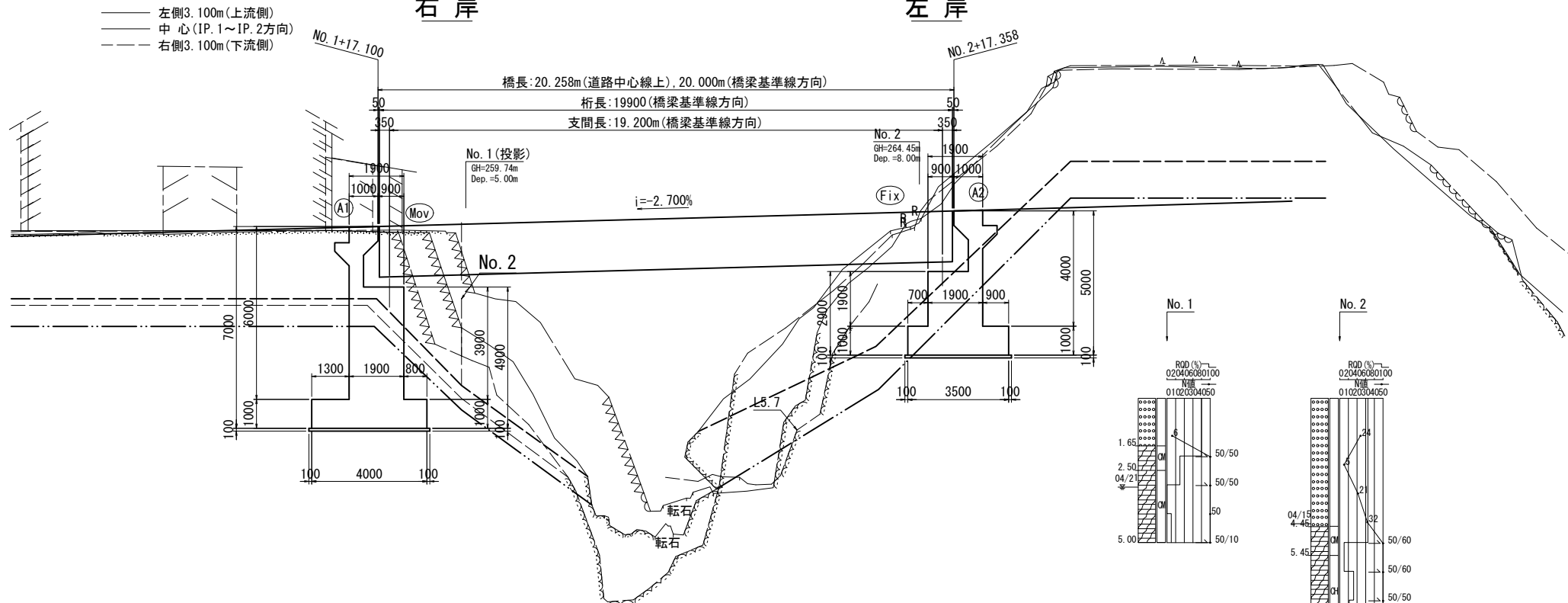
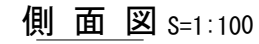
材料表 1.0m当り		
種 別	数 量	摘 要
コルゲートフリューム	1.00 m	A 形
ボルト (M10×50)	8.00 本	あと施工アンカー
削 孔	0.40 m	

吹付モルタル取壊し S=1:50

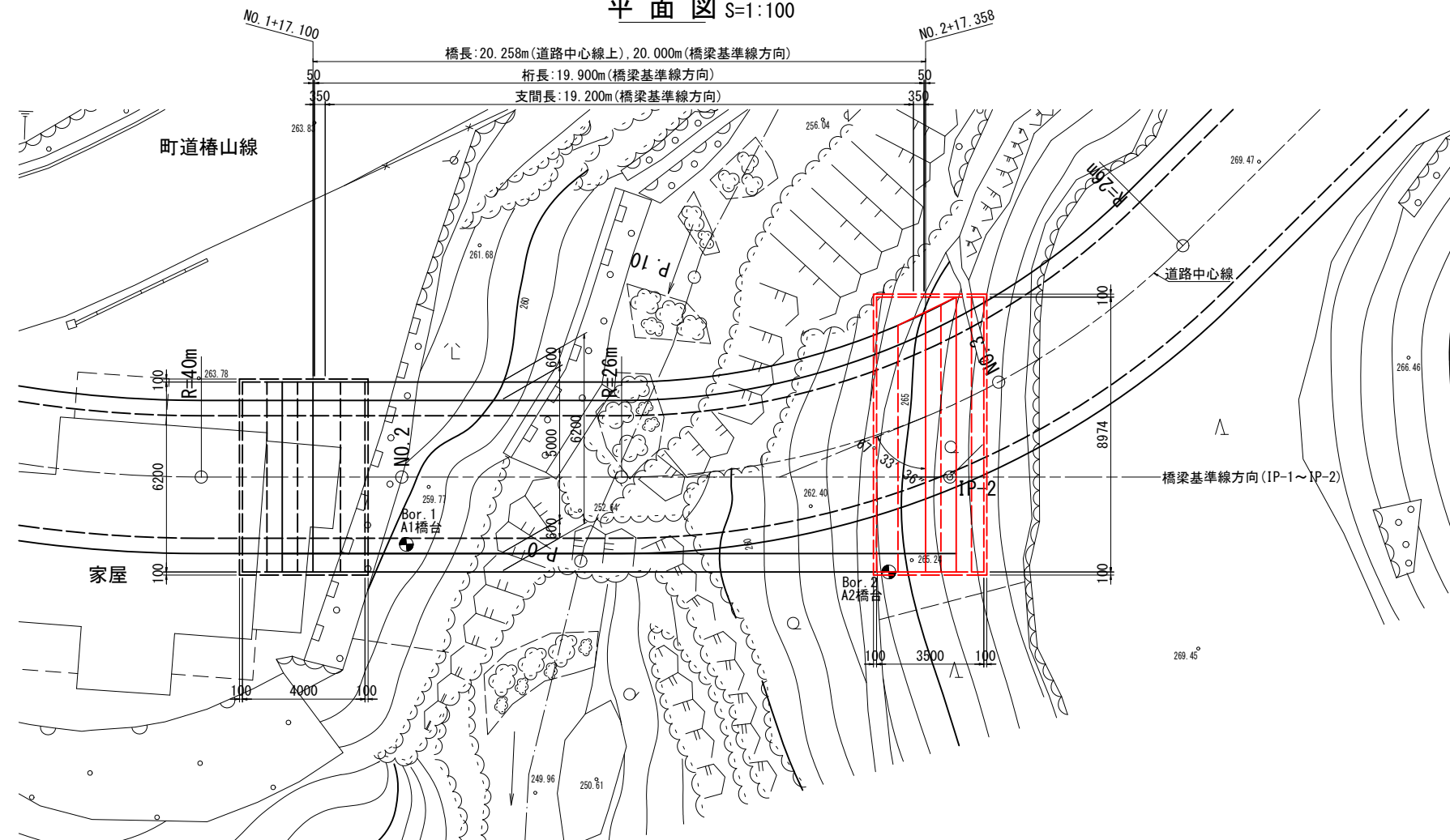


仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本総合整備 交付金事業	町道椿山線道路改良工事	
図面名称	橋梁取合工詳細図(その5)	縮尺	図示
路線河川名	町 道 椿 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	7 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

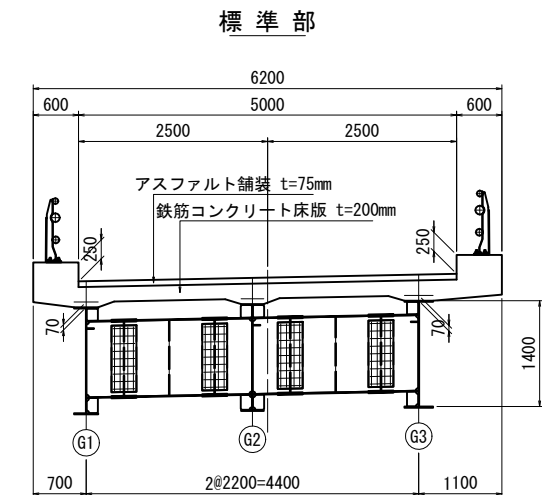
橋梁一般図



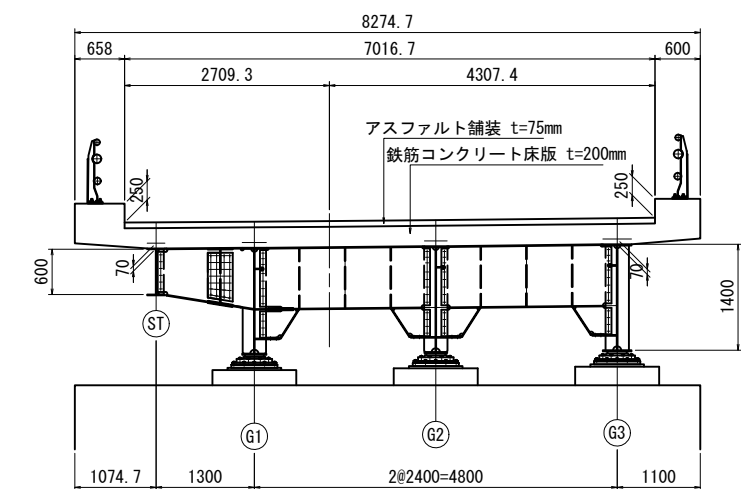
平面图 S=1:100



断面图 S=1:50



S2支点上断面



設計条件

橋 種	鋼道路橋
型 式	鋼單純非合成板桁橋
橋 長	20. 258m(道路中心線上), 20. 000m(橋梁基準線方向)
桁 長	19. 900m(橋梁基準線方向)
支 間 長	19. 200m(橋梁基準線方向)
有 効 幅 員	車道 0. 500+4. 000+0. 500=5. 000m
荷 重	A 活 荷 重
角 度	90° 00' 00"
基 礎	直接基礎

注). 橋梁基準線の方向は、IP. 1～IP. 2を結んだ方向を示す。

注). G3の主桁方向は、橋梁基準線と同方向となるが、G1、G2の主桁方向は、橋梁基準線方向と異なるため、留意すること。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和８年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道椿山線道路改良工事		
図面名称	橋梁一般図	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 椿 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	8 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

下部工座標管理図 S=1:200

IP

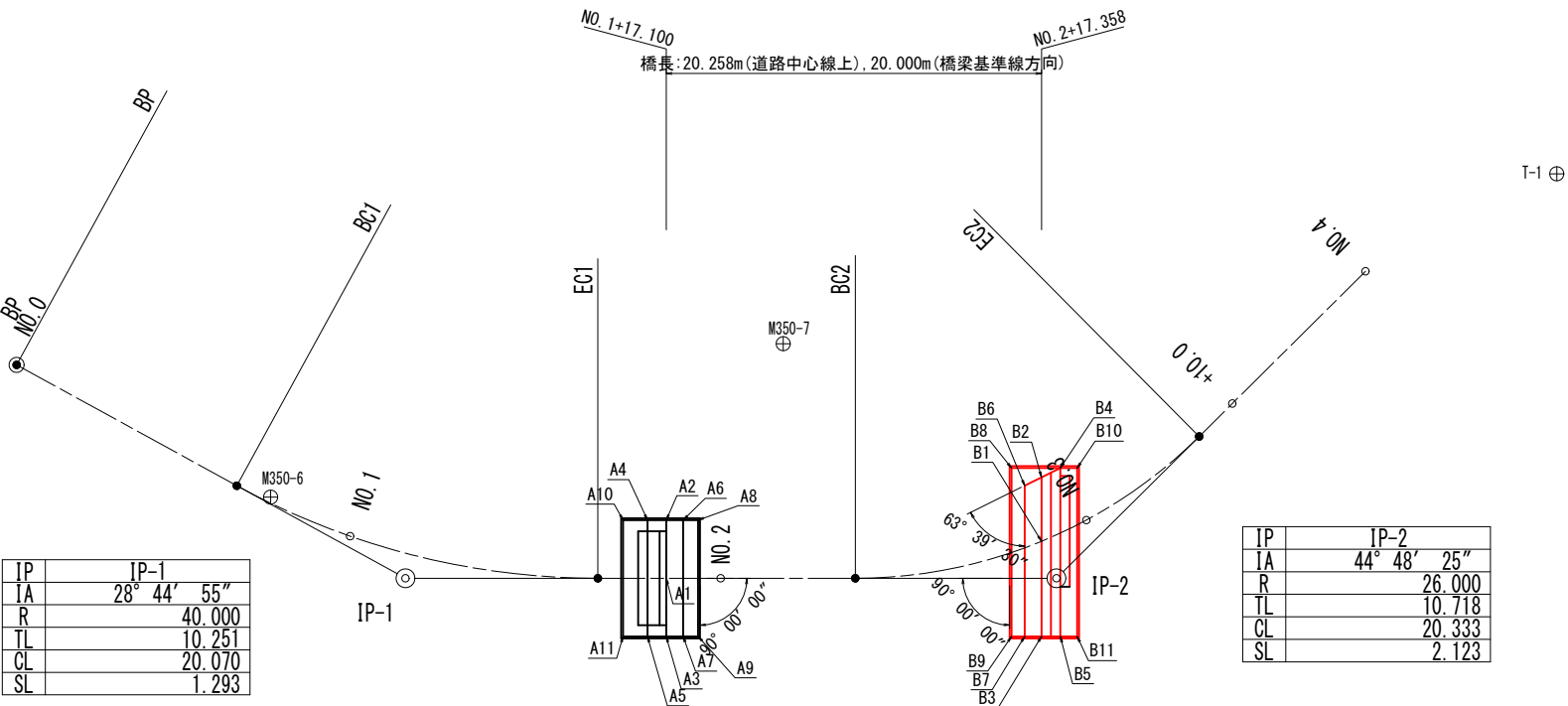
点名称	X座標	Y座標
BP	71651.450	-33096.316
IP-1	71652.325	-33072.696
IP-2	71670.124	-33042.921

基準点

点名称	X座標	Y座標
M350-6	71652.349	-33081.082
M350-7	71673.379	-33061.831
T-1	71702.299	-33031.094

道路CL

点名称	X座標	Y座標
NO. 0	71651.450	-33096.316
BC1	71651.946	-33082.940
NO. 1	71652.735	-33076.380
EC1	71657.585	-33063.897
NO. 2	71660.943	-33058.280
BC2	71664.625	-33052.121
NO. 3	71673.601	-33043.144
EC2	71680.509	-33040.269
NO. 3+10.0	71682.924	-33039.653
NO. 4	71692.613	-33037.179



IP	IP-1
IA	28° 44' 55"
R	40.000
TL	10.251
CL	20.070
SL	1.293

IP	IP-2
IA	44° 48' 25"
R	26.000
TL	10.718
CL	20.333
SL	2.123

A1橋台

点名称	X座標	Y座標
A1	71659.455	-33060.769
A2	71662.116	-33062.359
A3	71656.794	-33059.178
A4	71661.603	-33063.218
A5	71656.281	-33060.037
A6	71662.577	-33061.587
A7	71657.256	-33058.406
A8	71662.988	-33060.900
A9	71657.666	-33057.719
A10	71660.936	-33064.334
A11	71655.614	-33061.152

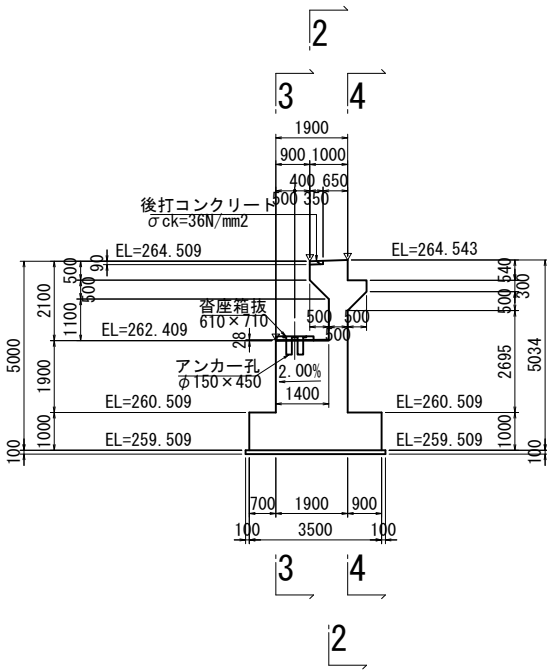
A2橋台

点名称	X座標	Y座標
B1	71671.407	-33044.612
B2	71674.333	-33046.362
B3	71667.056	-33042.012
B4	71675.272	-33045.758
B5	71667.569	-33041.153
B6	71673.489	-33046.906
B7	71666.594	-33042.784
B8	71673.938	-33047.989
B9	71666.235	-33043.385
B10	71675.733	-33044.985
B11	71668.031	-33040.381

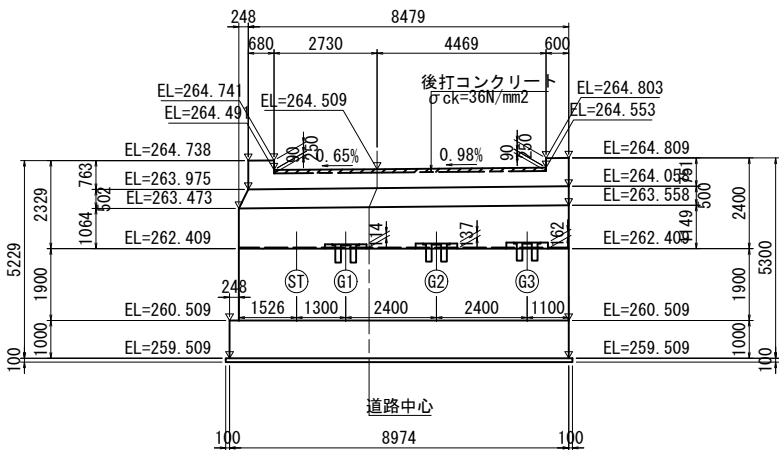
仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	下部工座標管理図	縮尺	S=1:200
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	9 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

A2橋台一般図 S=1:100

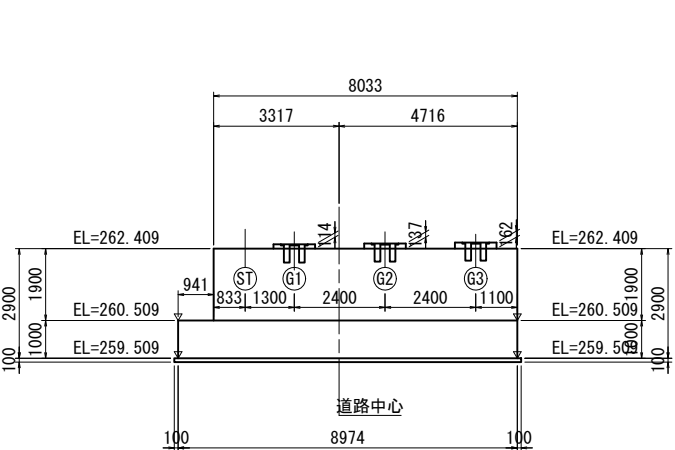
断面図(1-1)



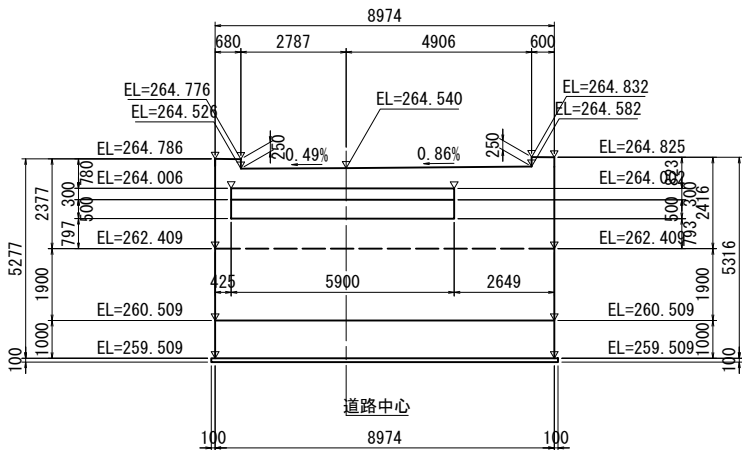
正面図(2-2)



正面図(3-3)

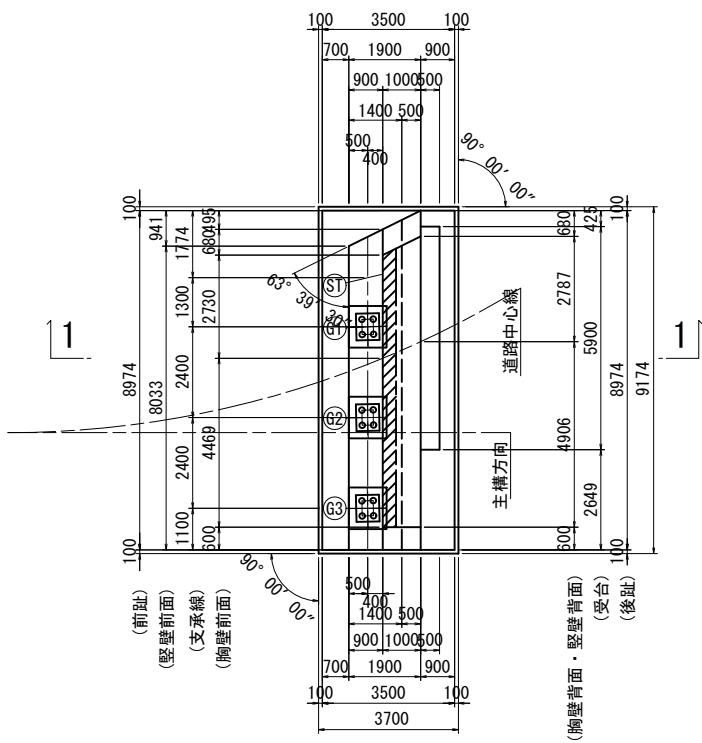


正面図(4-4)

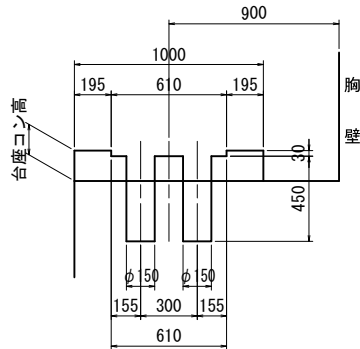


箱抜詳細図 S=1:20

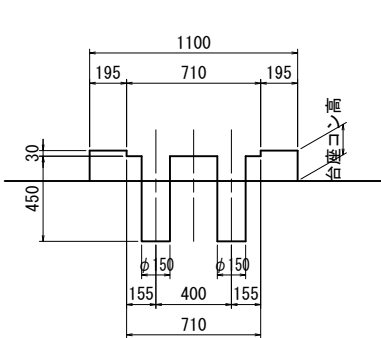
平面図



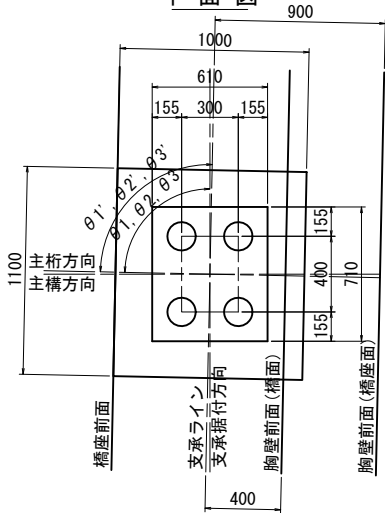
主桁方向



支承据付方向



平面図



G1	θ 1	87° 36' 51"
	θ 1'	88° 48' 27"
G2	θ 2	88° 48' 23"
	θ 2'	90° 00' 00"
G3	θ 3	90° 00' 00"
	θ 3'	91° 11' 37"

θ 1, 2, 3 : 主桁方向と支承ラインの角度
θ 1', 2', 3' : 主桁方向と支承据付方向の角度

注) 斜線部分は、後打ちコンクリートを示す。
注) 後打ちコンクリートは、上部工施工時に打設する。
注) コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ を用いる事とする。
(伸縮装置後打ちコンクリートは $\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$)
注) 鉄筋の材質は、SD345を用いる事とする。
注) 橋台背面盛土の材料及び締め固め管理に注意すること。
注) 主構方向と主桁方向が異なるとともに、G1～G3桁のそれぞれの方向も異なるため、注意すること。

橋台背面盛土材料 仕様例

項目	範囲
最大粒径	100mm
4750 μm ふるい通過百分率	25～100%
75 μm ふるい通過百分率	0～25%
塑性指数Ip (425 μm ふるい通過分について)	10以下

橋台背面の締め固め管理値の例

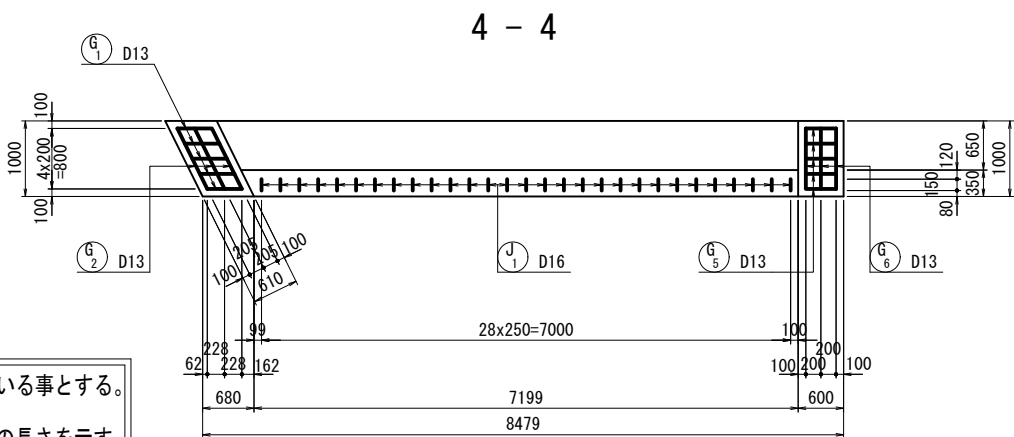
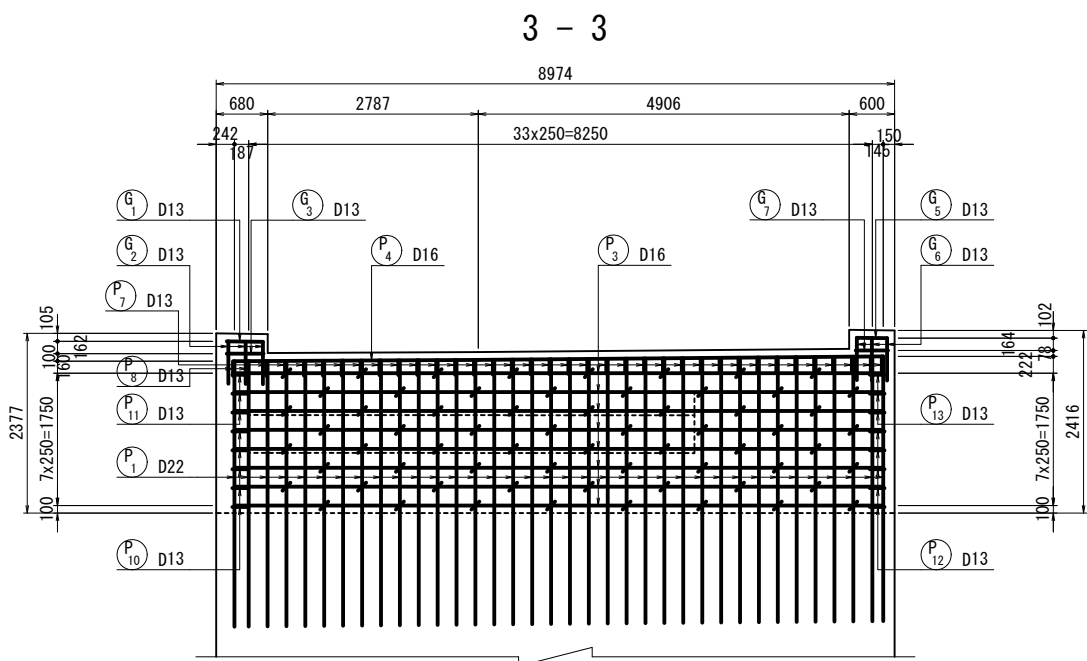
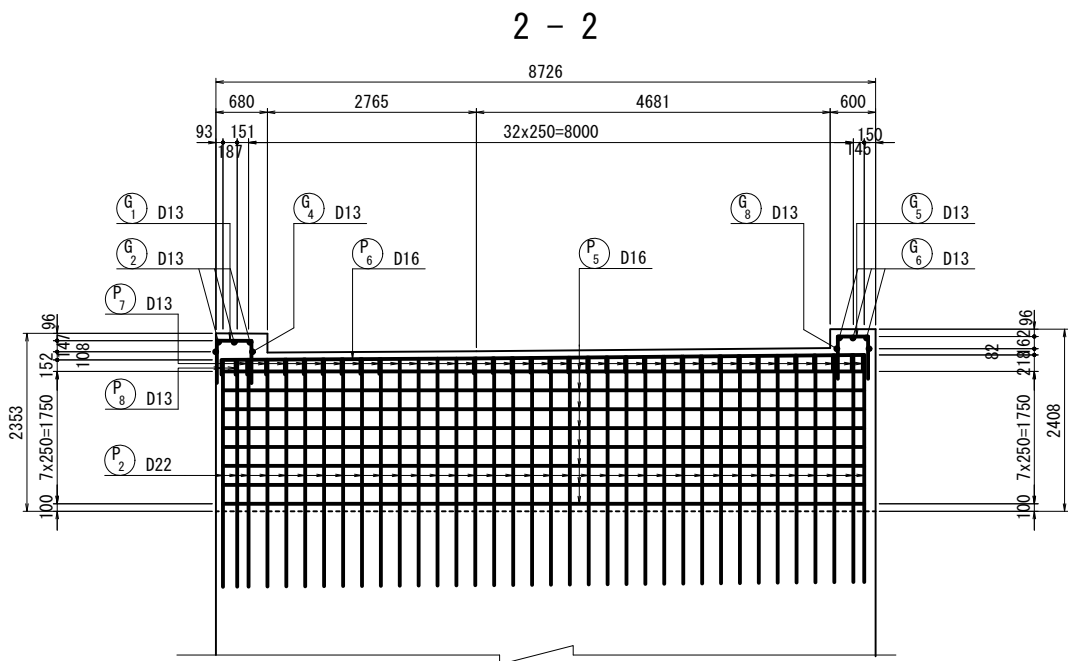
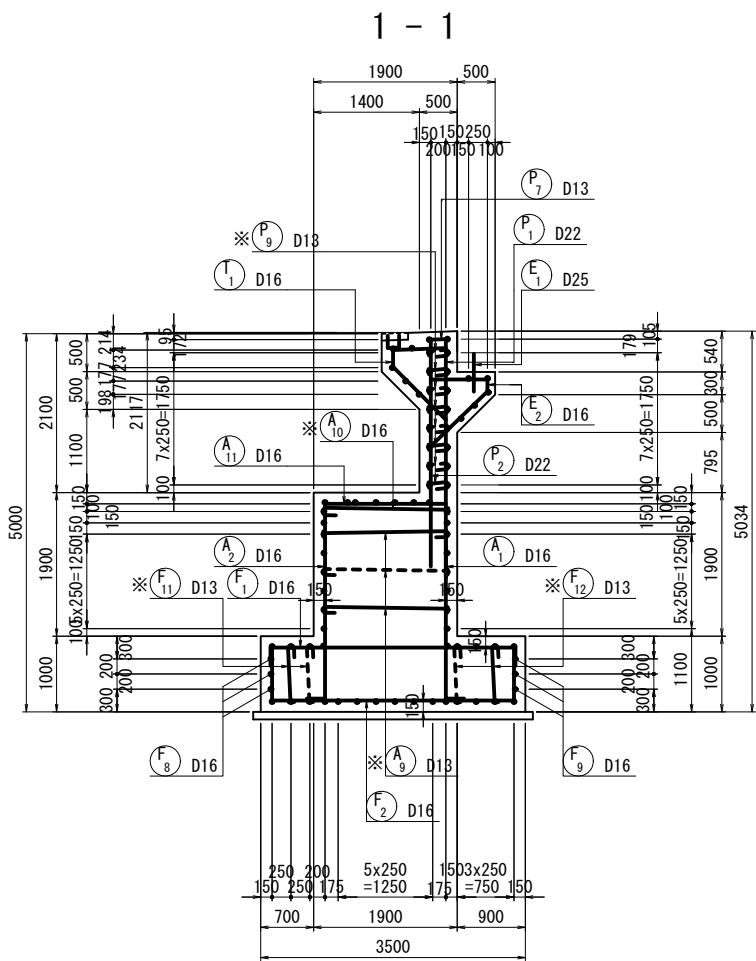
項目	範囲
締固め度 D_c ※1, 2	D_c >平均92%, 最小90%
仕上がり厚	200mm以下

※1. 土砂区分が砂質土の場合に適用。締固め度は、施工管理高ごとに測定し、その平均値及び最小値で照査する。

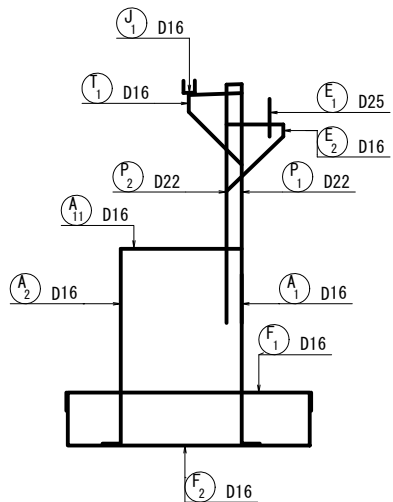
※2. 突き固め方法がC, D, E法の場合の管理基準値を示す。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和 8 年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台一般図	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	10 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

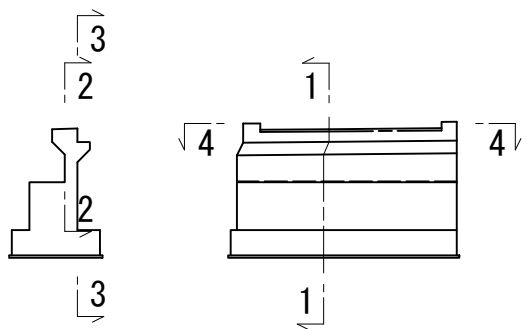
A2橋台配筋図(その1) S=1:50



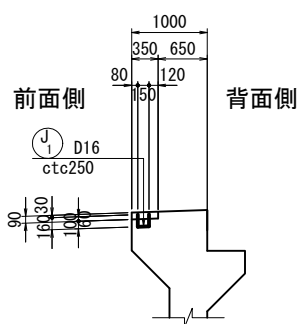
主鉄筋組立図



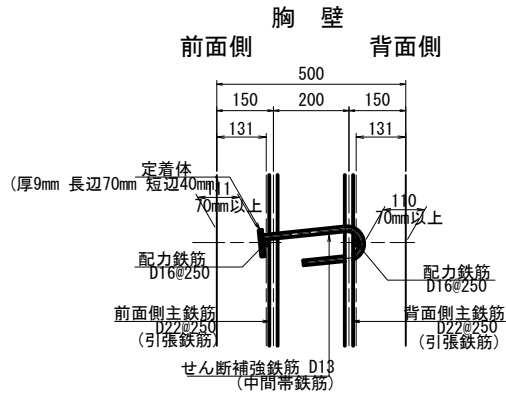
位置図



伸縮用さし筋図



かぶり詳細図 S=1:10

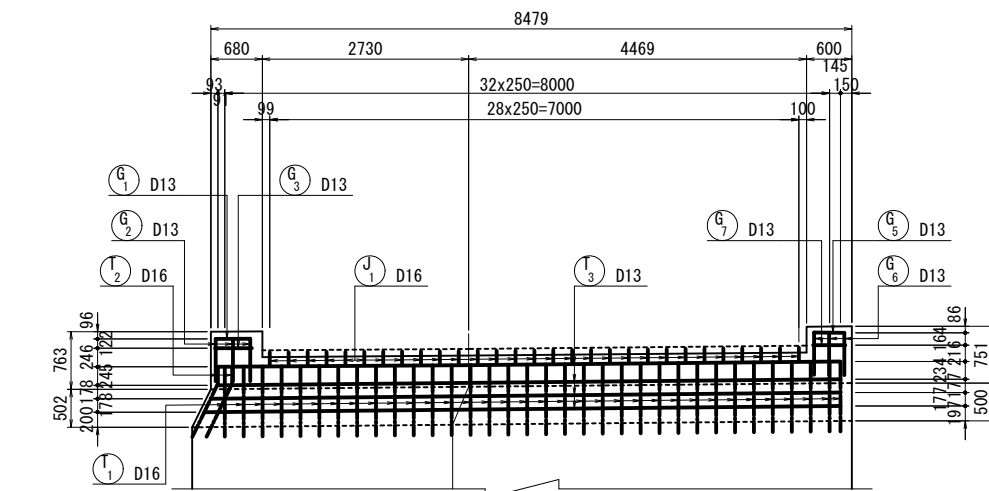


注) コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ を用いる事とする。
注) 鉄筋の材質は、SD345を用いる事とする。
注) 鉄筋加工図は外形寸法を示し、鉄筋長は鉄筋中心での長さを示す。
注) フックの曲げ内半径は、『道示IIP.83』に準じて 2.5ϕ とする。

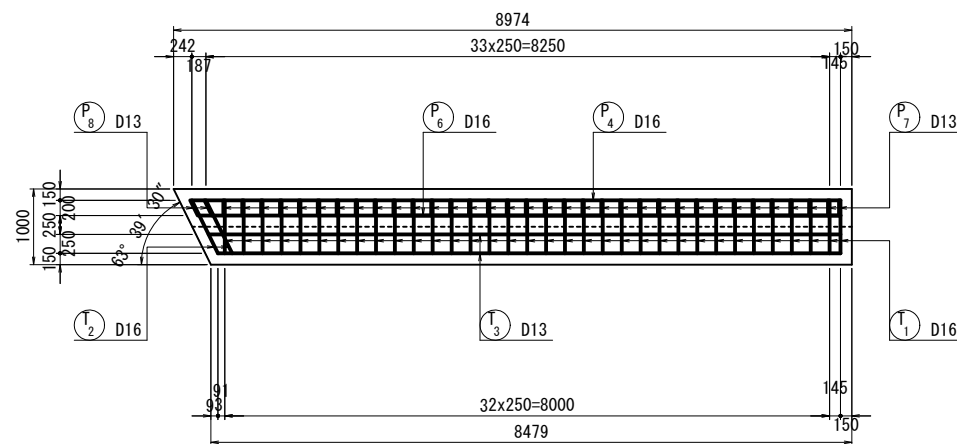
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
① 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
詳細図に示す定着体はHead-bar工法であるが、他工法の採用を否定するものではない。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台配筋図(その1)	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	11 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

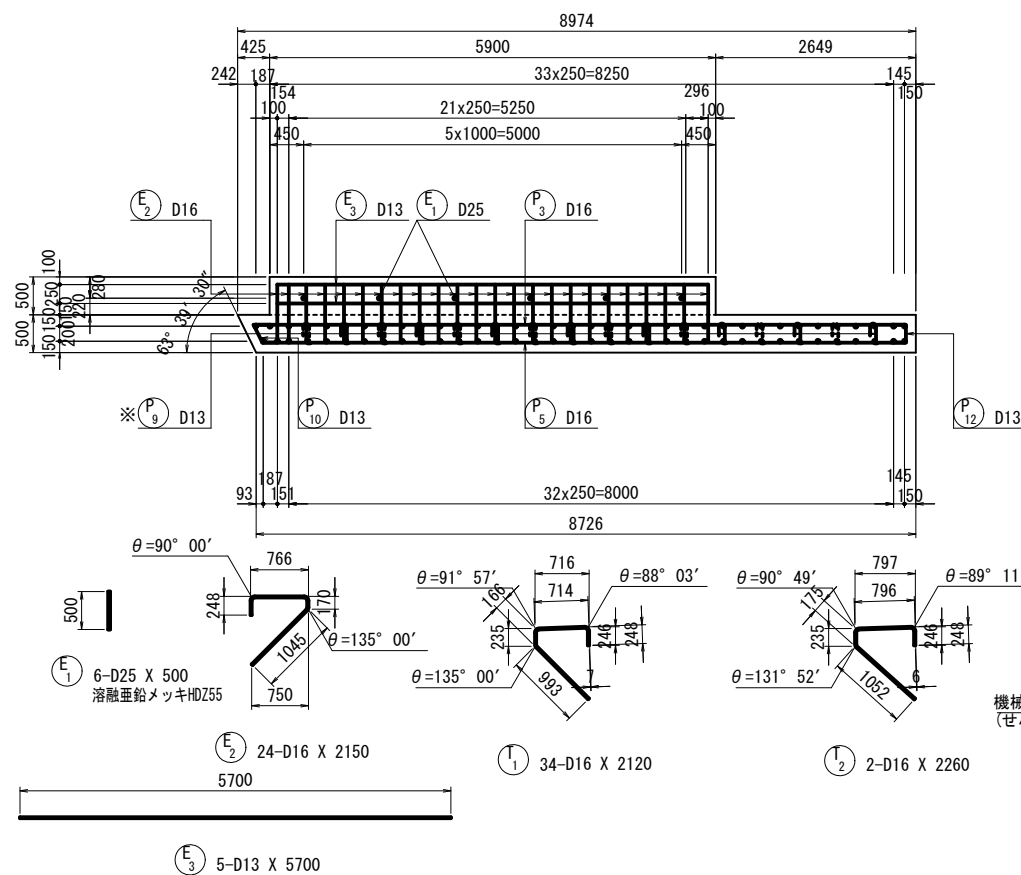
A2橋台配筋図(その2) S=1:50



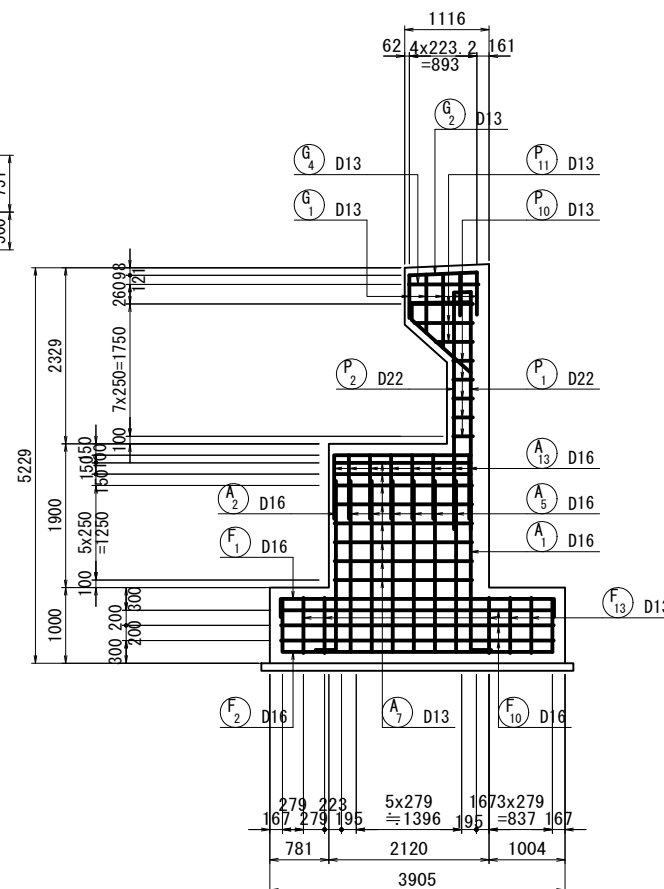
2 - 2



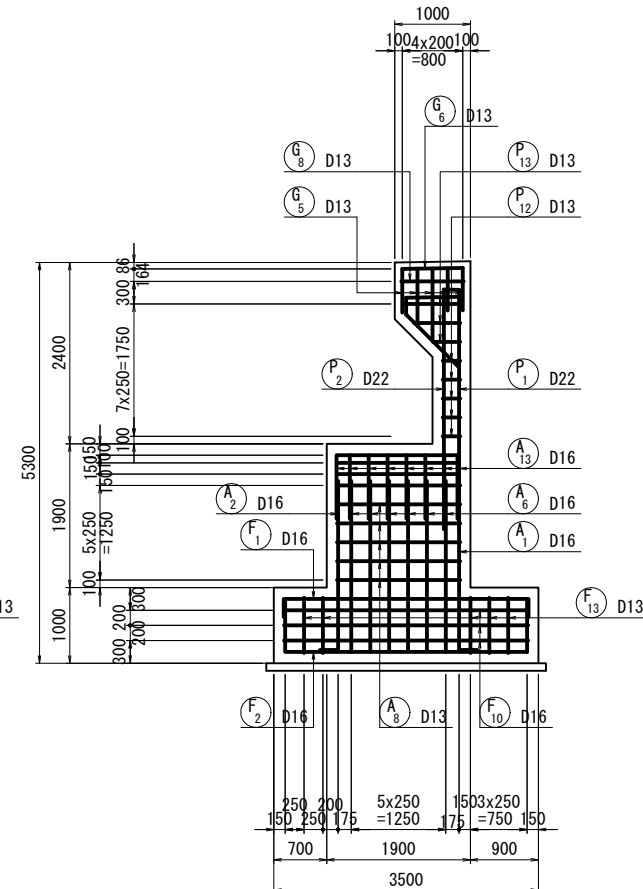
3 - 3



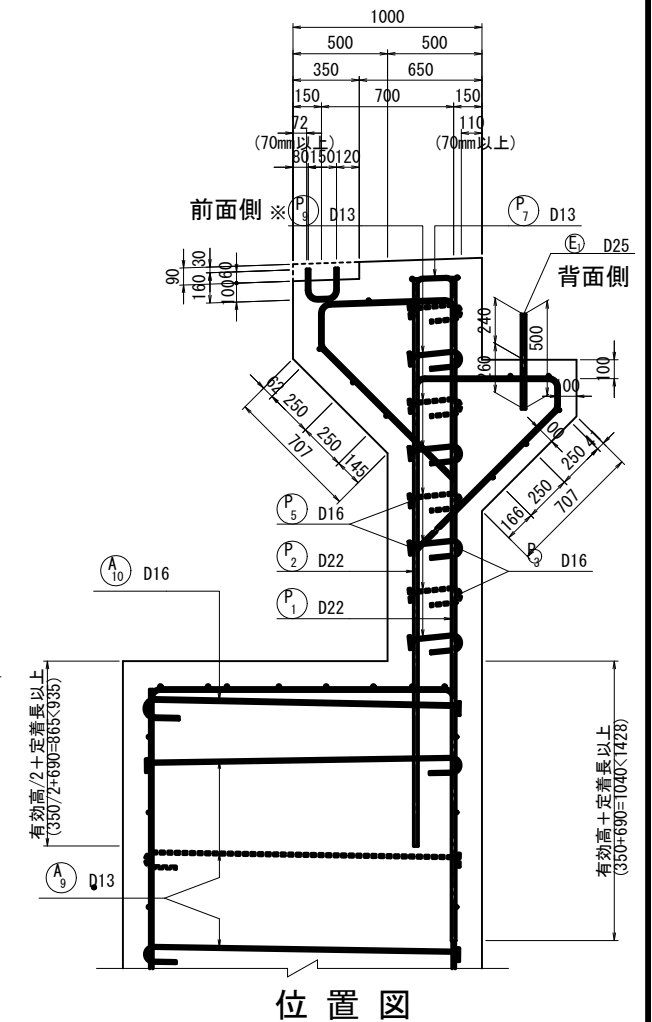
4 - 4



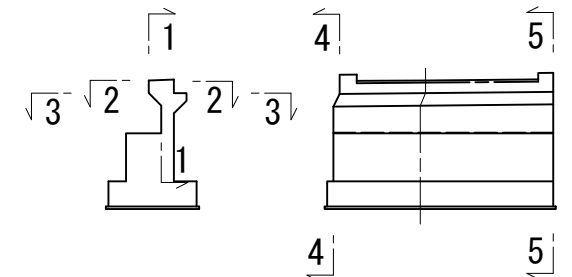
5 - 5



かぶり詳細図 S=1:20



位置図



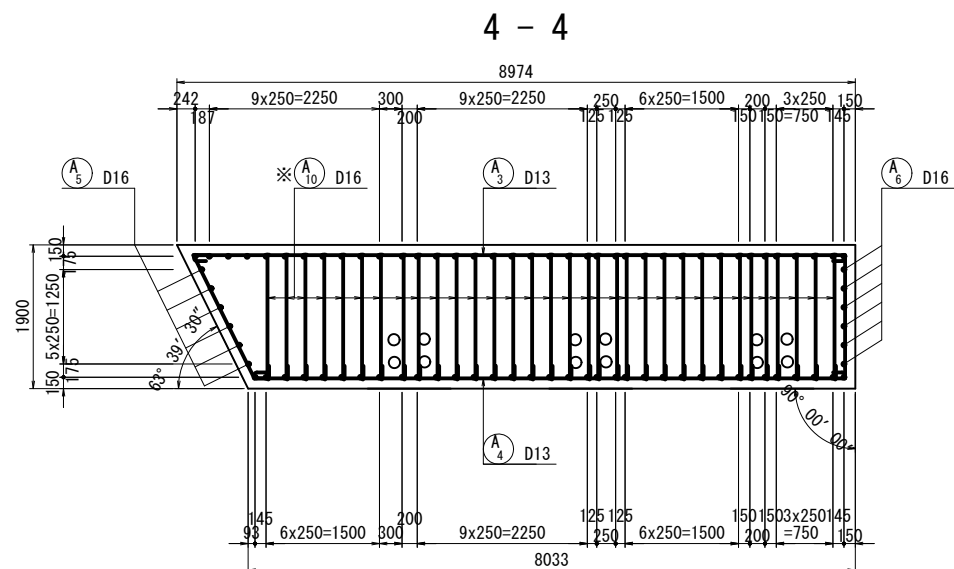
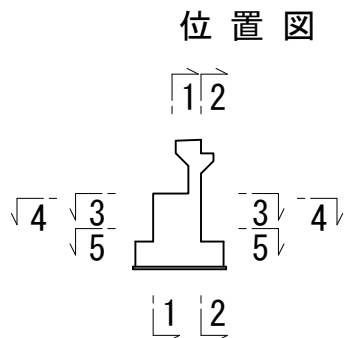
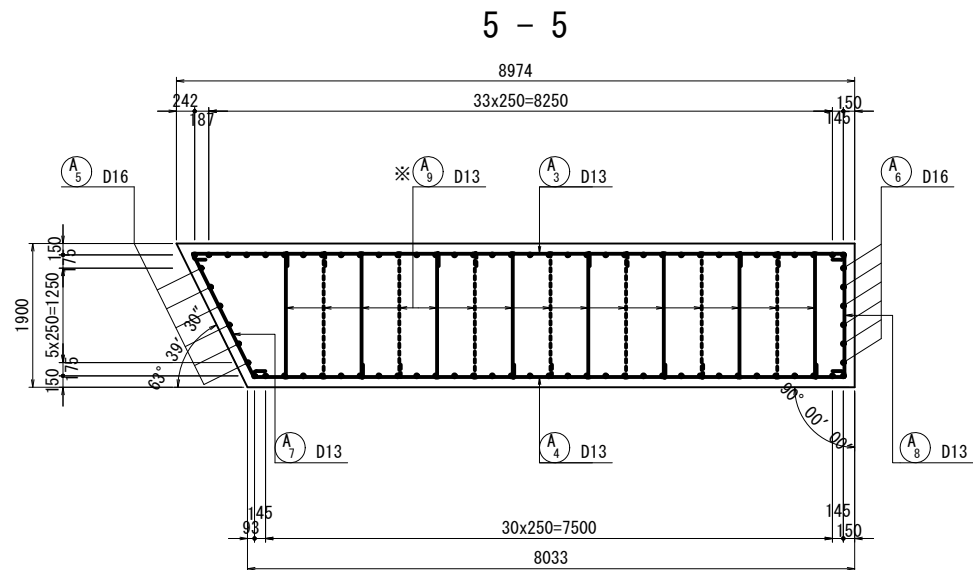
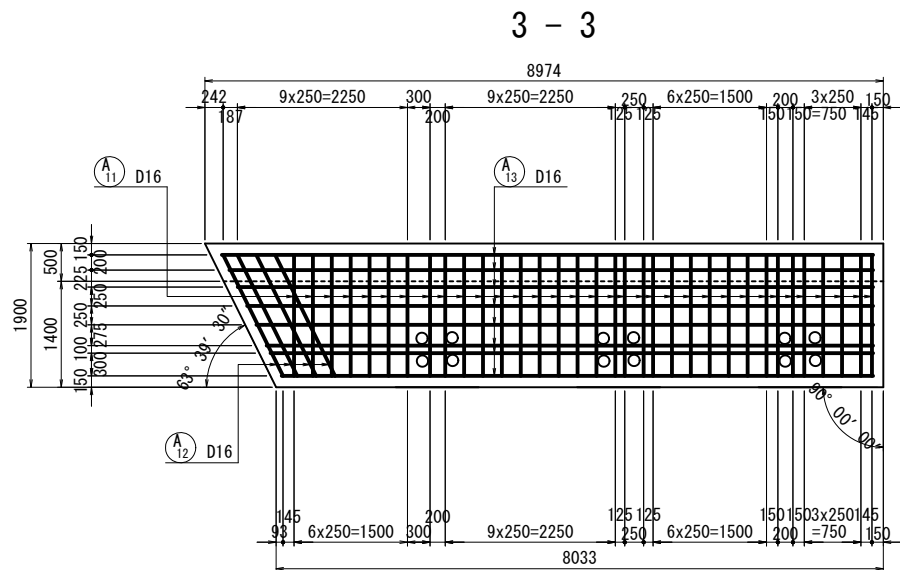
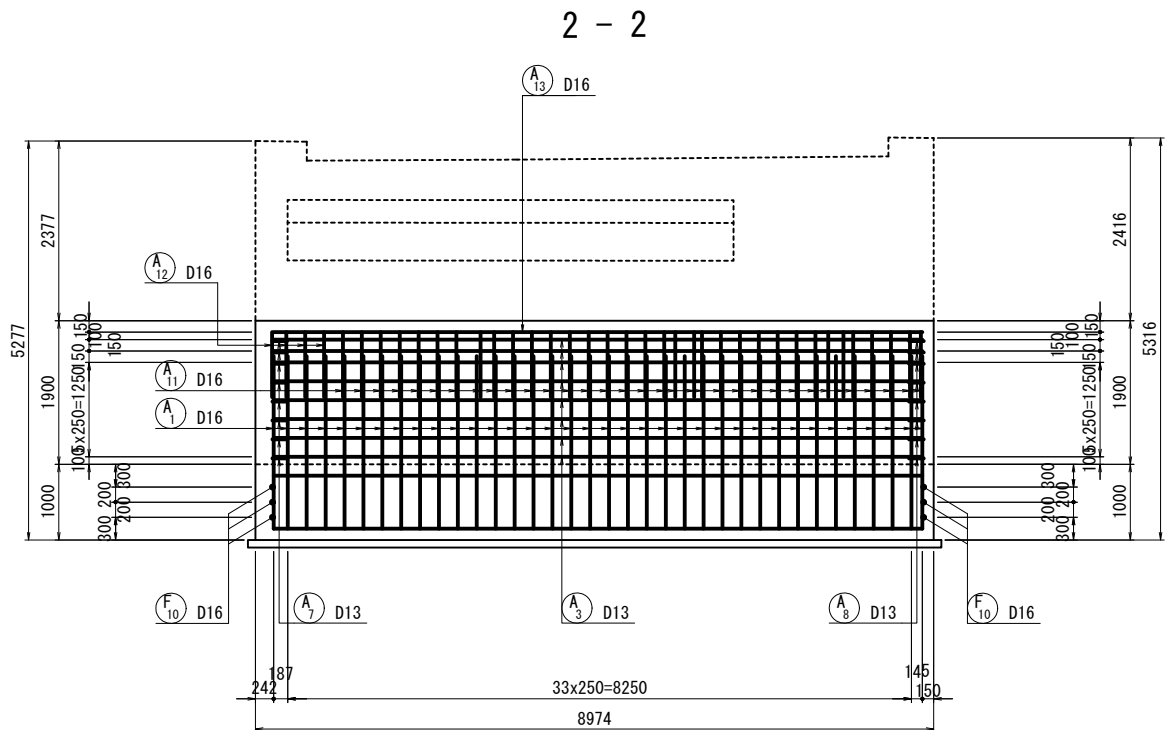
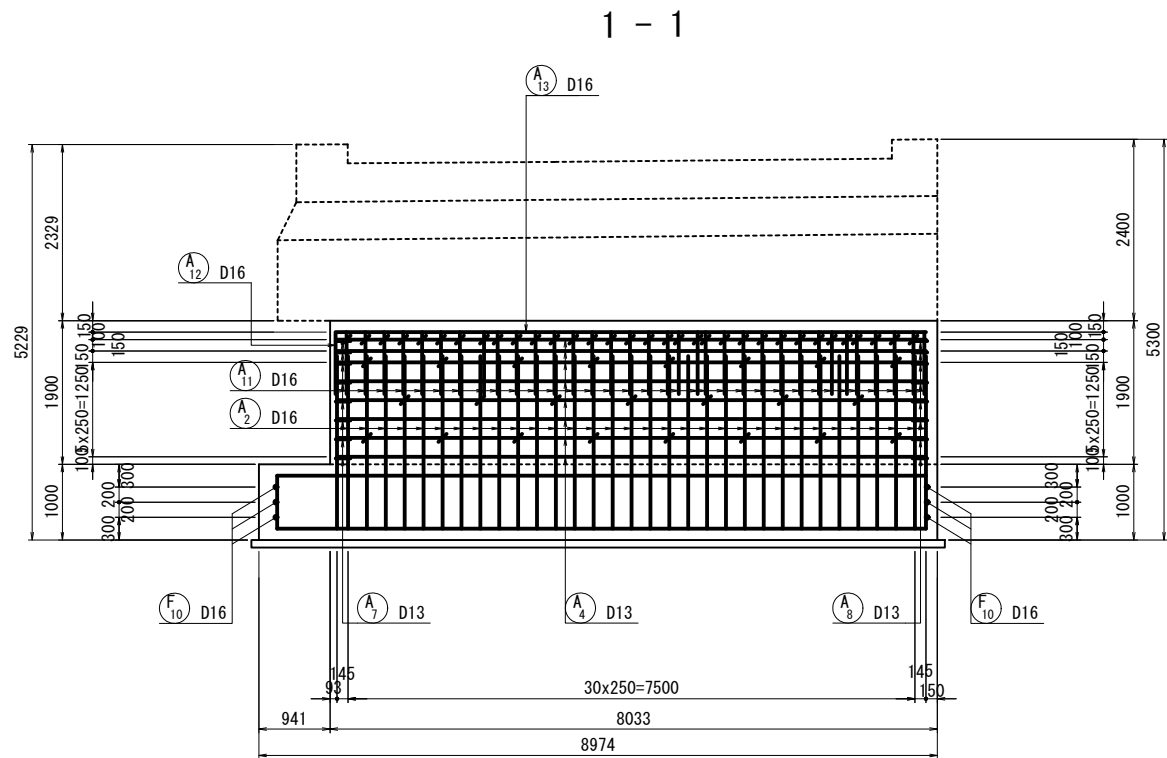
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、

- ① 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
詳細図に示す定着体はHead-bar工法であるが、他工法の採用を否定するものではない。

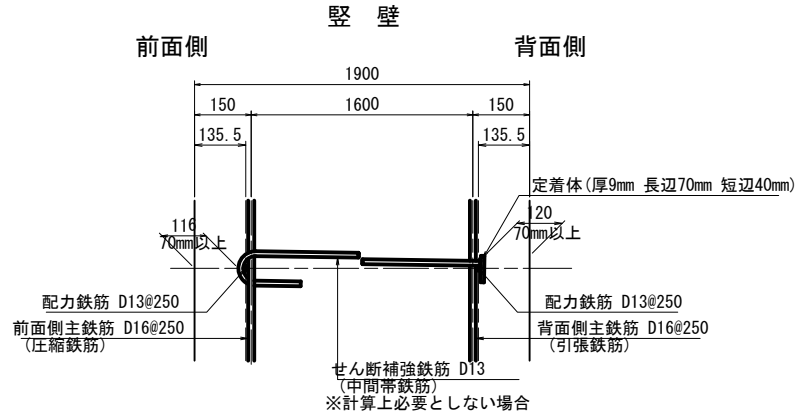
仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道榑山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台配筋図(その2)	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 榑 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	12 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

注) コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ を用いる事とする。
 注) 鉄筋の材質は、SD345を用いる事とする。
 注) 鉄筋加工図は外形寸法を示し、鉄筋長は鉄筋中心での長さを示す。
 注) フックの曲げ内半径は、『道示IIP.83』に準じて2.5 ϕ とする。

A2橋台配筋図(その3) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:10



注) 縦壁のせん断補強鉄筋は主鉄筋・配力鉄筋を囲むようにかける。
定着体はどちらでも良いが、施工の効率性から判断すること。
機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している定着工法を採用すること。

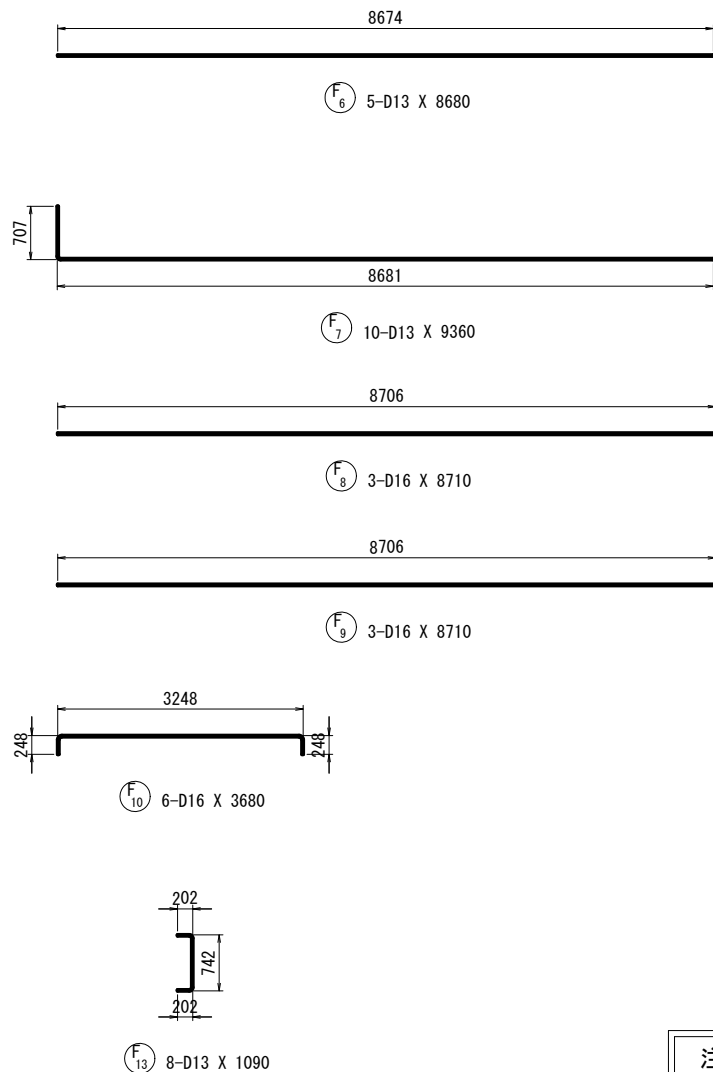
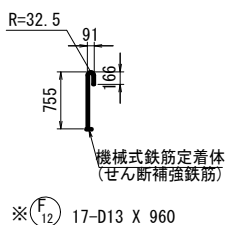
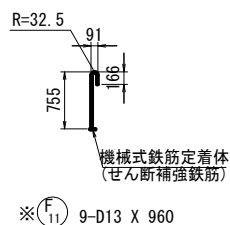
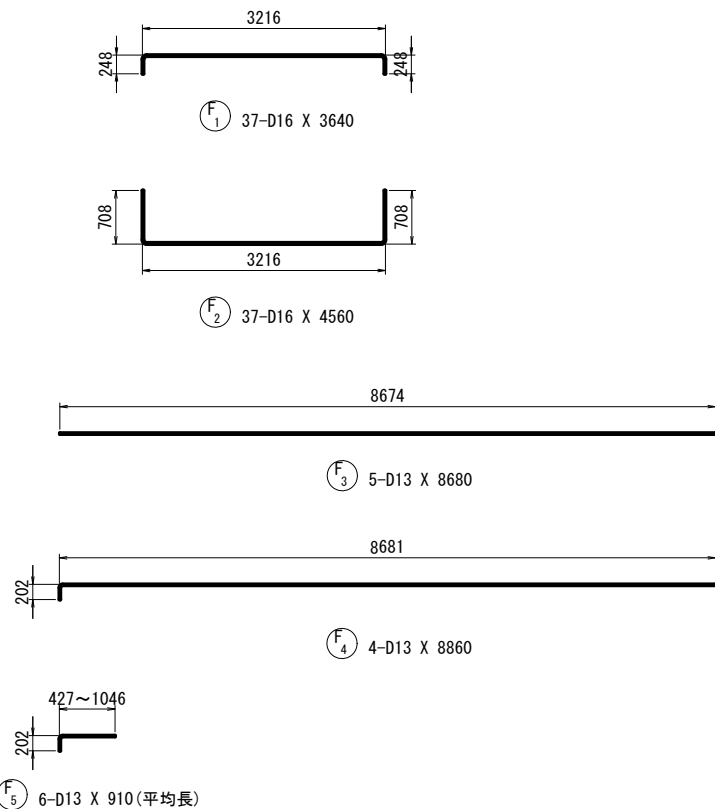
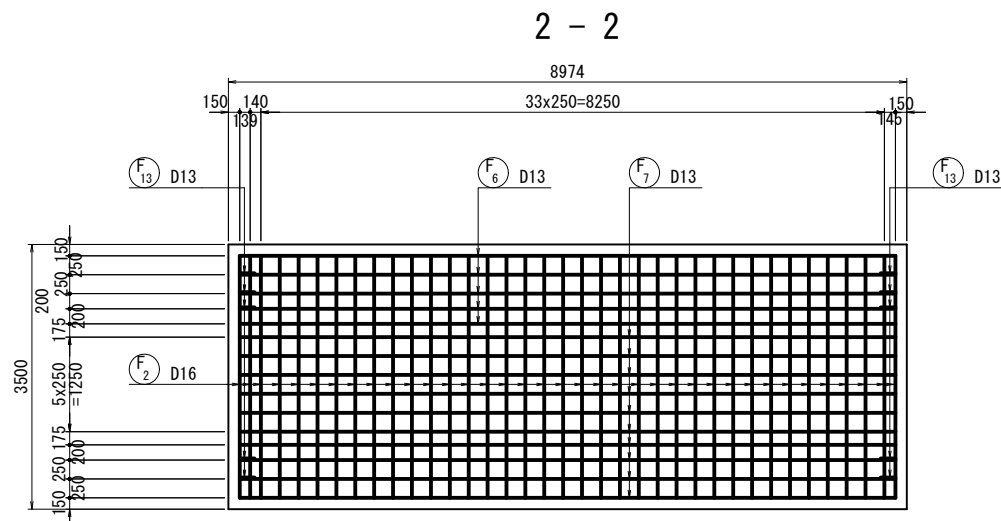
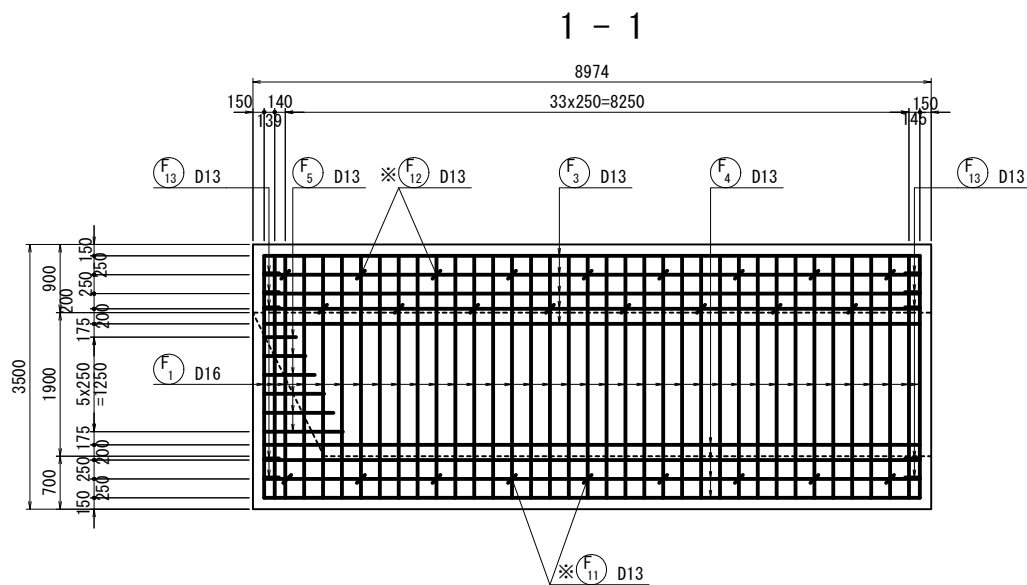
注) コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ を用いる事とする。
注) 鉄筋の材質は、SD345を用いる事とする。
注) 鉄筋加工図は外形寸法を示し、鉄筋長は鉄筋中心での長さを示す。
注) フックの曲げ内半径は、『道示I11P.83』に準じて 2.5ϕ とする。

注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
① 道路橋示方書-同解説 (H29.11日本道路協会)
② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
詳細図に示す定着体はHead-bar工法であるが、他工法の採用を否定するものではない。

仁 淀 川 町				
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	町道橋山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台配筋図(その3)	縮尺	図	示
路線河川名	町道橋山線			
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野			
設計種別	実施設計			
事務所名	仁淀川町役場	図面番号	13	17
会社名				

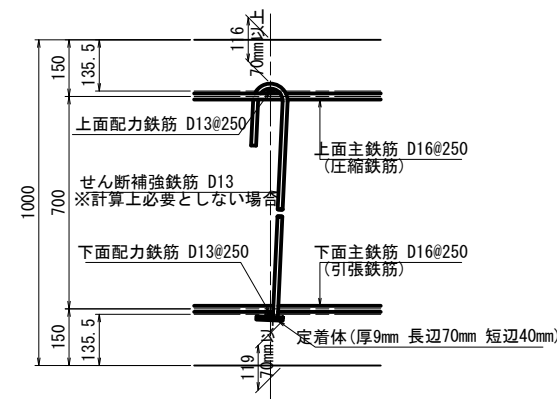
仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道榑山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台配筋図(その4)	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 榑 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	14 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

A2橋台配筋図(その5) S=1:50

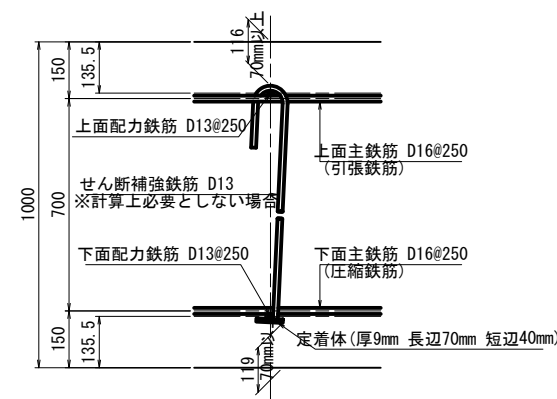


かぶり詳細図 S=1:10
フーチング(橋軸方向)

前フーチング

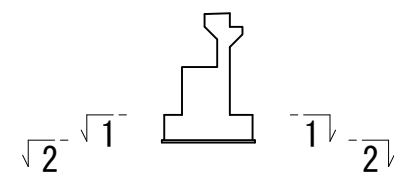


後フーチング



注) フーチングのせん断補強鉄筋は主鉄筋・配力鉄筋を囲むようにかける。
定着体は、施工の効率性を考慮し、基礎側に設置すること。

位置図



- 注)
- 「※」印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 - ・道路橋示方書・同解説(H29.11日本道路協会)
 - ・機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。また、中間帯鉄筋に本定着体を用いる場合は横拘束効果の実験等による効果が保障された定着工法を用いること。
 - 機械式鉄筋定着工法の採用においては、監督員より使用鉄筋の性能と施工方法、管理方法の承認を得てから工事を行うこと。
 - 詳細図に示す定着体はHead-bar工法であるが、他工法の採用を否定するものではない。

注) コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ を用いる事とする。
注) 鉄筋の材質は、SD345を用いる事とする。
注) 鉄筋加工図は外形寸法を示し、鉄筋長は鉄筋中心での長さを示す。
注) フックの曲げ内半径は、『道示IIP.83』に準じて 2.5ϕ とする。

仁 淀 川 町			
工事種別	令和 8 年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台配筋図(その5)	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	15 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

A2橋台配筋図(その6)

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
P 1	D22	3500	36	3.04	10.64	383	└
P 2	D22	3000	36	3.04	9.12	328	└
P 3	D16	8590	8	1.56	13.40	107	—
P 4	D16	8590	1	1.56	13.40	13	—
P 5	D16	8490	8	1.56	13.24	106	—
P 6	D16	8490	1	1.56	13.24	13	—
P 7	D13	560	34	0.995	0.56	19	┐
P 8	D13	580	2	0.995	0.58	1	┐
※P 9	D13	470	64	0.995	0.47	30	┐
P 10	D13	610	5	0.995	0.61	3	┐
P 11	D13	1010	3	0.995	1.00	3	┐ (平均長)
P 12	D13	600	5	0.995	0.60	3	┐
P 13	D13	910	3	0.995	0.91	3	┐ (平均長)
1012							
T 1	D16	2120	34	1.56	3.31	113	┐
T 2	D16	2260	2	1.56	3.53	7	┐
T 3	D13	8330	5	0.995	8.29	41	— (平均長)
161							
G 1	D13	1970	5	0.995	1.96	10	┐ (平均長)
G 2	D13	1980	3	0.995	1.97	6	┐
G 3	D13	840	2	0.995	0.84	2	┐
G 4	D13	930	2	0.995	0.93	2	—
G 5	D13	1890	5	0.995	1.88	9	┐ (平均長)
G 6	D13	1890	3	0.995	1.88	6	┐
G 7	D13	790	2	0.995	0.79	2	┐
G 8	D13	830	2	0.995	0.83	2	—
39							
J 1	D16	430	29	1.56	0.67	19	┐
19							
E 1	D25	500	6	3.98	1.99	12	┐ 溶融垂鉛メッキ
E 2	D16	2150	24	1.56	3.35	80	┐
E 3	D13	5700	5	0.995	5.67	28	—
120							
A 1	D16	2500	36	1.56	3.90	140	└
A 2	D16	2500	33	1.56	3.90	129	└
A 3	D13	9020	8	0.995	8.97	72	—
A 4	D13	8230	8	0.995	8.19	66	—
A 5	D16	2500	6	1.56	3.90	23	└
A 6	D16	2500	6	1.56	3.90	23	└
A 7	D13	2170	8	0.995	2.16	17	┐
A 8	D13	1990	8	0.995	1.98	16	└
※A 9	D13	1860	23	0.995	1.85	43	┐
※A 10	D16	1890	33	1.56	2.95	97	┐
A 11	D16	3500	34	1.56	5.46	186	┐
A 12	D16	3500	4	1.56	5.46	22	┐
A 13	D16	9820	8	1.56	15.32	123	┐ (平均長)
957							
H 1	D16	1800	7	1.56	2.81	20	┐
H 2	D16	1900	6	1.56	2.96	18	┐
H 3	D16	1840	7	1.56	2.87	20	┐
H 4	D16	1940	6	1.56	3.03	18	┐
H 5	D16	1900	7	1.56	2.96	21	┐
H 6	D16	2000	6	1.56	3.12	19	┐
H 7	D16	2200	6	1.56	3.43	21	┐
137							

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F 1	D16	3640	37	1.56	5.68	210	┐
F 2	D16	4560	37	1.56	7.11	263	┐
F 3	D13	8680	5	0.995	8.64	43	—
F 4	D13	8860	4	0.995	8.82	35	—
F 5	D13	910	6	0.995	0.91	5	┐ (平均長)
F 6	D13	8680	5	0.995	8.64	43	—
F 7	D13	9360	10	0.995	9.31	93	┐
F 8	D16	8710	3	1.56	13.59	41	—
F 9	D16	8710	3	1.56	13.59	41	—
F 10	D16	3680	6	1.56	5.74	34	┐
※F 11	D13	960	9	0.995	0.96	9	┐
※F 12	D13	960	17	0.995	0.96	16	┐
F 13	D13	1090	10	0.995	1.08	9	└
842							
合 計							D25 12 kg (アンカー筋 溶融垂鉛メッキHDZ177)
							D22 711 kg
							D16 1927 kg
							D13 639 kg
総質量							3289 kg

注意) コンクリート強度 σck=24N/mm²
鉄筋の材質は全てSD345である。

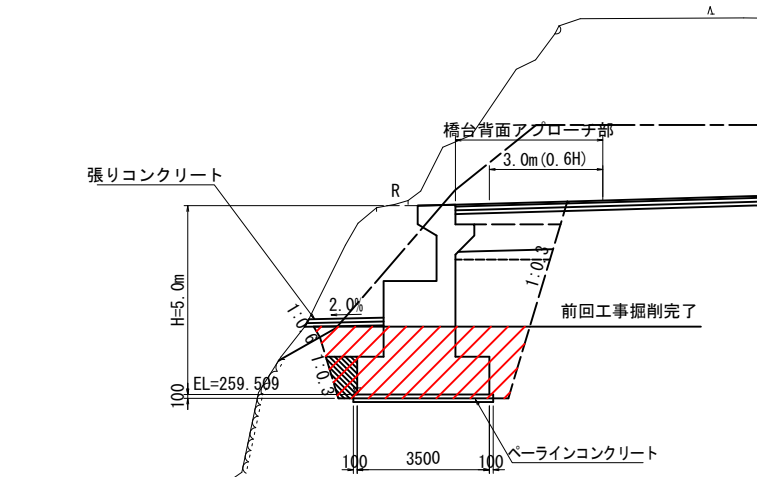
機械式鉄筋定着工法の数量

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D13	90	23	—	—	—	—
D16	—	33	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
小計	90	56	—	—	—	—
合計	146					

仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台配筋図(その6)	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	16 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			

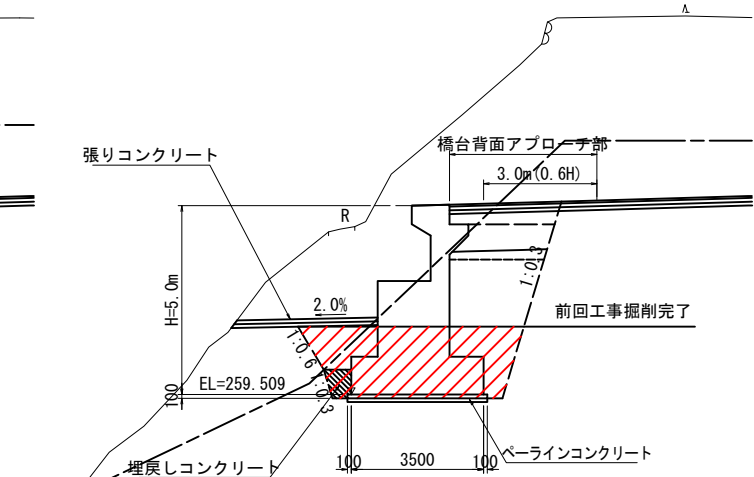
A2橋台土工図

側面図 S=1:100
(道路左側A-A)



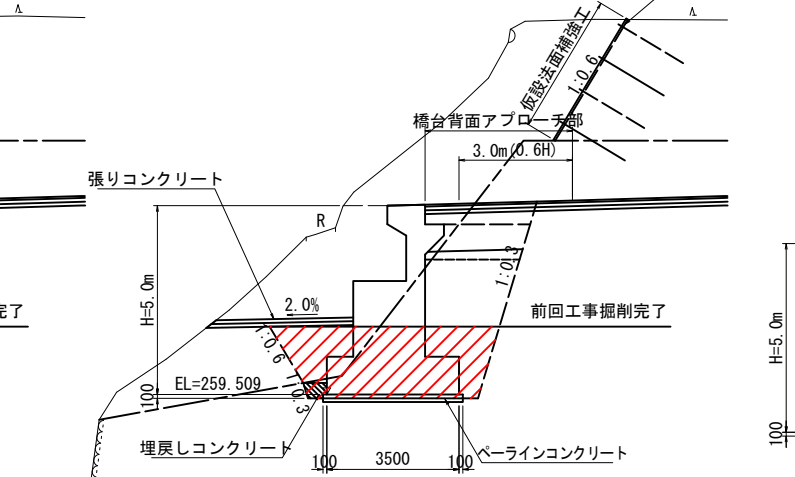
種 別		断面数量	前回数量	今回数量
床 掘	土砂	4.6	4.5	0.1
	岩	23.1	13.6	9.5
橋台前面盛土	W<2.5m	1.4	—	1.4
橋台背面盛土	路床 W<2.5m	1.6	—	1.6
	2.5m≦W<4.0m	0.6	—	0.6
	路体 W<2.5m	6.2	—	6.2
橋台側面盛土	4.0m≦W	27.5	—	27.5
埋戻しコンクリート	σck=18N/mm2	0.7	—	0.7
張りコンクリート	t=10+10	2.0	—	2.0

側面図 S=1:100
(道路中心B-B)



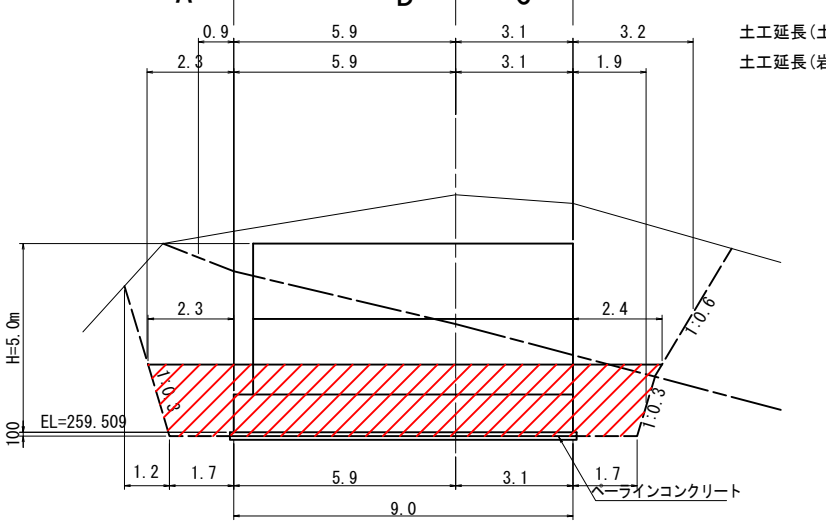
種 別		断面数量	前回数量	今回数量
床 掘	土砂	13.0	11.9	1.1
	岩	18.1	9.4	8.7
橋台前面盛土	W<2.5m	1.8	—	1.8
橋台背面盛土	路床 W<2.5m	1.6	—	1.6
	2.5m≦W<4.0m	0.6	—	0.6
	路体 W<2.5m	6.2	—	6.2
橋台側面盛土	4.0m≦W	—	—	—
埋戻しコンクリート	σck=18N/mm2	0.4	—	0.4
張りコンクリート	t=10+10	3.7	—	3.7

側面図 S=1:100
(道路右側C-C)

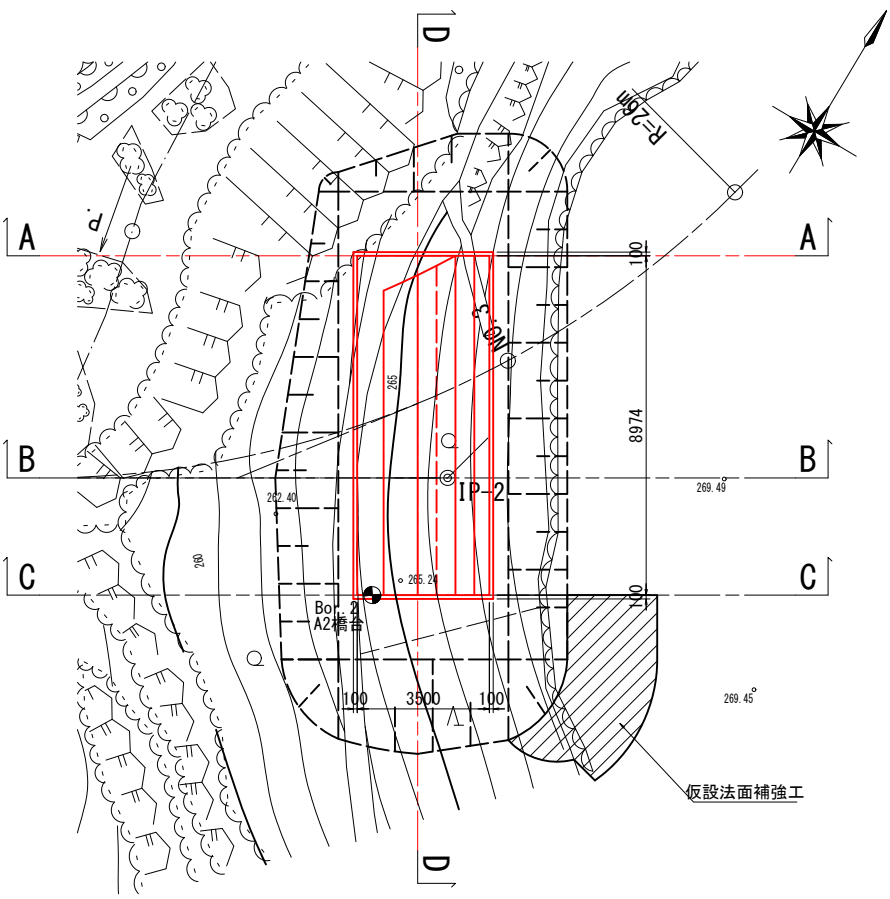


種 別		断面数量	前回数量	今回数量
床 掘	土砂	15.3	12.6	2.7
	岩	15.0	7.8	7.2
橋台前面盛土	W<2.5m	2.2	—	2.2
橋台背面盛土	路床 W<2.5m	1.6	—	1.6
	2.5m≦W<4.0m	0.6	—	0.6
	路体 W<2.5m	6.2	—	6.2
橋台側面盛土	4.0m≦W	30.1	—	30.1
埋戻しコンクリート	σck=18N/mm2	0.2	—	0.2
張りコンクリート	t=10+10	3.6	—	3.6

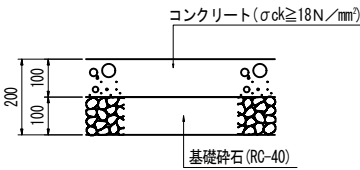
正面図 S=1:200
(D-D)



平面図 S=1:100



張りコンクリート詳細図 S=1:10



ベールライン分
V=9.17×3.70×0.10=3.39m³

橋台背面盛土材料 仕様例

項 目	範 囲
最大粒径	100mm
4750μmふるい通過百分率	25～100%
75μmふるい通過百分率	0～25%
塑性指数Ip(425μmふるい通過分について)	10以下

※有機質土、火山灰質の細粒土を含む材料を除く。

橋台背面の締め固め管理値の例

項 目	範 囲
締固め度 Dc※1.2	Dc>平均92%, 最小90%
仕上がり厚	200mm以下

※1. 土砂区分が砂質土の場合に適用。締固め度は、施工管理高ごとに測定し、その平均値及び最小値で照査する。
※2. 突き固め方法がC, D, E法の場合の管理基準値を示す。

注記

- ・基礎底面地盤にはある程度不陸を残し、平滑な面としないように配慮すること。
- ・基礎前面の岩盤を切り込んだ部分は、コンクリートで埋め戻すこと。
- ・橋台背面アプローチ部の盛土は、盛土材料の仕様、締め固めの管理値に準じること。
- ・橋台側面盛土は、取合い擁壁の沈下防止を目的に、良質土、又はコンクリートへの置き換えを検討をすること。
- ・橋台背面の掘削高が高い区間に対しては、仮設法面補強工により、法面の安定性を確保すること。
- ・掘削法面に変状がないか留意して施工を行い、変状の予兆がある場合は別途法面対策工の検討を行うこと。(仮設法面補強工参考図)

仁 淀 川 町			
工事種別	令和8年度 社会資本整備総合交付金 事業 町道橋山線道路改良工事		
図面名称	A2橋台土工図	縮尺	図 示
路線河川名	町 道 橋 山 線		
工事箇所	高知県 吾川郡 仁淀川町 大野		
設計種別	実施設計	図面 番号	17 17
事務所名	仁淀川町役場		
会 社 名			